

平成23年度
男女共同参画に関する住民意識調査
結果報告書

平成24年3月

壬 生 町

目 次

I	調査概要	1
II	集計結果	3
	1. 属性について	3
	1-1. 性 別	3
	1-2. 年 齢	4
	1-3. 結婚の状況	5
	1-4. 就労の状況	6
	2. 家庭生活などについて	7
	2-1. 男女の役割に対する考え方	7
	2-2. 実際の夫婦の役割分担	9
	2-3. 夫婦の役割分担に対する満足度	11
	2-4. 育児の役割分担について	13
	2-5. 男性の家庭参加に必要なこと	15
	2-6. 「仕事と生活の調和」の認知度	17
	2-7. 仕事と生活の優先度	19
	2-8. 日常生活の満足度	22
	3. 介護や老後について	25
	3-1. 介護経験の有無	25
	3-2. 介護の担い手に関する考え方	26
	4. 子育てや教育について	28
	4-1. 回答者自身の育てられ方	28
	4-2. 自分の子供の育て方	30
	4-3. 学校教育において力を入れてほしいこと	32
	5. 就労について	34
	5-1. 女性が職業を持つこと	34
	5-2. 女性が仕事を続ける上での障害	37
	5-3. 女性の再就職支援に必要なこと	39
	5-4. 勤務状況	41
	5-5. 勤務先における女性の状況（平等感）	42
	6. 地域活動について	45
	6-1. 地域活動の参加状況	45
	6-2. 参加している地域活動	47
	6-3. 参加していない理由	49
	6-4. 今後参加したい地域活動	51

7. 人権について	53
7-1. 女性の人権が尊重されていないと感じる時	53
7-2. 女性に対する暴力をなくすために必要なこと	55
7-3. ドメスティック・バイオレンスだと思う行為	57
7-4. ドメスティック・バイオレンスの経験	61
7-5. 配偶者への不満	65
8. 政治や政策への参加について	67
8-1. 政治への関心	67
8-2. 町政における女性の意見の反映度	68
8-3. 議員や審議会委員への女性参画の考え方	70
8-4. 女性の参画促進のために必要なこと	72
9. 男女の地位の平等について	74
9-1. 各分野における男女の平等	74
10. 男女共同参画の推進について	81
10-1. 男女共同参画を推進するために出来ること	81
10-2. 男女共同参画を進めるために必要なこと	83
11. 自由回答	85
Ⅲ 結果概要	88
Ⅳ 調査票	91

I 調査概要

(1) 調査の目的

○本調査は、21世紀のよりよいまちづくりを進め、女性と男性が共にいきいきと暮らせる社会（男女共同参画社会）の実現に向けて、その現状と住民の意識や意向などを把握し、「壬生町男女共同参画プラン」を策定する際の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査の対象

○町内在住の満20歳以上の町民 1,000人

(3) 調査の方法

○住民基本台帳に基づく無作為抽出（平成23年6月末現在）
○郵送による配布・回収

(4) 調査の期間

○平成23年7月29日（金）～平成23年8月12日（金）の2週間

(5) 回収状況

○配布数1,000票に対して回収数396票、回収率は39.6%

(6) 調査結果の集計・分析

○構成比は、質問ごとに不明（無回答）及び非該当を除き算出する。算出された構成比は、小数点第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しているため、合計が100%とならないものもある。

○単純集計：

質問ごとに集計を行った。（シングルアンサー【SA】／マルチアンサー【MA】）

○前回調査結果及び全国、栃木県調査結果との比較：

前回調査結果及び全国、栃木県調査結果では、非該当のみを除き、不明（無回答）を含む構成比による分析を行っていたが、今回調査結果と比較するため、改めて不明（無回答）及び非該当を除いたものを算出した。そのため、これらの報告書に記載されている構成比とは、一部異なる。

また、「壬生町男女共同参画プラン」において目標値が設定されている項目に関しては、前回調査結果と同様に不明（無回答）を含む集計・分析も別途行った。

(7) 調査項目

○調査項目は、次頁表のとおり。

設問区分	設問内容
1. 基本属性	(1) 性別 (2) 年齢 (3) 結婚の状況 (4) 就労の状況
2. 家庭生活	問1 男女の役割に対する考え方 問2 実際の夫婦の役割分担 問3 夫婦の役割分担に対する満足度 問4 育児の役割分担について 問5 男性の家庭参加に必要なこと 問6 「仕事と生活の調和」の認知度 問7 仕事と生活の優先度 問8 日常生活の満足度
3. 介護や老後	問9 介護経験の有無 問10 介護の担い手に関する考え方
4. 子育てや教育	問11 回答者自身の育てられ方 問12 自分の子供の育て方 問13 学校教育において力を入れてほしいこと
5. 就労	問14 女性が職業をもつこと 問15 女性が仕事を続ける上での障害 問16 女性の再就職支援に必要なこと 問17 勤務状況 問17-1 勤務先における女性の状況
6. 地域活動	問18 地域活動の参加状況 問18-1 参加している地域活動 問18-2 参加していない理由 問19 今後参加したい地域活動
7. 人権	問20 女性の人権が尊重されていないと感じる時 問21 女性に対する暴力をなくすために必要なこと 問22 ドメスティック・バイオレンスだと思う行為 問23 ドメスティック・バイオレンスの経験 問24 配偶者への不満
8. 政治や政策への参加	問25 政治への関心 問26 町政における女性の意見の反映度 問27 議員や審議会委員への女性参画の考え方 問28 女性の参画促進のために必要なこと
9. 男女の地位の平等	問29 各分野における男女の平等
10. 町政への要望	問30 男女共同参画を推進するために出来ること 問31 男女協働参画を進めるために必要なこと

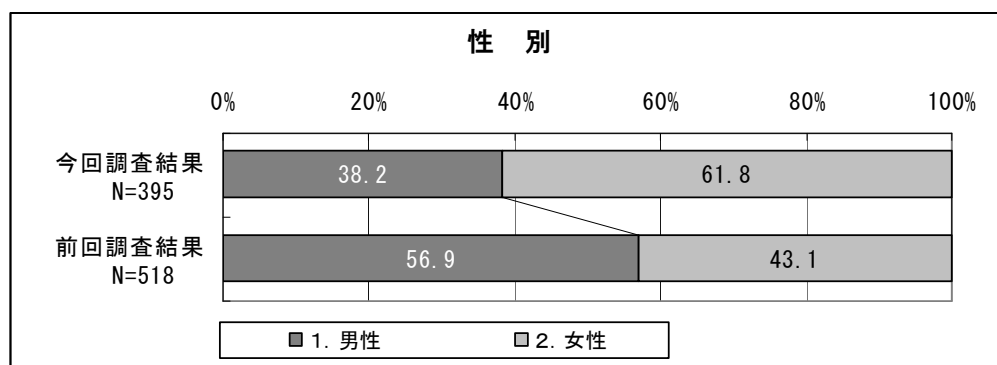
Ⅱ 集計結果

1. 属性について

1-1. 性別 [SA]

■ 女性の方が多く、全体の約 6 割を占める

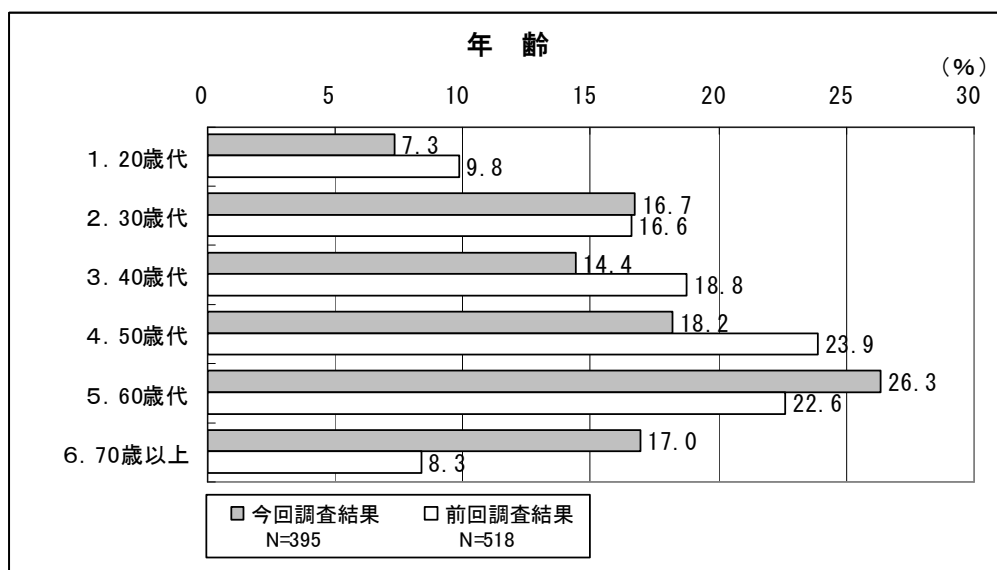
○「1. 男性」が 38.2%、「2. 女性」が 61.8%となっており、女性の方が多い。
○前回調査結果と比べて、「1. 男性」が約 20 ポイント低くなり、その分「2. 女性」が高くなっている。



1-2. 年齢 [SA]

■ 60 歳代、50 歳代、70 歳以上の順に高く、中高齢者が比較的多い

- 「5. 60 歳代」が 26.3%と最も高く、次いで「4. 50 歳代」が 18.2%、「6. 70 歳以上」が 17.0%となっている。
- 前回調査結果と比べ、「3. 40 歳代」「4. 50 歳代」が低くなる一方、「5. 60 歳代」が高くなっている。

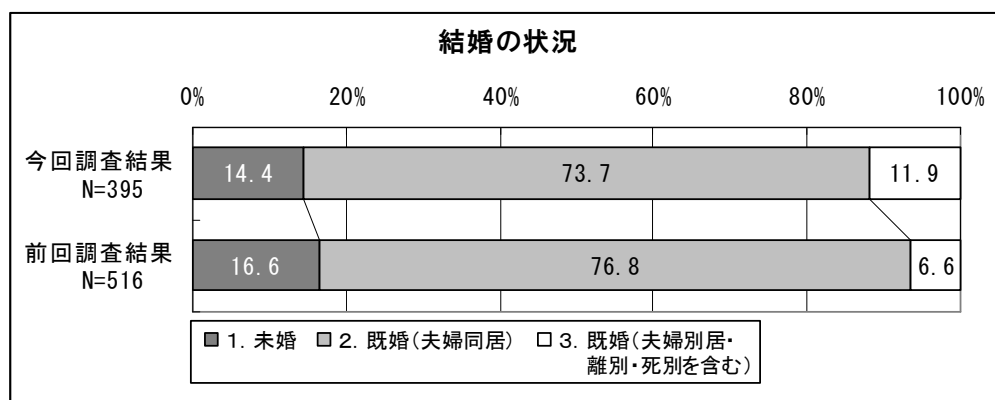


		年齢							
		1	2	3	4	5	6		
全体		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	
合計		396	29	66	57	72	104	67	1
		100.0	7.3	16.7	14.4	18.2	26.3	17.0	
性別	1. 男性	151	8	19	20	33	41	30	0
		100.0	5.3	12.6	13.2	21.9	27.2	19.9	
	2. 女性	244	21	47	37	39	63	37	0
		100.0	8.6	19.3	15.2	16.0	25.8	15.2	

1-3. 結婚の状況 [SA]

■ 既婚（夫婦同居）が最も高く全体の7割以上を占める

- 「2. 既婚（夫婦同居）」が73.7%と最も高く、全体の7割以上を占める。次いで「1. 未婚」が14.4%、「3. 既婚（夫婦別居・離別・死別を含む）」が11.9%となっている。
- 前回調査結果と比べ、若干の差はあるが概ね同様の結果となっている。

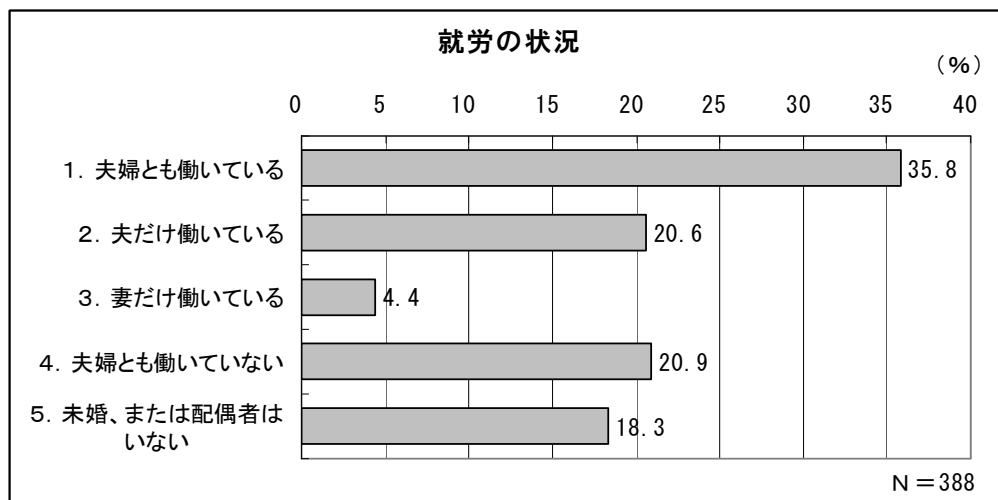


		全体	結婚の状況			
			1 未婚	2 既婚 (夫婦 同居)	3 既婚 (夫婦 別居・ 離別・ 死別を 含む)	不明
合計		396 100.0	57 14.4	291 73.7	47 11.9	1
性別	1. 男性	151 100.0	22 14.6	117 77.5	12 7.9	0
	2. 女性	244 100.0	35 14.3	174 71.3	35 14.3	0
年齢	1. 20歳代	29 100.0	23 79.3	5 17.2	1 3.4	0
	2. 30歳代	66 100.0	19 28.8	44 66.7	3 4.5	0
	3. 40歳代	57 100.0	6 10.5	45 78.9	6 10.5	0
	4. 50歳代	72 100.0	6 8.3	56 77.8	10 13.9	0
	5. 60歳代	104 100.0	3 2.9	87 83.7	14 13.5	0
	6. 70歳以上	67 100.0	0 0.0	54 80.6	13 19.4	0

1-4. 就労の状況 [SA]

■ 夫婦共働きが最も高く、全体の3分の1以上を占める

○ 「1. 夫婦とも働いている」が35.8%と最も高く、次いで「4. 夫婦とも働いていない」が20.9%、「2. 夫だけ働いている」が20.6%となっている。



		全体	就労の状況					
			1 夫婦とも働いている	2 夫だけ働いている	3 妻だけ働いている	4 夫婦とも働いていない	5 未婚、または配偶者はいない	不明
合計		396 100.0	139 35.8	80 20.6	17 4.4	81 20.9	71 18.3	8
性別	1. 男性	151 100.0	50 33.6	34 22.8	4 2.7	35 23.5	26 17.4	2
	2. 女性	244 100.0	89 37.2	46 19.2	13 5.4	46 19.2	45 18.8	5
年齢	1. 20歳代	29 100.0	2 7.1	4 14.3	0 0.0	0 0.0	22 78.6	1
	2. 30歳代	66 100.0	27 41.5	18 27.7	0 0.0	1 1.5	19 29.2	1
	3. 40歳代	57 100.0	33 58.9	12 21.4	2 3.6	0 0.0	9 16.1	1
	4. 50歳代	72 100.0	41 56.9	19 26.4	2 2.8	3 4.2	7 9.7	0
	5. 60歳代	104 100.0	25 24.3	19 18.4	11 10.7	38 36.9	10 9.7	1
	6. 70歳以上	67 100.0	11 17.2	8 12.5	2 3.1	39 60.9	4 6.3	3

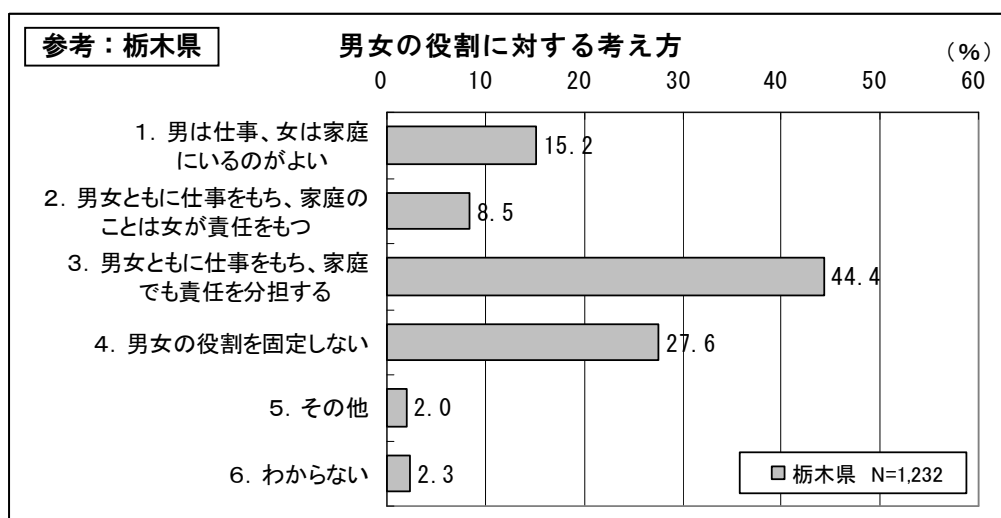
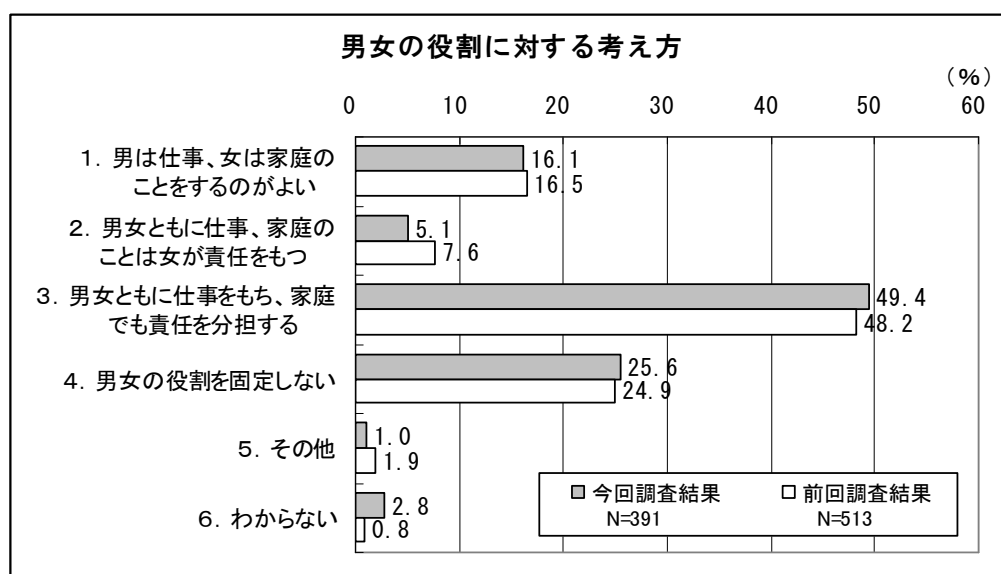
2. 家庭生活などについて

2-1. 男女の役割に対する考え方【SA】

■「男女ともに仕事、家庭でも責任を分担」の考え方が概ね半数で最も高い

- 最も高いのは、「3. 男女ともに仕事をもち、家庭でも責任を分担する」で 49.4%となっており、概ね5割を占めている。次いで、「4. 男女の役割を固定しない」が 25.6%、「1. 男は仕事、女は家庭のことをするのがよい」が 16.1%となっている。
- 全体の傾向は、若干の差異はあるものの、前回調査結果及び栃木県調査結果と概ね同様の結果となっている。
- 固定的性別役割分担に対する考え方は時代とともになくなりつつあるものの、現在でも根強く残っている現状にあり、近年においても考え方に大きな違いがないことから、今後も、男女共同参画社会に関する意識の定着を図る広報・啓発活動を積極的に進める必要がある。

問1 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方がありますが、あなたの考えに最も近いものを選んでください。[1つに○印]



		全体	男女の役割に対する考え方						
			1	2	3	4	5	6	
			男は仕事、女は家庭のことにするのがよい	男女ともに仕事、家庭のことは女が責任をもつ	男女ともに仕事をもち、家庭でも責任を分担する	男女の役割を固定しない	その他	わからない	不明
合計		396 100.0	63 16.1	20 5.1	193 49.4	100 25.6	4 1.0	11 2.8	5
性別	1. 男性	151 100.0	31 20.8	9 6.0	70 47.0	38 25.5	1 0.7	0 0.0	2
	2. 女性	244 100.0	32 13.2	11 4.5	123 50.8	62 25.6	3 1.2	11 4.5	2
年齢	1. 20歳代	29 100.0	5 17.2	1 3.4	14 48.3	8 27.6	0 0.0	1 3.4	0
	2. 30歳代	66 100.0	10 15.4	5 7.7	28 43.1	17 26.2	3 4.6	2 3.1	1
	3. 40歳代	57 100.0	11 19.6	2 3.6	25 44.6	16 28.6	1 1.8	1 1.8	1
	4. 50歳代	72 100.0	12 16.7	5 6.9	40 55.6	13 18.1	0 0.0	2 2.8	0
	5. 60歳代	104 100.0	14 13.6	3 2.9	59 57.3	26 25.2	0 0.0	1 1.0	1
	6. 70歳以上	67 100.0	11 16.7	4 6.1	27 40.9	20 30.3	0 0.0	4 6.1	1

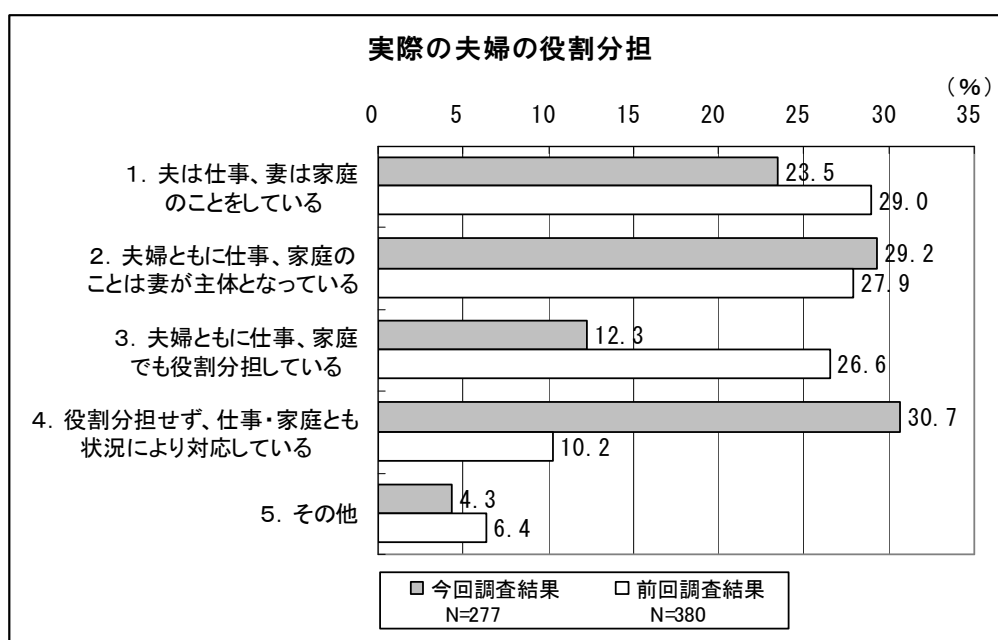
2-2. 実際の夫婦の役割分担【SA】

■「仕事・家庭とも状況により対応」「夫婦ともに仕事、家庭のことは妻が主体」が比較的高い

○最も高いのは、「4. 役割分担せず、仕事・家庭とも状況により対応している」で、30.7%となっており、次いで「2. 夫婦ともに仕事、家庭のことは妻が主体となっている」が29.2%、「1. 夫は仕事、妻は家庭のことをしている」が23.5%となっている。

○前回調査結果と比べて大きく変化したものは、「4. 役割分担せず、仕事・家庭とも状況により対応している」で、20ポイント以上高くなっている。一方、「3. 夫婦ともに仕事、家庭でも役割分担している」が約15ポイント低くなっている。

問2 あなたの家庭において、夫婦の役割分担はどのようになっていますか。最も近いものを選んでください。[1つに○印]



		全体	実際の夫婦の役割分担					
			1 夫は仕事、妻は家庭のことをしている	2 夫婦ともに仕事、家庭のことは妻が主体となっている	3 夫婦ともに仕事、家庭でも役割分担している	4 役割分担は決めず、仕事・家庭とも状況により対応している	5 その他	不明 非該当
合計		396 100.0	65 23.5	81 29.2	34 12.3	85 30.7	12 4.3	14 105
性別	1. 男性	151 100.0	33 28.7	27 23.5	14 12.2	35 30.4	6 5.2	2 34
	2. 女性	244 100.0	32 19.8	54 33.3	20 12.3	50 30.9	6 3.7	12 70
年齢	1. 20歳代	29 100.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 24
	2. 30歳代	66 100.0	16 38.1	15 35.7	6 14.3	5 11.9	0 0.0	2 22
	3. 40歳代	57 100.0	7 16.7	22 52.4	6 14.3	6 14.3	1 2.4	3 12
	4. 50歳代	72 100.0	15 27.8	24 44.4	7 13.0	8 14.8	0 0.0	2 16
	5. 60歳代	104 100.0	19 22.9	13 15.7	10 12.0	37 44.6	4 4.8	4 17
	6. 70歳以上	67 100.0	5 9.8	5 9.8	5 9.8	29 56.9	7 13.7	3 13
男女の役割に対する考え方	1. 男は仕事、女は家庭のことをするのがよい	63 100.0	27 50.0	16 29.6	3 5.6	6 11.1	2 3.7	0 9
	2. 男女ともに仕事、家庭のことは女が責任をもつ	20 100.0	1 8.3	7 58.3	0 0.0	3 25.0	1 8.3	5 3
	3. 男女ともに仕事をもち、家庭でも責任を分担する	193 100.0	21 15.8	42 31.6	28 21.1	37 27.8	5 3.8	6 54
	4. 男女の役割を固定しない	100 100.0	14 20.6	10 14.7	3 4.4	38 55.9	3 4.4	1 31
	5. その他	4 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 1
	6. わからない	11 100.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	2 5

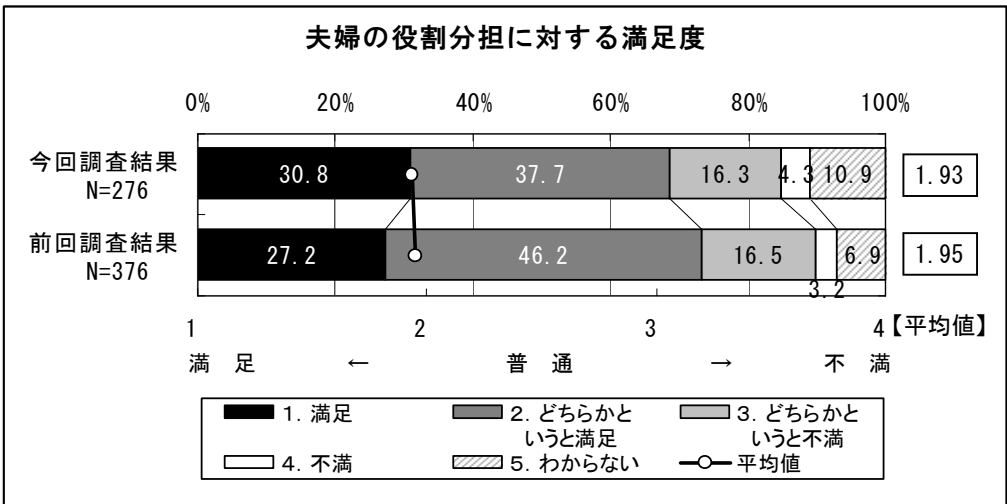
* 目標値設定項目

2-3. 夫婦の役割分担に対する満足度【SA】

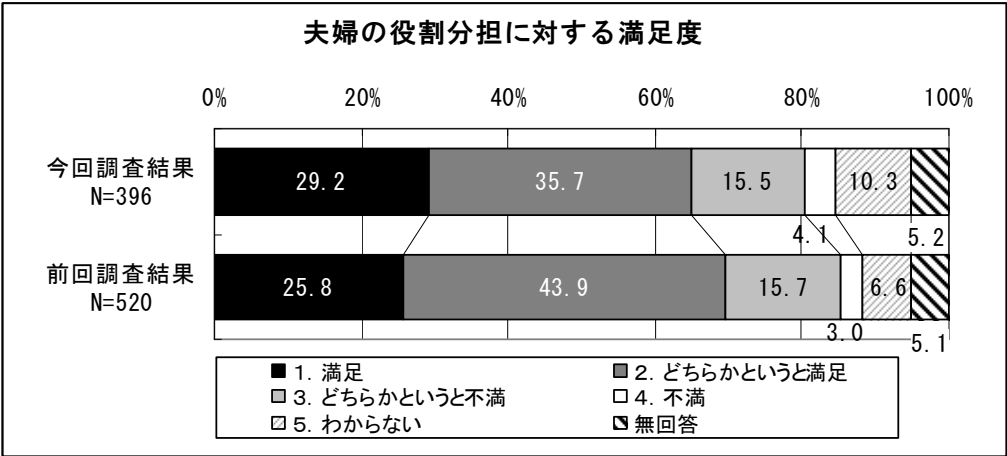
■ 満足と感じている人が多く、全体の7割近くを占める

- 夫婦の役割分担について、「2. どちらかという満足」が 37.7%と最も高く、次いで「1. 満足」が 30.8%となっている。これらを合わせた7割近くの人が満足と感じており、平均値は 1.93 となっている。
- 前回調査結果と比べ、「1. 満足」が若干増え、「2. どちらかという満足」が若干減っている。平均値では若干ながら下がっており、満足度が上がっている。
- 栃木県調査結果と比べ、概ね同様の傾向となっている。平均値で見ると、壬生町の方が満足度が高い結果となっている。
- 適切な役割分担ができるよう

問3 問2のようなご夫婦の役割分担について満足されていますか。[1つに○印]

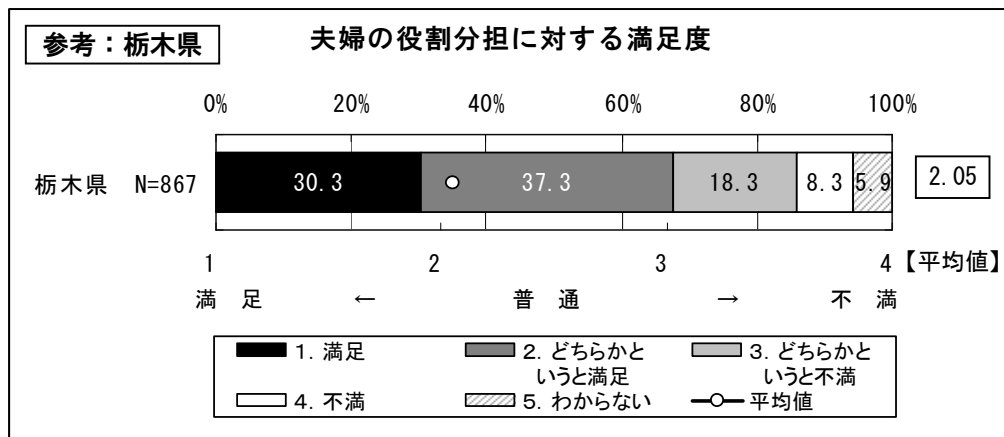


◆ 前回調査結果・目標値との比較(無回答を含む)



●夫婦の役割分担について満足又はどちらかという満足を感じている人の割合
(選択肢「1」「2」の合計)

前回調査結果：69.7%、今回調査結果：64.9%、【目標（H28）：約73%】



【平成21年度 男女協働参画社会に関する意識調査】

※平均値は、「満足」を1、「どちらかという満足」を2、「どちらかという不満」を3、「不満」を4とした場合の加重平均を表す。

※2.5を基準に、数値が小さい方がより満足度が高い結果となっている。

※ただし、平均値の計算においては「わからない」を除くものとする。

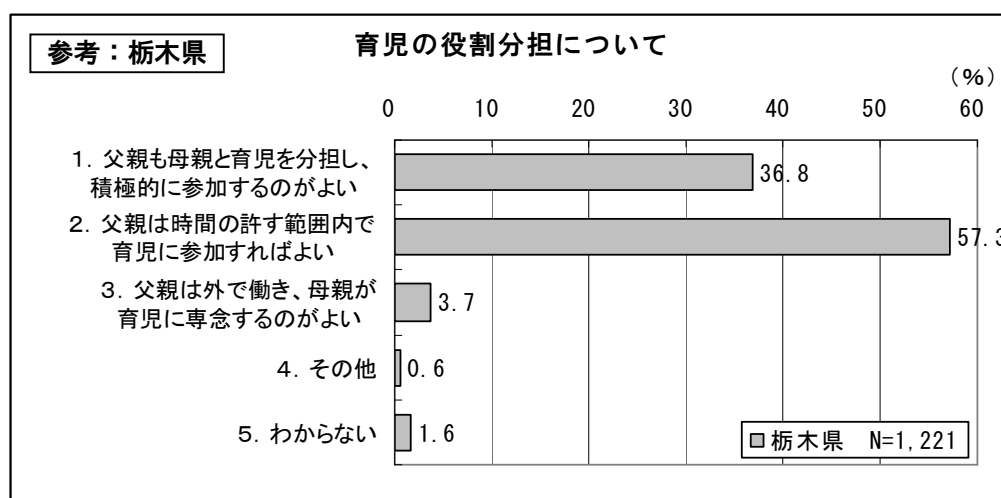
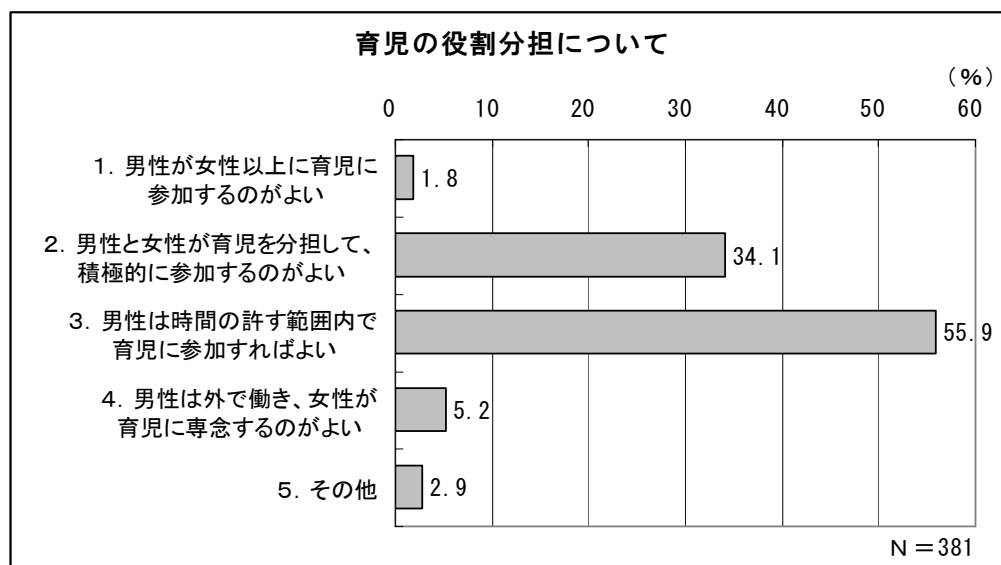
		全体	夫婦の役割分担に対する満足度							平均
			1 満足	2 どちらかという満足	3 どちらかという不満	4 不満	5 わからない	不明	非該当	
合計		396 100.0	85 30.8	104 37.7	45 16.3	12 4.3	30 10.9	15	105	1.93
性別	1. 男性	151 100.0	42 37.2	53 46.9	3 2.7	1 0.9	14 12.4	4	34	1.63
	2. 女性	244 100.0	43 26.4	51 31.3	42 25.8	11 6.7	16 9.8	11	70	2.14
年齢	1. 20歳代	29 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0	24	1.75
	2. 30歳代	66 100.0	12 28.6	12 28.6	6 14.3	3 7.1	9 21.4	2	22	2.00
	3. 40歳代	57 100.0	11 25.6	15 34.9	12 27.9	1 2.3	4 9.3	2	12	2.08
	4. 50歳代	72 100.0	14 25.9	24 44.4	11 20.4	1 1.9	4 7.4	2	16	1.98
	5. 60歳代	104 100.0	22 26.5	35 42.2	11 13.3	5 6.0	10 12.0	4	17	1.99
	6. 70歳以上	67 100.0	24 49.0	17 34.7	4 8.2	2 4.1	2 4.1	5	13	1.66
実際の夫婦の役割分担	1. 夫は仕事、妻は家庭のことをしている	65 100.0	25 38.5	22 33.8	6 9.2	1 1.5	11 16.9	0	0	1.69
	2. 夫婦ともに仕事、家庭のことは妻が主体となっている	81 100.0	17 21.0	24 29.6	25 30.9	6 7.4	9 11.1	0	0	2.28
	3. 夫婦ともに仕事、家庭でも役割分担している	34 100.0	10 31.3	14 43.8	5 15.6	1 3.1	2 6.3	2	0	1.90
	4. 役割分担は決めず、仕事・家庭とも状況により対応している	85 100.0	28 33.3	40 47.6	7 8.3	3 3.6	6 7.1	1	0	1.81
	5. その他	12 100.0	5 41.7	3 25.0	2 16.7	1 8.3	1 8.3	0	0	1.91

2-4. 育児の役割分担について【SA】

■「男性も育児に参加するのがよい」と考えている人が全体の約9割

- 「3. 男性は時間の許す範囲内で育児に参加すればよい」が55.9%と最も高く、全体の半数以上を占める。次いで「2. 男性と女性が育児を分担して、積極的に参加するのがよい」が34.1%と、3分の1程度となっている。
- また、選択肢「1」から「3」を合わせた約9割の人が、「男性も育児に参加するのがよい」と考えている。
- 栃木県調査結果では、選択肢「1」と「2」を合わせた9割以上の人が、「男性も育児に参加するのがよい」と考えており、今回調査結果と概ね同様の結果となっている。

問4 男性(父親)と女性(母親)の育児の役割分担についてどのように思いますか。
[1つに○印]



【平成21年度 男女協働参画社会に関する意識調査】

		全体	育児の役割分担について				
			1	2	3	4	5
			男性が女性以上に育児に参加するのがよい	男性と女性が育児を分担して、積極的に参加するのがよい	男性は時間の許す範囲内で育児に参加すればよい	男性は外で働き、女性が育児に専念するのがよい	その他 不明
合計		396 100.0	7 1.8	130 34.1	213 55.9	20 5.2	11 2.9
性別	1. 男性	151 100.0	3 2.0	45 30.4	85 57.4	12 8.1	3 2.0
	2. 女性	244 100.0	4 1.7	85 36.5	128 54.9	8 3.4	8 3.4
年齢	1. 20歳代	29 100.0	1 3.6	17 60.7	9 32.1	1 3.6	0 0.0
	2. 30歳代	66 100.0	1 1.5	29 43.9	32 48.5	1 1.5	3 4.5
	3. 40歳代	57 100.0	1 1.8	22 40.0	30 54.5	1 1.8	1 1.8
	4. 50歳代	72 100.0	2 2.9	20 29.0	37 53.6	5 7.2	5 7.2
	5. 60歳代	104 100.0	2 2.0	32 31.7	61 60.4	5 5.0	1 1.0
	6. 70歳以上	67 100.0	0 0.0	10 16.1	44 71.0	7 11.3	1 1.6

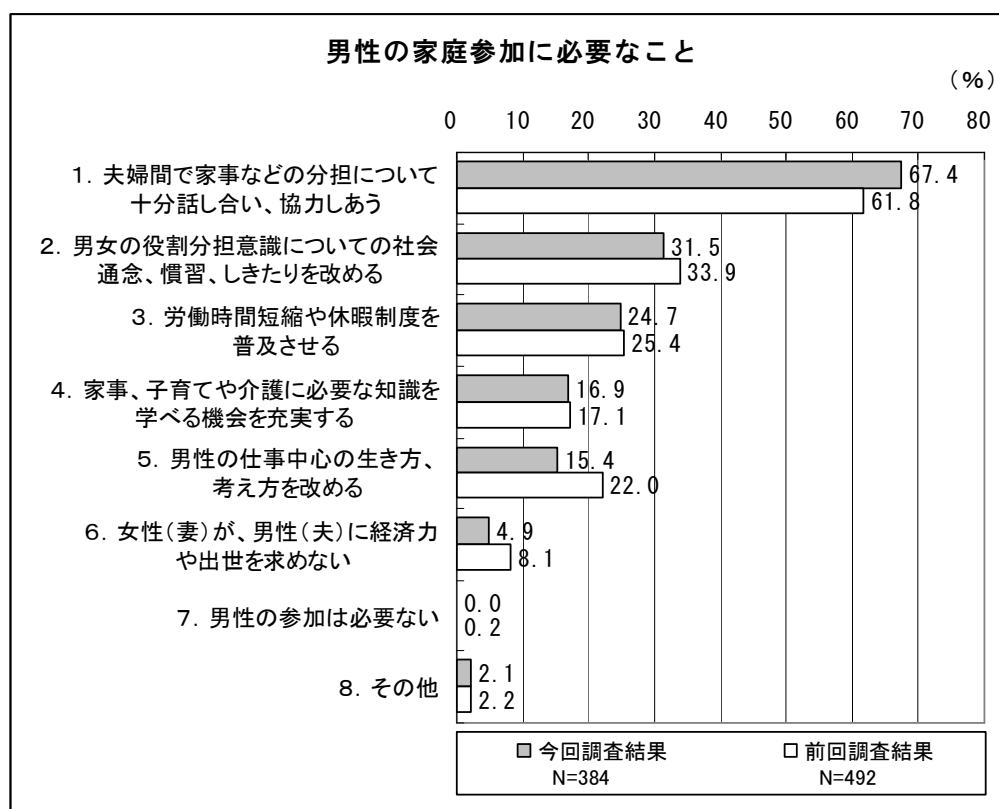
2-5. 男性の家庭参加に必要なこと [MA]

■ 全体の3分の2以上の方が、「夫婦間での十分な話し合いと協力」が必要と感じている

○「1. 夫婦間で家事などの分担について十分話し合い、協力しあう」が67.4%と、全体の3分の2以上を占めている。次いで「2. 男女の役割分担意識についての社会通念、慣習、しきたりを改める」が31.5%、「3. 労働時間短縮や休暇制度を普及させる」が24.7%となっている。

○前回調査結果と比べ、「1. 夫婦間で家事などの分担について十分話し合い、協力しあう」が若干高くなっている一方、「5. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改める」が若干低くなっている。

問5 男性が家事や子育て、介護などの家庭内のことに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。[2つ以内で○印]



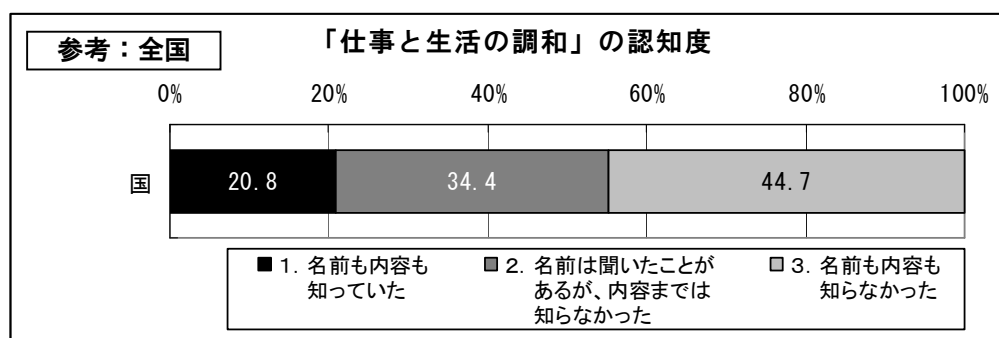
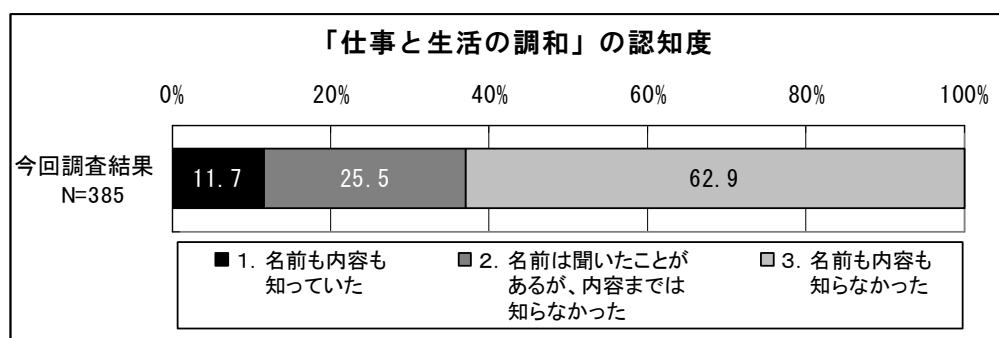
		全体	男性の家庭参加に必要なこと								不明
			1 夫婦 の間で 家事な どの分 担につ いて、 十分 話し合 い、協 力しあ うこと	2 男女 の役 割分 担意 識につ いての 社会 通念、 慣習、 しきた りを改 めるこ と	3 労働 時間 短縮 や休 暇制 度を普 及させ ること	4 家事、 子育て や介 護に必 要な知 識を学 べる機 会を充 実する こと	5 男性 の仕 事中 心の 生き 方、考 え方を 改める こと	6 女性 (妻) が、男 性 (夫)に 経済 力や 出世を 求めな いこと	7 男性 の参 加は 必要 ない	8 その他	
合計		396 100.0	259 67.4	121 31.5	95 24.7	65 16.9	59 15.4	19 4.9	0 0.0	8 2.1	12
性別	1. 男性	151 100.0	98 65.8	43 28.9	35 23.5	23 15.4	25 16.8	11 7.4	0 0.0	3 2.0	2
	2. 女性	244 100.0	161 68.5	78 33.2	60 25.5	42 17.9	34 14.5	8 3.4	0 0.0	5 2.1	9
年齢	1. 20歳代	29 100.0	20 71.4	6 21.4	14 50.0	3 10.7	2 7.1	1 3.6	0 0.0	0 0.0	1
	2. 30歳代	66 100.0	49 74.2	17 25.8	22 33.3	5 7.6	8 12.1	0 0.0	0 0.0	2 3.0	0
	3. 40歳代	57 100.0	35 64.8	18 33.3	17 31.5	9 16.7	9 16.7	3 5.6	0 0.0	0 0.0	3
	4. 50歳代	72 100.0	49 70.0	23 32.9	19 27.1	8 11.4	8 11.4	6 8.6	0 0.0	5 7.1	2
	5. 60歳代	104 100.0	66 66.0	32 32.0	17 17.0	22 22.0	23 23.0	7 7.0	0 0.0	0 0.0	4
	6. 70歳以上	67 100.0	40 60.6	25 37.9	6 9.1	18 27.3	9 13.6	2 3.0	0 0.0	1 1.5	1

2-6. 「仕事と生活の調和」の認知度 [S A]

■ 認知度は3分の1程度で、名前も内容も知らない人が6割以上

- 「3. 名前も内容も知らなかった」が62.9%と最も高く、全体の約6割を占めている。次いで、「2. 名前は聞いたことがあるが、内容までは知らなかった」が25.5%、「1. 名前も内容も知っていた」が11.7%となっており、認知度は全体の3分の1程度となっている。
- 全国の調査結果と比べると、認知度は15ポイント以上低い結果となっている。

問6 あなたは、この『ワークライフバランス』という言葉をどの程度知っていますか。
[1つに○印]



【平成23年版 男女共同参画白書】

		全体	「仕事と生活の調和」 の認知度			
			1 名前も 内容も 知って いた	2 名前 は聞い たこと がある が、内 容まで は知ら なかつ た	3 名前も 内容も 知らな かつた	不明
合計		396 100.0	45 11.7	98 25.5	242 62.9	11
性別	1. 男性	151 100.0	21 14.0	35 23.3	94 62.7	1
	2. 女性	244 100.0	24 10.2	63 26.8	148 63.0	9
年齢	1. 20歳代	29 100.0	2 7.1	3 10.7	23 82.1	1
	2. 30歳代	66 100.0	8 12.1	14 21.2	44 66.7	0
	3. 40歳代	57 100.0	8 14.3	9 16.1	39 69.6	1
	4. 50歳代	72 100.0	4 5.6	18 25.4	49 69.0	1
	5. 60歳代	104 100.0	14 13.7	31 30.4	57 55.9	2
	6. 70歳以上	67 100.0	9 14.5	23 37.1	30 48.4	5

2-7. 仕事と生活の優先度【SA】

- 『希望』の優先度は「家庭生活とプライベート」が最も高い
- 『現実』の優先度は「仕事」が最も高い

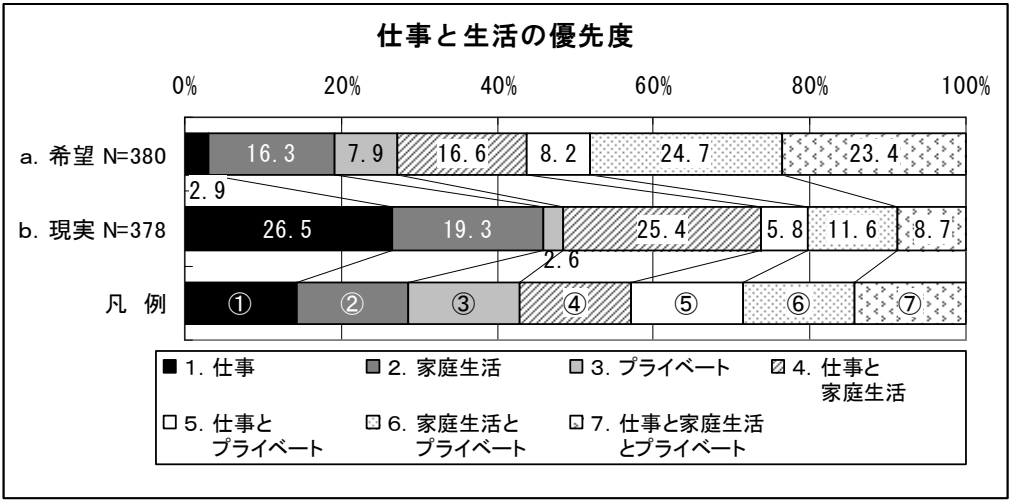
○『a. 希望』では、「6. 家庭生活とプライベート」が 24.7%と最も高く、次いで「7. 仕事と家庭生活とプライベート」が 23.4%、「4. 仕事と家庭生活」が 16.6%となっている。

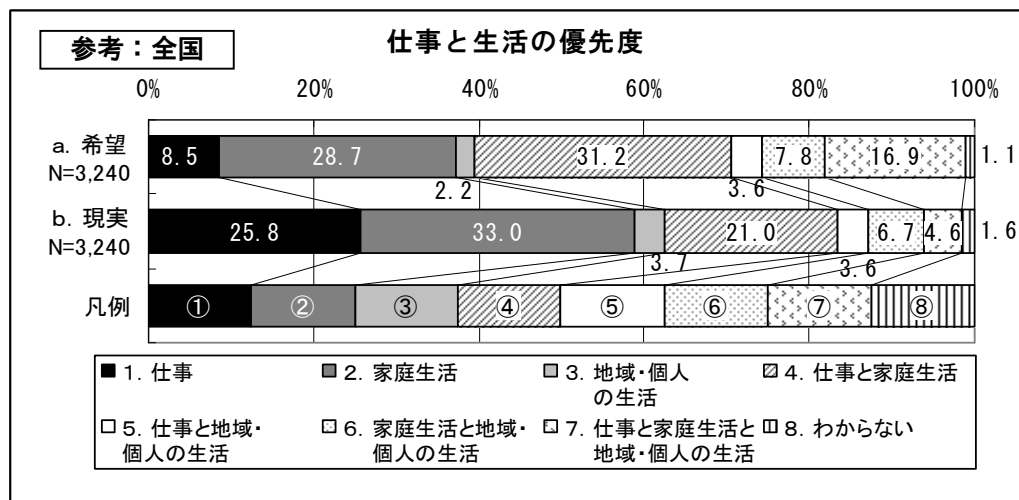
○また、『b. 現実』では「1. 仕事」が 26.5%と最も高く、次いで「4. 仕事と家庭生活」が 25.4%、「2. 家庭生活」が 19.3%となっている。

○全国及び栃木県調査結果では、『a. 希望』においては「仕事と家庭生活」が最も高く、次いで「家庭生活」となっている。

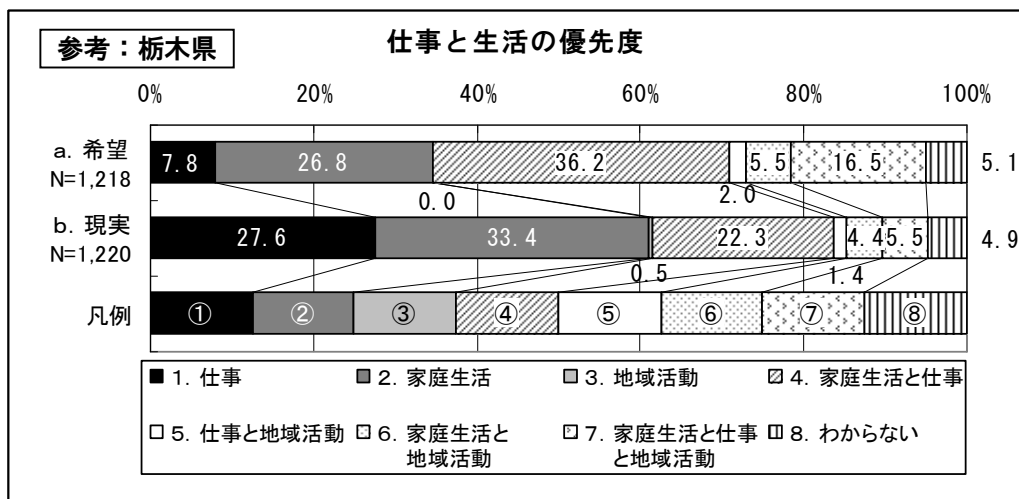
○また、『b. 現実』では「家庭生活」が最も高く、次いで「仕事」となっている。

問7 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「プライベート(仕事・家庭以外の自分の時間)」の優先度についておうかがいします。あなたはどちらを優先したいですか。『a. 希望』と『b. 現実』を、それぞれ選んでください。[各1つに○印]





【平成 21 年度 男女共同参画社会に関する世論調査】



【平成 21 年度 男女共同参画社会に関する意識調査】

		全体	仕事と生活の優先度 ■ 希望						
			1	2	3	4	5	6	7
			「仕事」	「家庭生活」	「プライベート」	「仕事」と「家庭生活」	「仕事」と「プライベート」	「家庭生活」と「プライベート」	「仕事」と「家庭生活」と「プライベート」
合計		396 100.0	11 2.9	62 16.3	30 7.9	63 16.6	31 8.2	94 24.7	89 23.4
性別	1. 男性	151 100.0	6 4.0	23 15.4	10 6.7	36 24.2	16 10.7	25 16.8	33 22.1
	2. 女性	244 100.0	5 2.2	39 16.9	20 8.7	27 11.7	15 6.5	69 29.9	56 24.2
年齢	1. 20歳代	29 100.0	0 0.0	4 14.3	6 21.4	2 7.1	5 17.9	8 28.6	3 10.7
	2. 30歳代	66 100.0	2 3.1	7 10.9	8 12.5	1 1.6	8 12.5	25 39.1	13 20.3
	3. 40歳代	57 100.0	2 3.6	10 18.2	4 7.3	10 18.2	4 7.3	13 23.6	12 21.8
	4. 50歳代	72 100.0	4 5.7	7 10.0	3 4.3	13 18.6	6 8.6	14 20.0	23 32.9
	5. 60歳代	104 100.0	1 1.0	13 12.9	5 5.0	26 25.7	7 6.9	22 21.8	27 26.7
	6. 70歳以上	67 100.0	2 3.2	21 33.9	4 6.5	11 17.7	1 1.6	12 19.4	11 17.7

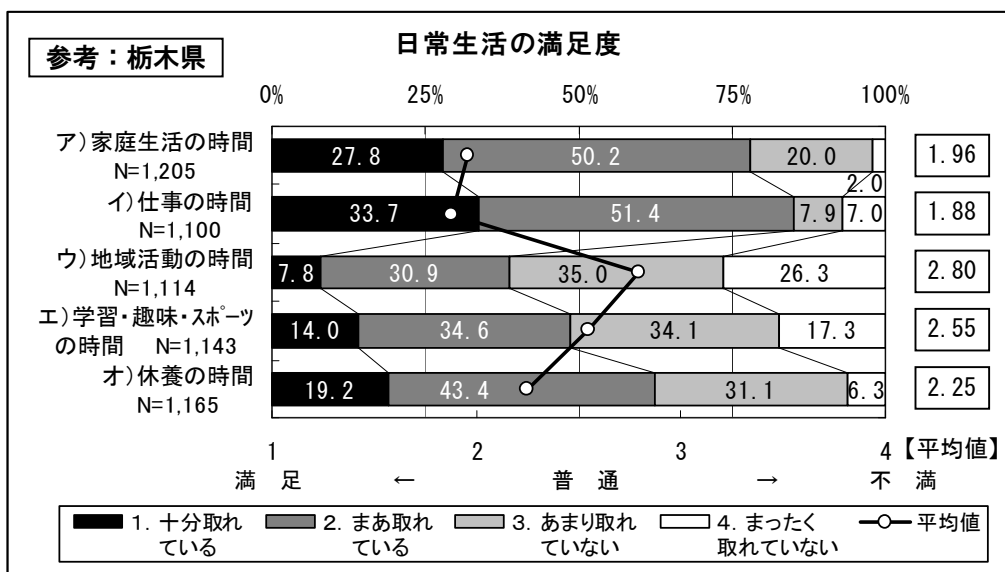
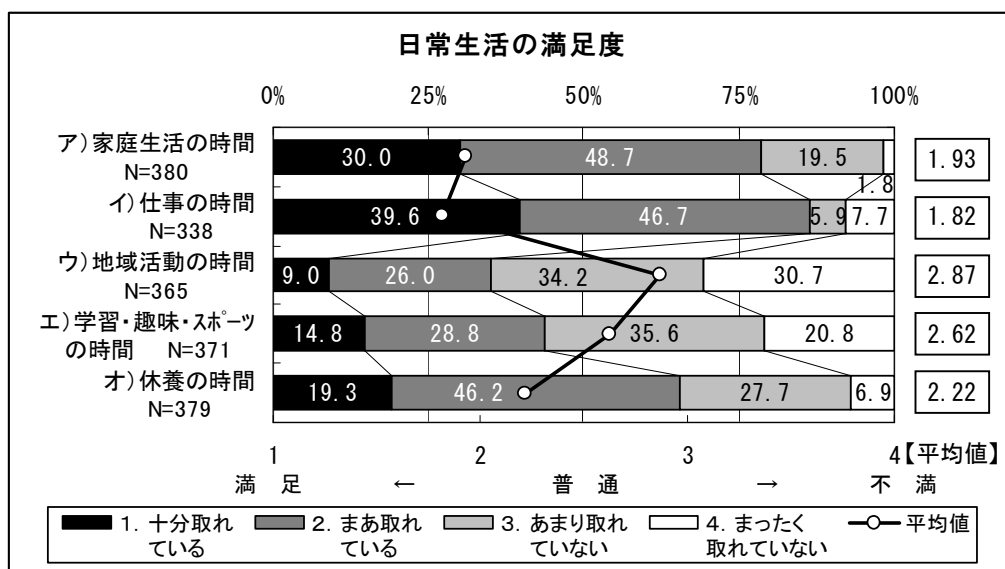
		全体	仕事と生活の優先度 ■ 現実						
			1	2	3	4	5	6	7
			「仕事」	「家庭生活」	「プライベート」	「仕事」と「家庭生活」	「仕事」と「プライベート」	「家庭生活」と「プライベート」	「仕事」と「家庭生活」と「プライベート」
合計		396 100.0	100 26.5	73 19.3	10 2.6	96 25.4	22 5.8	44 11.6	33 8.7
性別	1. 男性	151 100.0	56 38.1	21 14.3	4 2.7	29 19.7	12 8.2	14 9.5	11 7.5
	2. 女性	244 100.0	44 19.0	52 22.5	6 2.6	67 29.0	10 4.3	30 13.0	22 9.5
年齢	1. 20歳代	29 100.0	9 32.1	7 25.0	1 3.6	3 10.7	5 17.9	1 3.6	2 7.1
	2. 30歳代	66 100.0	21 32.8	13 20.3	1 1.6	17 26.6	6 9.4	4 6.3	2 3.1
	3. 40歳代	57 100.0	19 35.2	7 13.0	0 0.0	18 33.3	3 5.6	4 7.4	3 5.6
	4. 50歳代	72 100.0	28 40.6	9 13.0	1 1.4	16 23.2	3 4.3	4 5.8	8 11.6
	5. 60歳代	104 100.0	17 16.7	21 20.6	2 2.0	28 27.5	5 4.9	17 16.7	12 11.8
	6. 70歳以上	67 100.0	6 9.8	16 26.2	5 8.2	14 23.0	0 0.0	14 23.0	6 9.8

2-8. 日常生活の満足度【SA】

- 満足に時間がとれているのは【仕事】【家庭生活の時間】【休養の時間】
- 比較的時間をとれていないのは【地域活動】【学習・趣味・スポーツの時間】

○満足する時間をとれている項目としては、平均値の小さい順に、【イ）仕事の時間】
【ア）家庭生活の時間】【オ）休養の時間】となっている。
○一方、時間がとれていない項目は、平均値の大きい順に、【ウ）地域活動の時間】【エ）
学習・趣味・スポーツの時間】となっている。
○栃木県調査結果と比べ、若干の差はあるが概ね同様の傾向を示している。

問8 あなたは、日常生活の中で、次のア）～オ）について、満足する時間がとれていますか。
【項目ごとに1つずつ○印】



【平成21年度 男女共同参画社会に関する意識調査】

※平均値は、「十分取れている」を1、「まあ取れている」を2、「あまり取れていない」を3、「まったく取れていない」を4とした場合の加重平均を表す。

※2.5を基準に、数値が小さい方がより満足度が高い結果となっている。

		全体	ア) 家庭生活のための時間					
			1	2	3	4		
			十分 取れている	まあ 取れている	あまり 取れていない	まったく 取れていない	不明	平均
合計		396 100.0	114 30.0	185 48.7	74 19.5	7 1.8	16	1.93
性別	1. 男性	151 100.0	31 20.8	81 54.4	32 21.5	5 3.4	2	2.07
	2. 女性	244 100.0	83 35.9	104 45.0	42 18.2	2 0.9	13	1.84
年齢	1. 20歳代	29 100.0	11 39.3	8 28.6	9 32.1	0 0.0	1	1.93
	2. 30歳代	66 100.0	15 23.4	34 53.1	14 21.9	1 1.6	2	2.02
	3. 40歳代	57 100.0	8 14.3	28 50.0	18 32.1	2 3.6	1	2.25
	4. 50歳代	72 100.0	11 15.9	44 63.8	12 17.4	2 2.9	3	2.07
	5. 60歳代	104 100.0	39 38.6	45 44.6	15 14.9	2 2.0	3	1.80
	6. 70歳以上	67 100.0	30 48.4	26 41.9	6 9.7	0 0.0	5	1.61

		全体	イ) 仕事のための時間					
			1	2	3	4		
			十分 取れている	まあ 取れている	あまり 取れていない	まったく 取れていない	不明	平均
合計		396 100.0	134 39.6	158 46.7	20 5.9	26 7.7	58	1.82
性別	1. 男性	151 100.0	61 43.9	65 46.8	7 5.0	6 4.3	12	1.70
	2. 女性	244 100.0	73 36.7	93 46.7	13 6.5	20 10.1	45	1.90
年齢	1. 20歳代	29 100.0	14 53.8	8 30.8	1 3.8	3 11.5	3	1.73
	2. 30歳代	66 100.0	28 44.4	20 31.7	6 9.5	9 14.3	3	1.94
	3. 40歳代	57 100.0	20 37.7	26 49.1	5 9.4	2 3.8	4	1.79
	4. 50歳代	72 100.0	28 43.1	32 49.2	1 1.5	4 6.2	7	1.71
	5. 60歳代	104 100.0	25 29.8	50 59.5	5 6.0	4 4.8	20	1.86
	6. 70歳以上	67 100.0	19 40.4	22 46.8	2 4.3	4 8.5	20	1.81

		全体	ウ) 地域活動に参加する時間					
			1	2	3	4		
			十分 取れている	まあ 取れている	あまり 取れていない	まったく 取れていない	不明	平均
合計		396 100.0	33 9.0	95 26.0	125 34.2	112 30.7	31	2.87
性別	1. 男性	151 100.0	12 8.2	49 33.3	40 27.2	46 31.3	4	2.82
	2. 女性	244 100.0	21 9.6	46 21.1	85 39.0	66 30.3	26	2.90
年齢	1. 20歳代	29 100.0	2 7.1	5 17.9	6 21.4	15 53.6	1	3.21
	2. 30歳代	66 100.0	1 1.6	10 15.6	19 29.7	34 53.1	2	3.34
	3. 40歳代	57 100.0	5 8.9	15 26.8	23 41.1	13 23.2	1	2.79
	4. 50歳代	72 100.0	4 6.0	14 20.9	27 40.3	22 32.8	5	3.00
	5. 60歳代	104 100.0	9 9.8	30 32.6	30 32.6	23 25.0	12	2.73
	6. 70歳以上	67 100.0	12 20.7	21 36.2	20 34.5	5 8.6	9	2.31

		全体	エ) 学習・趣味・スポーツなどのための時間					
			1	2	3	4		
			十分 取れている	まあ 取れている	あまり 取れていない	まったく 取れていない	不明	平均
合計		396 100.0	55 14.8	107 28.8	132 35.6	77 20.8	25	2.62
性別	1. 男性	151 100.0	25 17.0	45 30.6	56 38.1	21 14.3	4	2.50
	2. 女性	244 100.0	30 13.4	62 27.7	76 33.9	56 25.0	20	2.71
年齢	1. 20歳代	29 100.0	9 32.1	8 28.6	10 35.7	1 3.6	1	2.11
	2. 30歳代	66 100.0	3 4.7	17 26.6	25 39.1	19 29.7	2	2.94
	3. 40歳代	57 100.0	5 8.9	10 17.9	23 41.1	18 32.1	1	2.96
	4. 50歳代	72 100.0	3 4.5	16 23.9	29 43.3	19 28.4	5	2.96
	5. 60歳代	104 100.0	16 16.2	37 37.4	33 33.3	13 13.1	5	2.43
	6. 70歳以上	67 100.0	19 33.3	19 33.3	12 21.1	7 12.3	10	2.12

		全体	オ) 休養のための時間					
			1	2	3	4	不明	平均
			十分 取れ ている	まあ 取れ ている	あまり 取れ てい ない	まった く取れ てい ない		
合計		396 100.0	73 19.3	175 46.2	105 27.7	26 6.9	17	2.22
性別	1. 男性	151 100.0	24 16.2	75 50.7	40 27.0	9 6.1	3	2.23
	2. 女性	244 100.0	49 21.2	100 43.3	65 28.1	17 7.4	13	2.22
年齢	1. 20歳代	29 100.0	11 39.3	11 39.3	4 14.3	2 7.1	1	1.89
	2. 30歳代	66 100.0	3 4.6	25 38.5	29 44.6	8 12.3	1	2.65
	3. 40歳代	57 100.0	2 3.6	26 46.4	22 39.3	6 10.7	1	2.57
	4. 50歳代	72 100.0	6 8.8	36 52.9	21 30.9	5 7.4	4	2.37
	5. 60歳代	104 100.0	27 26.5	47 46.1	24 23.5	4 3.9	2	2.05
	6. 70歳以上	67 100.0	24 40.0	30 50.0	5 8.3	1 1.7	7	1.72

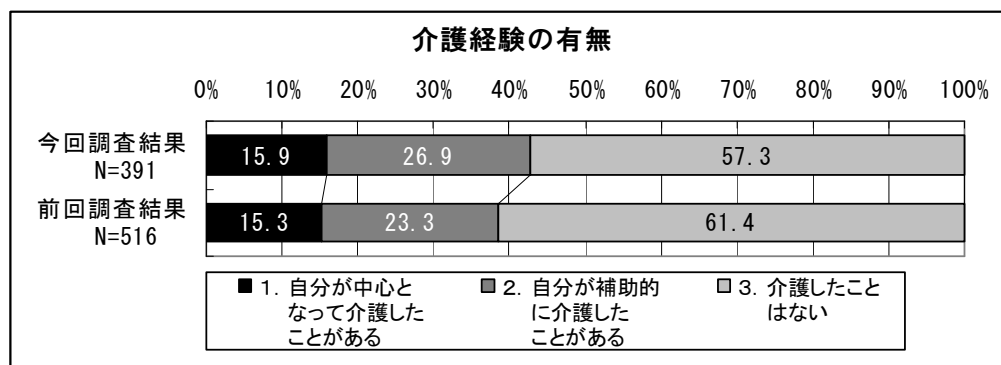
3. 介護や老後について

3-1. 介護経験の有無 [SA]

■ 全体の6割近くが「介護経験なし」

○「3. 介護したことはない」が57.3%と最も高く、全体の半数以上を占める。次いで、「2. 自分が補助的に介護したことがある」が26.9%、「1. 自分が中心となって介護したことがある」が15.9%となっている。
○前回調査結果と比べ、わずかながら、介護経験者が増えている。

問9 あなたは、ご家族を介護したことがありますか(または、現在していますか)。
[1つに○印]



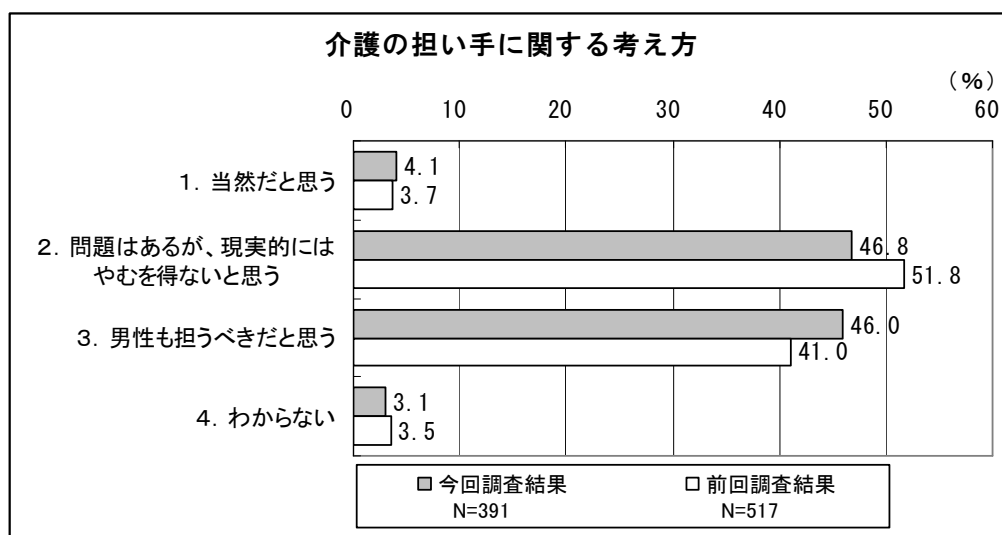
		全体	介護経験の有無			
			1	2	3	不明
			自分が中心となって介護したことがある(している)	自分が補助的に介護したことがある(している)	介護したことはない	
合計		396 100.0	62 15.9	105 26.9	224 57.3	5
性別	1. 男性	151 100.0	9 6.0	45 29.8	97 64.2	0
	2. 女性	244 100.0	53 22.1	60 25.0	127 52.9	4
年齢	1. 20歳代	29 100.0	0 0.0	3 10.3	26 89.7	0
	2. 30歳代	66 100.0	2 3.1	13 20.0	50 76.9	1
	3. 40歳代	57 100.0	7 12.7	10 18.2	38 69.1	2
	4. 50歳代	72 100.0	18 25.0	19 26.4	35 48.6	0
	5. 60歳代	104 100.0	21 20.4	34 33.0	48 46.6	1
	6. 70歳以上	67 100.0	14 20.9	26 38.8	27 40.3	0

3-2. 介護の担い手に関する考え方【SA】

- 介護を「女性が担うのは現実的にはやむを得ない」と「男性も担うべき」が高く、それぞれ4割強を占める

○高い順に、「2. 問題はあるが、現実的にはやむを得ないと思う」が46.8%、次いで「3. 男性も担うべきだと思う」が46.0%となっており、ともに4割強を占める。
○前回調査結果と比べ、「2. 問題はあるが、現実的にはやむを得ないと思う」が5ポイント低くなる一方、「3. 男性も担うべきだと思う」が5ポイント高くなっている。

問 10 病人や高齢者などの介護は、女性が主な担い手となっているケースが多いのが現状です。あなたはこれについてどう思いますか。[1つに○印]



		全体	介護の担い手に関する考え方				
			1 当然だ と思う	2 問題はあ るが、現 实的には やむを得 ないと思 う	3 男性も 担うべ きだと思 う	4 わから ない	不明
合計		396 100.0	16 4.1	183 46.8	180 46.0	12 3.1	5
性別	1. 男性	151 100.0	4 2.6	67 44.4	75 49.7	5 3.3	0
	2. 女性	244 100.0	12 5.0	116 48.3	105 43.8	7 2.9	4
年齢	1. 20歳代	29 100.0	1 3.4	12 41.4	13 44.8	3 10.3	0
	2. 30歳代	66 100.0	0 0.0	37 56.9	27 41.5	1 1.5	1
	3. 40歳代	57 100.0	3 5.5	21 38.2	29 52.7	2 3.6	2
	4. 50歳代	72 100.0	2 2.8	36 50.7	30 42.3	3 4.2	1
	5. 60歳代	104 100.0	5 4.8	47 45.2	51 49.0	1 1.0	0
	6. 70歳以上	67 100.0	5 7.5	30 44.8	30 44.8	2 3.0	0

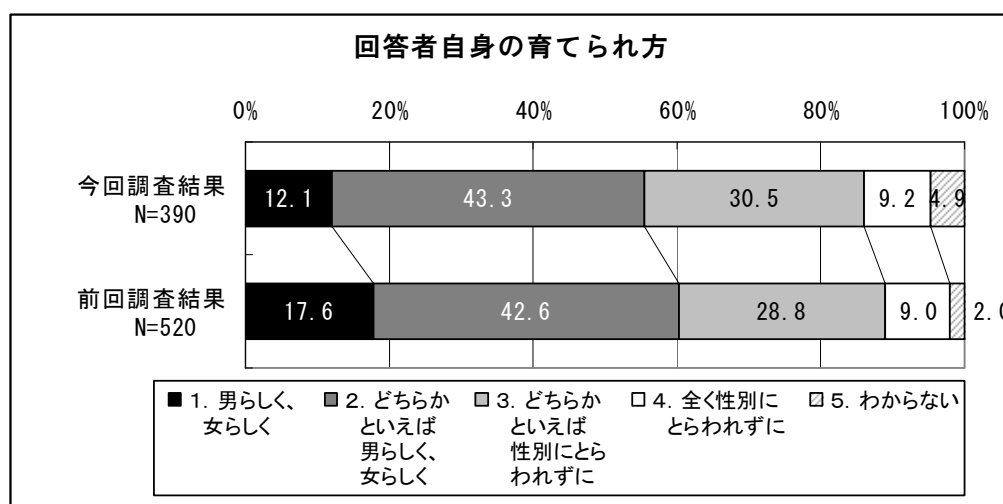
4. 子育てや教育について

4-1. 回答者自身の育てられ方【SA】

■「どちらかといえば男らしく、女らしく」が高く全体の4割以上を占める

- 「2. どちらかといえば男らしく、女らしく」が43.3%と最も高く、次いで「3. どちらかといえば性別にとられず」が30.5%、「1. 男らしく、女らしく」が12.1%となっている。
- 前回調査結果と比べ、「1. 男らしく、女らしく」が5ポイント低くなっている。

問 11 子どもを育てるときに、「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という考え方がありますが、あなた自身はどう育てられましたか。最も近いものを選んでください。
[1つに○印]



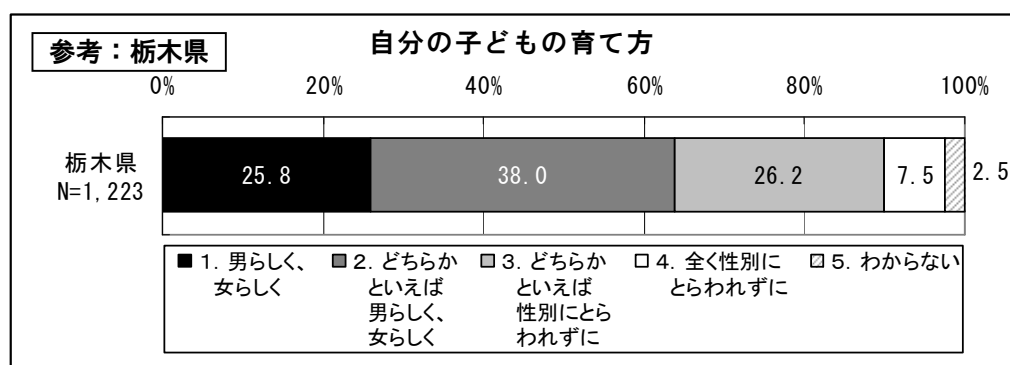
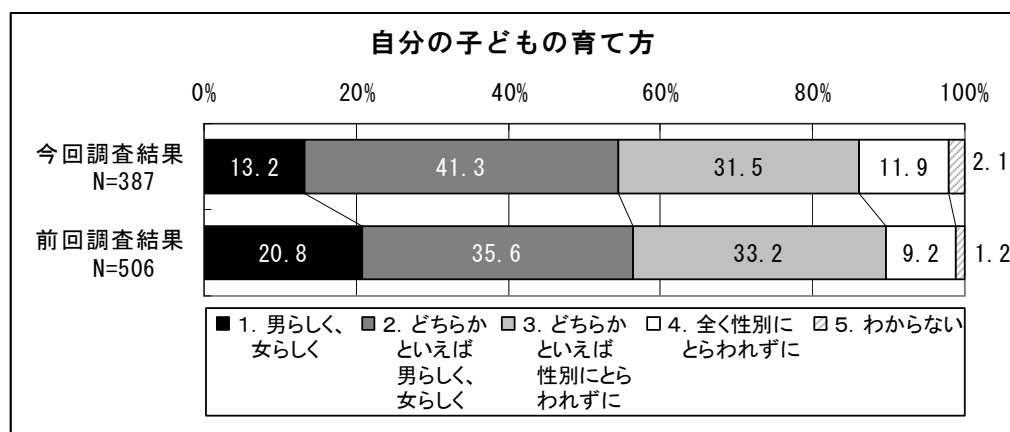
		全体	回答者自身の育てられ方					
			1	2	3	4	5	
			「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに	どちらかといえば「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに	どちらかといえば、性別にとらわれずに	全く性別にとらわれずに	わからない	不明
合計		396 100.0	47 12.1	169 43.3	119 30.5	36 9.2	19 4.9	6
性別	1. 男性	151 100.0	22 14.6	66 43.7	43 28.5	11 7.3	9 6.0	0
	2. 女性	244 100.0	25 10.5	103 43.1	76 31.8	25 10.5	10 4.2	5
年齢	1. 20歳代	29 100.0	2 6.9	8 27.6	14 48.3	4 13.8	1 3.4	0
	2. 30歳代	66 100.0	10 15.6	28 43.8	15 23.4	5 7.8	6 9.4	2
	3. 40歳代	57 100.0	7 12.7	26 47.3	16 29.1	5 9.1	1 1.8	2
	4. 50歳代	72 100.0	6 8.3	33 45.8	22 30.6	8 11.1	3 4.2	0
	5. 60歳代	104 100.0	13 12.6	44 42.7	35 34.0	6 5.8	5 4.9	1
	6. 70歳以上	67 100.0	9 13.4	30 44.8	17 25.4	8 11.9	3 4.5	0

4-2. 自分の子どもの育て方【SA】

■「どちらかといえば男らしく、女らしく」が高く全体の約4割

- 「2. どちらかといえば男らしく、女らしく」が41.3%と最も高く、次いで「3. どちらかといえば性別にとらわれず」が31.5%、「1. 男らしく、女らしく」が13.2%となっている。
- また、選択肢「1」と「2」を合わせた54.5%が「男らしく、女らしく」、選択肢「3」と「4」を合わせた43.4%が「性別にとらわれずに」となっている。
- 前回調査結果と比べ、「1. 男らしく、女らしく」が約7ポイント低くなっている一方、「2. どちらかといえば男らしく、女らしく」が約5ポイント高くなっている。
- 栃木県調査結果と比べ、「1. 男らしく、女らしく」が10ポイント以上低い結果となっている。

問 12 それでは、あなたは、自分の子どもをどう育てたいと思いますか。最も近いものを選んでください。（子どもがいない場合には、“子どもがいる”と仮定してお考えください。）〔1つに○印〕



【平成21年度 男女共同参画社会に関する意識調査】

		全体	自分の子どもの育て方					
			1	2	3	4	5	
			「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに	どちらかといえば「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに	どちらかといえば、性別にとらわれずに	全く性別にとらわれずに	わからない	不明
合計		396 100.0	51 13.2	160 41.3	122 31.5	46 11.9	8 2.1	9
性別	1. 男性	151 100.0	25 16.9	72 48.6	37 25.0	13 8.8	1 0.7	3
	2. 女性	244 100.0	26 10.9	88 36.8	85 35.6	33 13.8	7 2.9	5
年齢	1. 20歳代	29 100.0	1 3.4	9 31.0	13 44.8	5 17.2	1 3.4	0
	2. 30歳代	66 100.0	11 16.9	29 44.6	20 30.8	5 7.7	0 0.0	1
	3. 40歳代	57 100.0	7 13.0	24 44.4	15 27.8	7 13.0	1 1.9	3
	4. 50歳代	72 100.0	9 12.7	28 39.4	23 32.4	8 11.3	3 4.2	1
	5. 60歳代	104 100.0	13 12.5	43 41.3	34 32.7	14 13.5	0 0.0	0
	6. 70歳以上	67 100.0	10 15.6	27 42.2	17 26.6	7 10.9	3 4.7	3

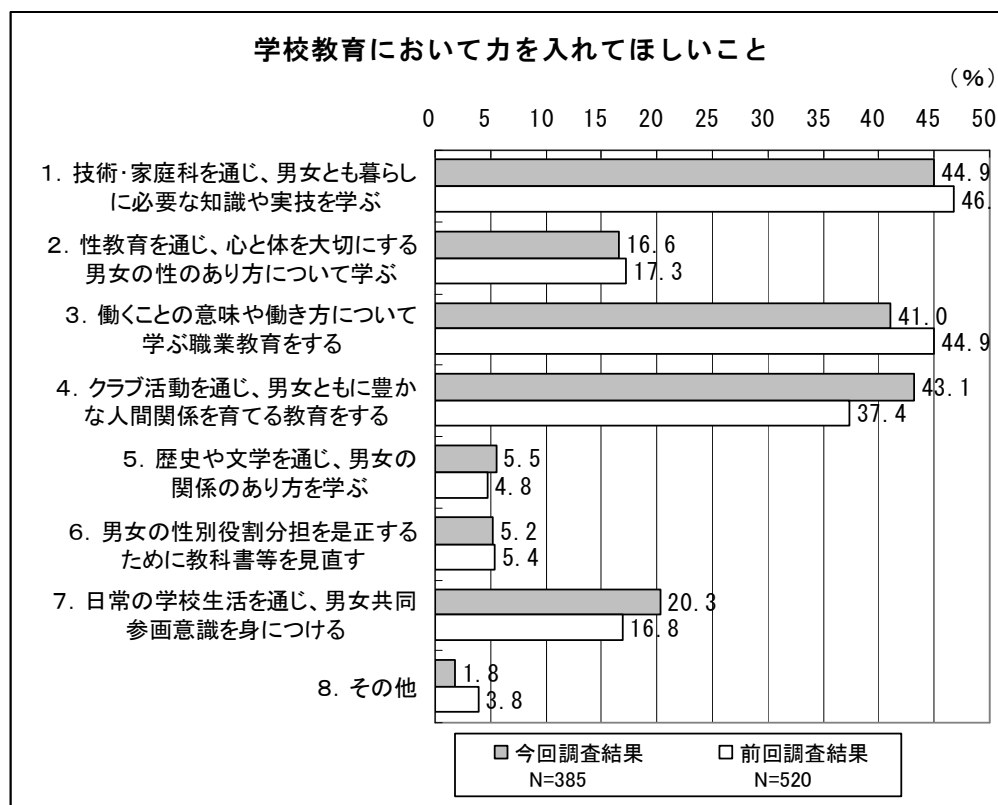
4-3. 学校教育において力を入れてほしいこと【MA】

■「男女とも暮らしに必要な知識や実技」や「男女ともに豊かな人間関係を育てる教育」「働くことや働き方を学ぶ職業教育」が高い。

○最も高いのは、「1. 技術・家庭科を通じ、男女とも暮らしに必要な知識や実技を学ぶ」で 44.9%、次いで「4. クラブ活動を通じ、男女ともに豊かな人間関係を育てる」が 43.1%、「3. 働くことの意味や働き方について学ぶ職業教育をする」が 41.0%となっている。

○前回調査結果と比べ、「4. クラブ活動を通じ、男女ともに豊かな人間関係を育てる」、「7. 日常の学校生活を通じ、男女共同参画意識を身につける」が高くなっている。

問 13 男女が互いにその人権を尊重しつつ、ともに責任をもち、協力しあって暮らす社会をつくるために、学校教育の中で特に力を入れてほしいと思うものは何ですか。
[2つ以内で○印]



		学校教育において力を入れてほしいこと									
		全体	1	2	3	4	5	6	7	8	不明
			技術・家庭科などを通じて、男女ともに暮らしに必要な知識や実技を学ぶこと	性教育などを通じて、心と体を大切にする男女の性のあり方について学ぶこと	働くことの意味や働き方などについて学ぶ職業教育をすること	クラブ活動などを通じて、男女ともに豊かな人間関係を育てる教育をすること	歴史や文学などを通じて男女の関係のあり方を学ぶこと	男女の性別役割分担を是正するために教科書等を見直すこと	クラス委員や係活動など日常生活を通じて男女共同参画意識を身につけること	その他	
合計		396 100.0	173 44.9	64 16.6	158 41.0	166 43.1	21 5.5	20 5.2	78 20.3	7 1.8	11
性別	1. 男性	151 100.0	56 37.6	20 13.4	68 45.6	64 43.0	11 7.4	10 6.7	28 18.8	6 4.0	2
	2. 女性	244 100.0	117 49.6	44 18.6	90 38.1	102 43.2	10 4.2	10 4.2	50 21.2	1 0.4	8
年齢	1. 20歳代	29 100.0	12 41.4	3 10.3	16 55.2	12 41.4	0 0.0	1 3.4	6 20.7	0 0.0	0
	2. 30歳代	66 100.0	37 56.9	10 15.4	24 36.9	25 38.5	2 3.1	2 3.1	13 20.0	1 1.5	1
	3. 40歳代	57 100.0	24 43.6	7 12.7	30 54.5	27 49.1	3 5.5	5 9.1	6 10.9	1 1.8	2
	4. 50歳代	72 100.0	31 43.7	13 18.3	32 45.1	28 39.4	4 5.6	3 4.2	13 18.3	1 1.4	1
	5. 60歳代	104 100.0	47 46.1	19 18.6	36 35.3	42 41.2	7 6.9	4 3.9	24 23.5	2 2.0	2
	6. 70歳以上	67 100.0	22 34.9	12 19.0	20 31.7	32 50.8	5 7.9	5 7.9	16 25.4	2 3.2	4

5. 就労について

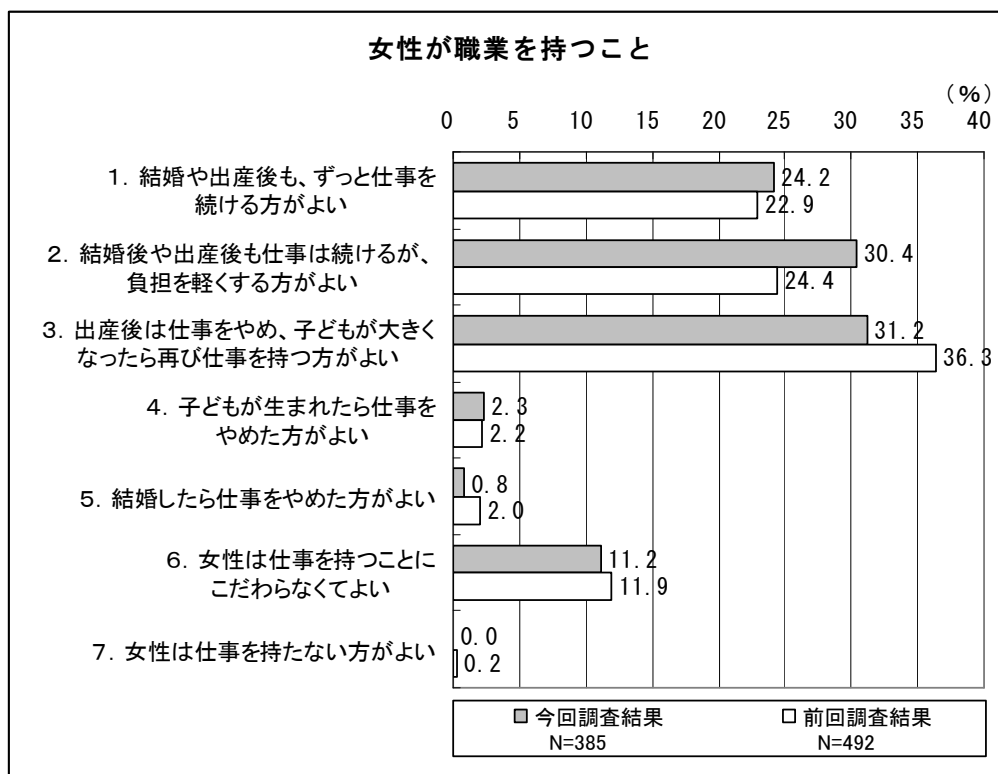
5-1. 女性が職業を持つこと【SA】

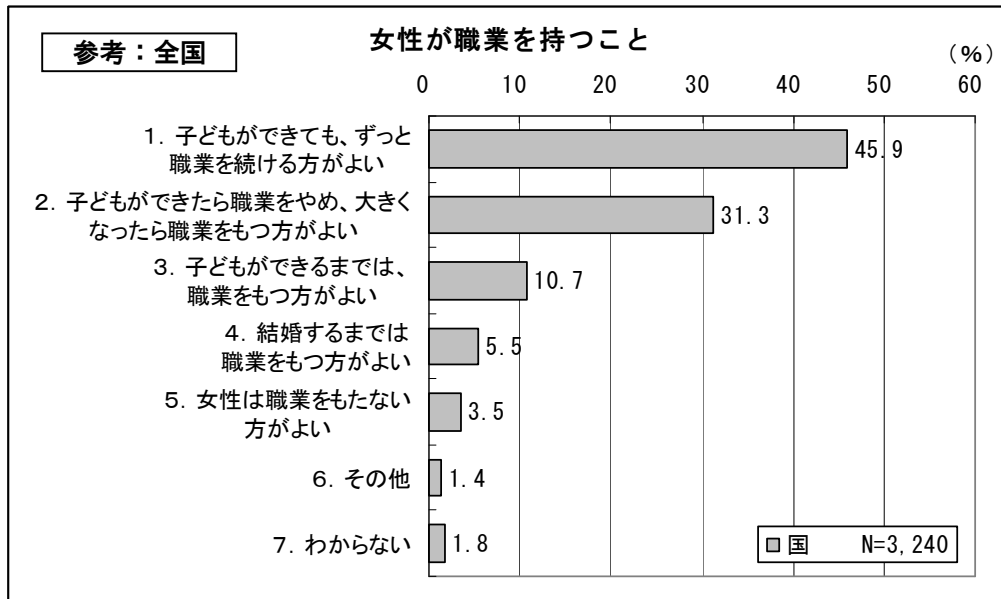
■「子どもが大きくなったら再び仕事を持つ」もしくは「結婚・出産後は負担を軽くする」が高く3割程度

○女性が職業を持つことについて、「3. 出産後は仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい」が31.2%と最も高く、次いで「2. 結婚後や出産後も仕事は続けるが、負担を軽くする方がよい」が30.4%、「1. 結婚や出産後も、ずっと仕事を続ける方がよい」が24.2%となっている。

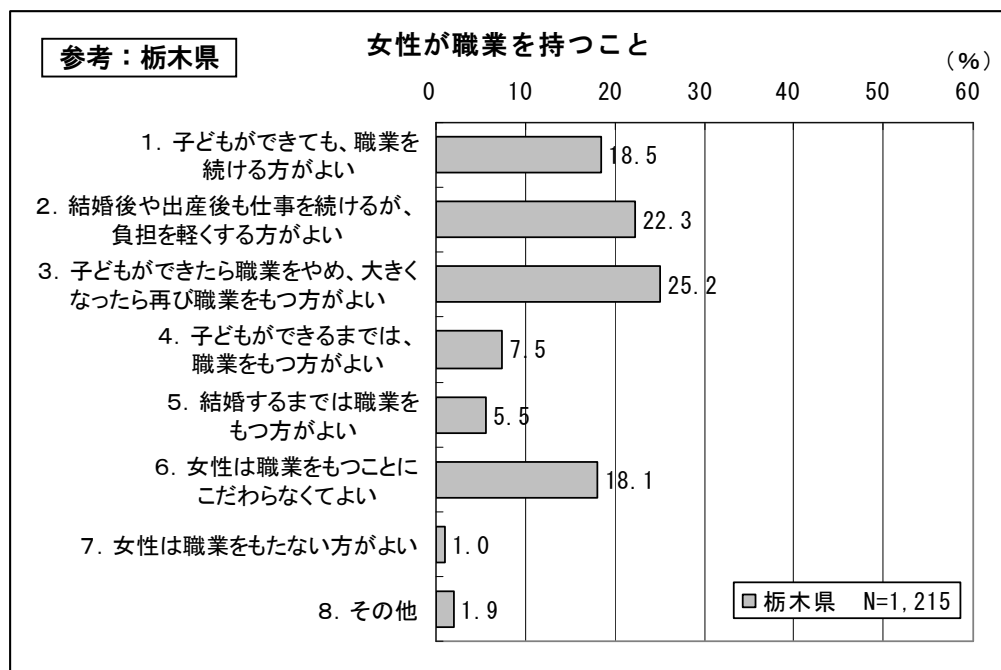
○前回調査結果と比べ、「結婚後や出産後もできるだけ仕事を続けたい」という意向が高くなっている。

問 14 あなたは、女性が仕事を持つことについて、どのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。[1つに○印]





【平成 21 年度 男女共同参画社会に関する世論調査】



【平成 21 年度 男女共同参画社会に関する意識調査】

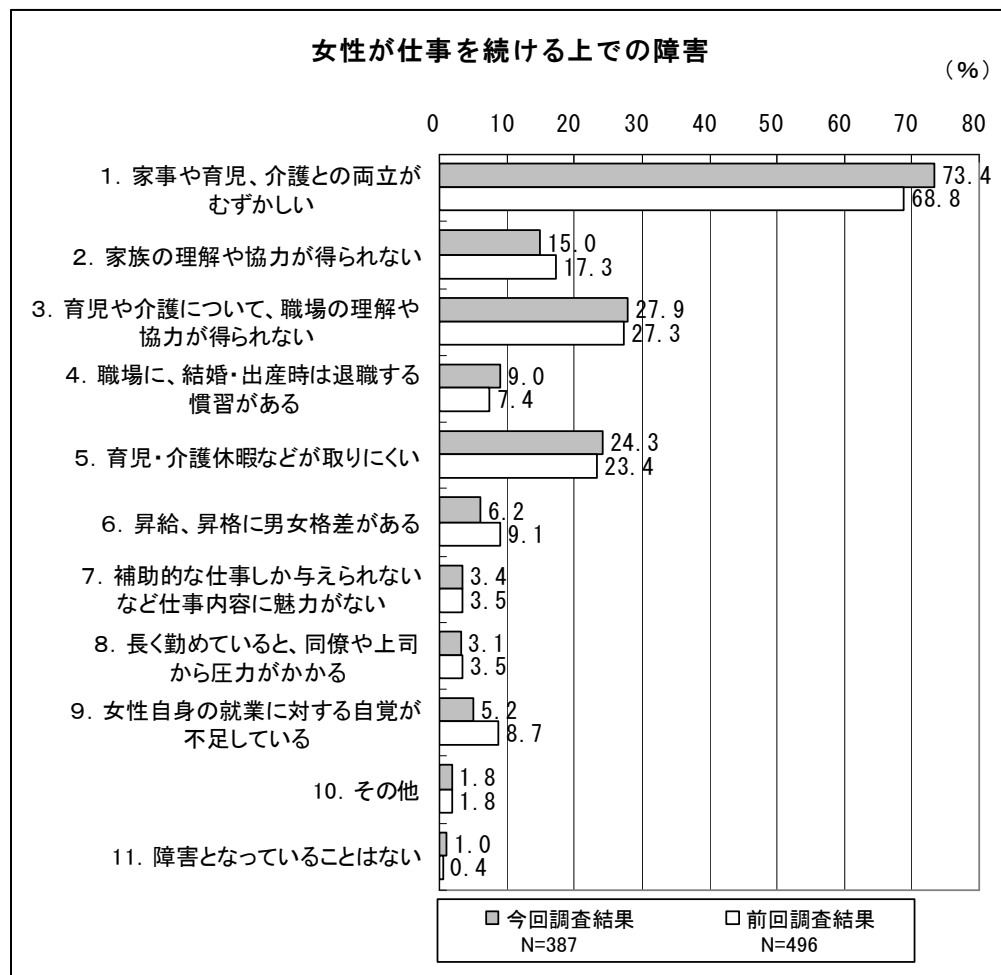
		全体	女性が職業を持つこと							不明
			1 結婚 や出 産後 も、 ずっと 仕事を 続ける 方がよ い	2 結婚 後や 出産 後も仕 事は 続ける が、パート タイム など、 負担を 軽くす る方が よい	3 子ども が生ま れたら 仕事を やめ、 子ども が大き くなっ たら再 び仕事 を持つ 方がよ い	4 子ども が生ま れたら 仕事を やめた 方がよ い	5 結婚し たら仕 事をや めた方 がよい	6 女性 は仕 事を持 つこと にこだ わらな くてよ い	7 女性 は仕 事を持 たない 方がよ い	
合計		396 100.0	93 24.2	117 30.4	120 31.2	9 2.3	3 0.8	43 11.2	0 0.0	11
性別	1. 男性	151 100.0	33 22.1	45 30.2	48 32.2	6 4.0	0 0.0	17 11.4	0 0.0	2
	2. 女性	244 100.0	60 25.4	72 30.5	72 30.5	3 1.3	3 1.3	26 11.0	0 0.0	8
年齢	1. 20歳代	29 100.0	6 21.4	11 39.3	8 28.6	1 3.6	1 3.6	1 3.6	0 0.0	1
	2. 30歳代	66 100.0	16 25.0	28 43.8	16 25.0	0 0.0	0 0.0	4 6.3	0 0.0	2
	3. 40歳代	57 100.0	11 20.0	20 36.4	11 20.0	3 5.5	0 0.0	10 18.2	0 0.0	2
	4. 50歳代	72 100.0	20 28.6	19 27.1	19 27.1	2 2.9	1 1.4	9 12.9	0 0.0	2
	5. 60歳代	104 100.0	26 25.2	25 24.3	38 36.9	2 1.9	1 1.0	11 10.7	0 0.0	1
	6. 70歳以上	67 100.0	14 21.5	14 21.5	28 43.1	1 1.5	0 0.0	8 12.3	0 0.0	2

5-2. 女性が仕事を続ける上での障害 [MA]

■「家事や育児、介護との両立がむずかしい」が最も高く、全体の7割以上

○「1. 家事や育児、介護との両立がむずかしい」が最も高く73.4%となっており、全体の7割以上を占める。次いで「3. 育児や介護について、職場の理解や協力が得られない」が27.9%、「5. 育児・介護休暇などが取りにくい」が24.3%となっている。
○前回調査結果と比べ、若干の差異はあるが概ね同様の傾向となっている。

問 15 女性が仕事を続けていくうえで、障害になっていることは何だと思いませんか。
[2つ以内で○印]



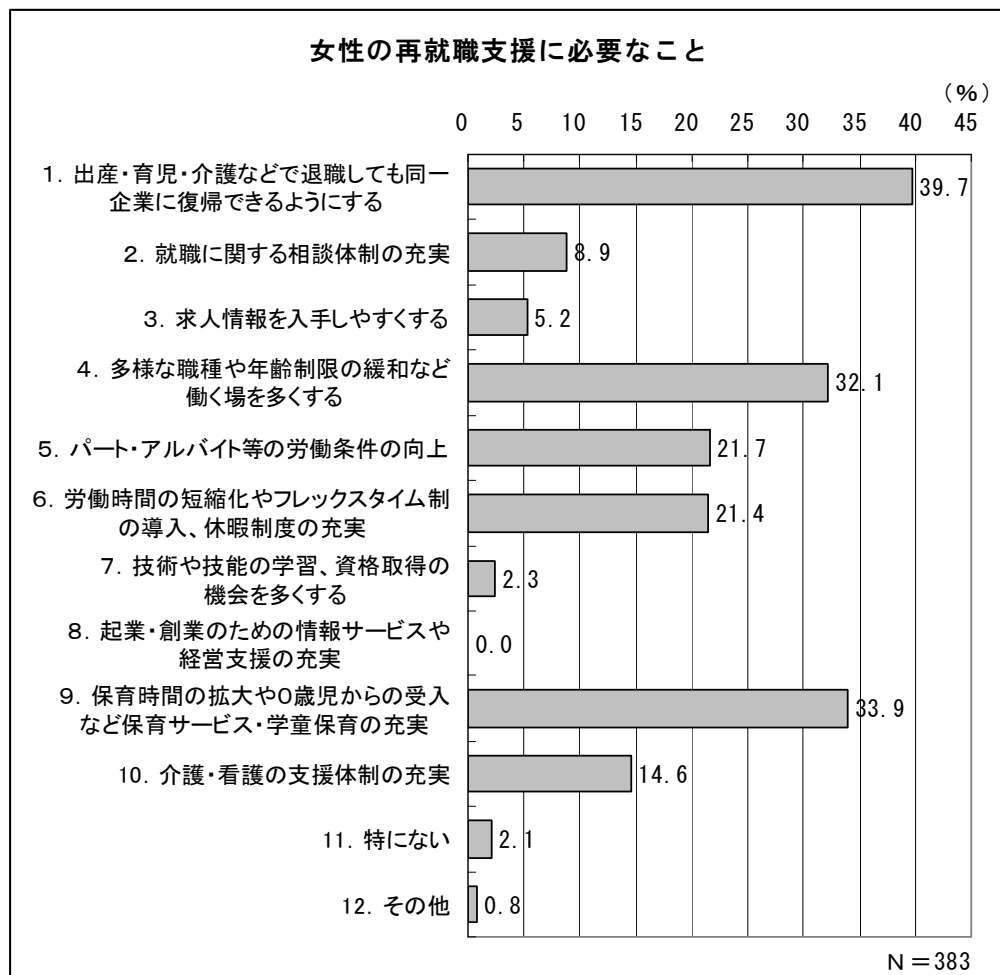
		全体	女性が仕事を続ける上での障害											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	不明
			家事や育児、介護との両立がむずかしいこと	家族の理解や協力が得られないこと	育児や介護について、職場の理解や協力が得られないこと	職場に、結婚・出産時は退職するという慣習があること	育児・介護休暇などが取りにくいこと	昇給、昇格に男女格差があること	補助的な仕事しか与えられないなど仕事内容に魅力がないこと	長く勤めると、同僚や上司から圧力がかかること	女性自身の就業に対する自覚が不足していること	その他	障害となっていることはない	
合計		396 100.0	284 73.4	58 15.0	108 27.9	35 9.0	94 24.3	24 6.2	13 3.4	12 3.1	20 5.2	7 1.8	4 1.0	9
性別	1. 男性	151 100.0	104 69.3	18 12.0	47 31.3	16 10.7	28 18.7	11 7.3	9 6.0	5 3.3	7 4.7	3 2.0	1 0.7	1
	2. 女性	244 100.0	180 75.9	40 16.9	61 25.7	19 8.0	66 27.8	13 5.5	4 1.7	7 3.0	13 5.5	4 1.7	3 1.3	7
年齢	1. 20歳代	29 100.0	23 82.1	1 3.6	8 28.6	3 10.7	8 28.6	4 14.3	0 0.0	4 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1
	2. 30歳代	66 100.0	49 75.4	8 12.3	27 41.5	4 6.2	18 27.7	3 4.6	0 0.0	0 0.0	3 4.6	1 1.5	0 0.0	1
	3. 40歳代	57 100.0	42 75.0	9 16.1	12 21.4	4 7.1	15 26.8	1 1.8	4 7.1	4 7.1	0 0.0	2 3.6	1 1.8	1
	4. 50歳代	72 100.0	54 76.1	11 15.5	17 23.9	10 14.1	17 23.9	7 9.9	1 1.4	0 0.0	4 5.6	2 2.8	1 1.4	1
	5. 60歳代	104 100.0	80 77.7	14 13.6	29 28.2	8 7.8	21 20.4	6 5.8	3 2.9	2 1.9	7 6.8	2 1.9	0 0.0	1
	6. 70歳以上	67 100.0	36 56.3	15 23.4	15 23.4	6 9.4	15 23.4	3 4.7	5 7.8	2 3.1	6 9.4	0 0.0	2 3.1	3

5-3. 女性の再就職支援に必要なこと [MA]

■ 「同一企業への復帰」「保育サービス・学童保育の充実」などが高い

○最も高いのは、「1. 出産・育児・介護などで退職しても同一企業に復帰できるようにする」で 39.7%となっており、次いで「9. 保育時間の拡大や0歳児からの受入など保育サービス・学童保育の充実」が 33.9%、「4. 多様な職種や年齢制限の緩和など働く場を多くする」が 32.1%となっている。

問 16 退職後、再び就職しようとしている女性に対して、どのような援助や対策が必要だと思いますか。[2つ以内で○印]



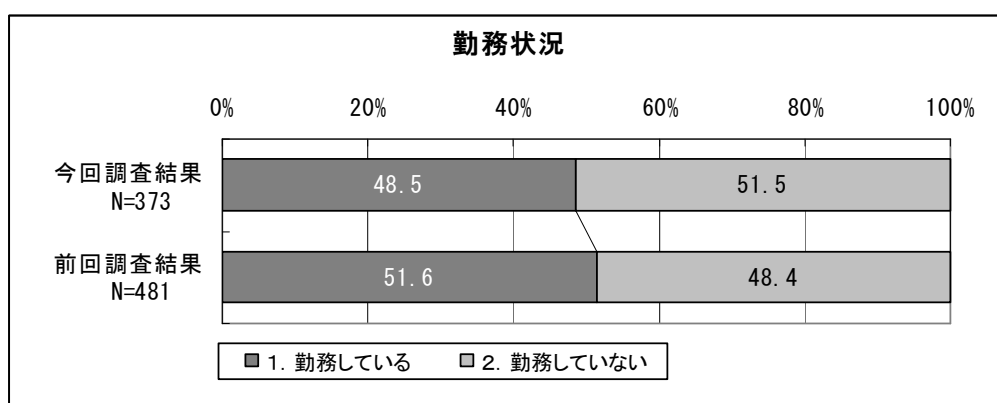
		女性の再就職支援に必要なこと													
		全体	1 出産・ 育児・ 介護な どで退 職して も同一 企業に 復帰で きるよ うにす る	2 就職に 関する 相談 体制を 充実す る	3 求人 情報を 入手し やすく する	4 多様な 職種や 年齢制 限の緩 和など 働く場 を多く する	5 パート・ アルバイト 等の労 働条件 を向上 させる	6 労働時 間の短 縮化や フレック スタイ ム制の 導入、 休暇制 度を充 実する	7 技術や 技能の 学習、 資格取 得の機 会を多 くする	8 起業・ 創業の ための 情報サ ービス や経営 支援を 充実す る	9 保育時 間の拡 大や0 歳児か らの受 け入れ など保 育サー ビス・ 学童保 育を充 実する	10 介護・ 看護の 支援体 制を充 実する	11 特にな い	12 その他	不明
合計		396 100.0	152 39.7	34 8.9	20 5.2	123 32.1	83 21.7	82 21.4	9 2.3	0 0.0	130 33.9	56 14.6	8 2.1	3 0.8	13
性別	1. 男性	151 100.0	65 43.6	12 8.1	7 4.7	48 32.2	33 22.1	26 17.4	5 3.4	0 0.0	48 32.2	22 14.8	2 1.3	1 0.7	2
	2. 女性	244 100.0	87 37.2	22 9.4	13 5.6	75 32.1	50 21.4	56 23.9	4 1.7	0 0.0	82 35.0	34 14.5	6 2.6	2 0.9	10
年齢	1. 20歳代	29 100.0	16 55.2	1 3.4	4 13.8	7 24.1	9 31.0	4 13.8	1 3.4	0 0.0	9 31.0	2 6.9	0 0.0	1 3.4	0
	2. 30歳代	66 100.0	21 32.3	4 6.2	4 6.2	18 27.7	13 20.0	18 27.7	2 3.1	0 0.0	32 49.2	3 4.6	1 1.5	1 1.5	1
	3. 40歳代	57 100.0	16 28.6	6 10.7	0 0.0	21 37.5	15 26.8	13 23.2	0 0.0	0 0.0	18 32.1	12 21.4	1 1.8	0 0.0	1
	4. 50歳代	72 100.0	25 35.7	7 10.0	2 2.9	25 35.7	12 17.1	13 18.6	2 2.9	0 0.0	24 34.3	18 25.7	3 4.3	1 1.4	2
	5. 60歳代	104 100.0	36 36.7	9 9.2	7 7.1	35 35.7	22 22.4	23 23.5	1 1.0	0 0.0	27 27.6	16 16.3	1 1.0	0 0.0	6
	6. 70歳以上	67 100.0	38 58.5	7 10.8	3 4.6	17 26.2	12 18.5	11 16.9	3 4.6	0 0.0	20 30.8	5 7.7	2 3.1	0 0.0	2

5-4. 勤務状況【SA】

■「勤務している」と「勤務していない」は概ね同数

- 「1. 勤務している」が 48.5%、「2. 勤務していない」が 51.5%と、若干ながら「2. 勤務していない」が上回っている。
○前回調査結果と比べ、若干の違いはあるが、概ね同様の結果となっている。

問 17 あなたは現在、会社や団体等に勤務していますか。[1つに○印]



		全体	勤務状況		
			1 勤務し ている	2 勤務し ていな い	不明
合計		396 100.0	181 48.5	192 51.5	23
性 別	1. 男性	151 100.0	78 54.2	66 45.8	7
	2. 女性	244 100.0	103 45.0	126 55.0	15
年 齢	1. 20歳代	29 100.0	16 57.1	12 42.9	1
	2. 30歳代	66 100.0	44 67.7	21 32.3	1
	3. 40歳代	57 100.0	43 76.8	13 23.2	1
	4. 50歳代	72 100.0	46 64.8	25 35.2	1
	5. 60歳代	104 100.0	25 27.5	66 72.5	13
	6. 70歳以上	67 100.0	7 11.3	55 88.7	5

5-5. 勤務先における女性の状況（平等感）[SA]

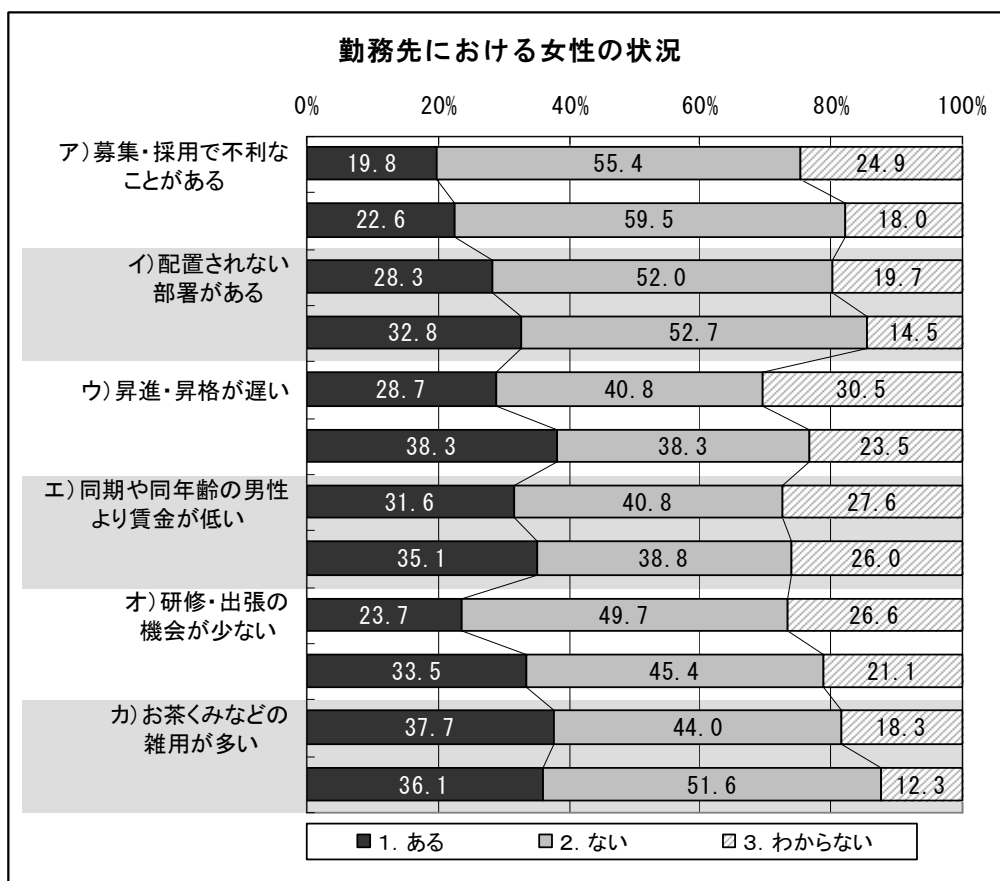
■ [お茶くみなどの雑用が多い] [同期や同年齢の男性より賃金が低い] などが「ある」と感じている人が3分の1程度

○勤務先において比較的「ある」ことと感じられている項目は、高い順に〔カ〕お茶くみなどの雑用が多いが37.7%、〔エ〕同期や同年齢の男性より賃金が低い が31.6%である。

○前回調査結果と比べ、〔カ〕お茶くみなどの雑用が多い を除く項目において、「1. ある」が低くなっており、特に〔ウ〕昇進・昇格が遅い〔オ〕研修・出張の機会が少ない では10ポイント近く減少している。

問 17-1 あなたが勤務している事業所で次のようなことはありますか。

[項目ごとに1つずつ○印]



※上段：今回調査結果 下段：前回調査結果

		全体	ア) 女性は募集・採用で不利なことがある				
			1 ある	2 ない	3 わからない	不明	非該当
合計		396 100.0	35 19.8	98 55.4	44 24.9	4	215
性別	1. 男性	151 100.0	19 25.0	34 44.7	23 30.3	2	73
	2. 女性	244 100.0	16 15.8	64 63.4	21 20.8	2	141
年齢	1. 20歳代	29 100.0	2 12.5	11 68.8	3 18.8	0	13
	2. 30歳代	66 100.0	13 29.5	19 43.2	12 27.3	0	22
	3. 40歳代	57 100.0	8 18.6	22 51.2	13 30.2	0	14
	4. 50歳代	72 100.0	8 17.8	29 64.4	8 17.8	1	26
	5. 60歳代	104 100.0	3 13.0	13 56.5	7 30.4	2	79
	6. 70歳以上	67 100.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	1	60

		全体	イ) 女性は配置されない部署がある				
			1 ある	2 ない	3 わからない	不明	非該当
合計		396 100.0	49 28.3	90 52.0	34 19.7	8	215
性別	1. 男性	151 100.0	34 46.6	24 32.9	15 20.5	5	73
	2. 女性	244 100.0	15 15.0	66 66.0	19 19.0	3	141
年齢	1. 20歳代	29 100.0	3 18.8	9 56.3	4 25.0	0	13
	2. 30歳代	66 100.0	16 36.4	23 52.3	5 11.4	0	22
	3. 40歳代	57 100.0	10 23.8	24 57.1	8 19.0	1	14
	4. 50歳代	72 100.0	13 30.2	22 51.2	8 18.6	3	26
	5. 60歳代	104 100.0	5 21.7	10 43.5	8 34.8	2	79
	6. 70歳以上	67 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	2	60

		全体	ウ) 女性は昇進・昇格が遅い				
			1 ある	2 ない	3 わからない	不明	非該当
合計		396 100.0	50 28.7	71 40.8	53 30.5	7	215
性別	1. 男性	151 100.0	18 24.3	31 41.9	25 33.8	4	73
	2. 女性	244 100.0	32 32.0	40 40.0	28 28.0	3	141
年齢	1. 20歳代	29 100.0	4 25.0	6 37.5	6 37.5	0	13
	2. 30歳代	66 100.0	13 29.5	18 40.9	13 29.5	0	22
	3. 40歳代	57 100.0	11 25.6	21 48.8	11 25.6	0	14
	4. 50歳代	72 100.0	13 30.2	15 34.9	15 34.9	3	26
	5. 60歳代	104 100.0	8 34.8	8 34.8	7 30.4	2	79
	6. 70歳以上	67 100.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	2	60

		全体	エ) 女性は同期や同年齢の男性より賃金が低い				
			1 ある	2 ない	3 わからない	不明	非該当
合計		396 100.0	55 31.6	71 40.8	48 27.6	7	215
性別	1. 男性	151 100.0	18 24.3	33 44.6	23 31.1	4	73
	2. 女性	244 100.0	37 37.0	38 38.0	25 25.0	3	141
年齢	1. 20歳代	29 100.0	1 6.3	5 31.3	10 62.5	0	13
	2. 30歳代	66 100.0	16 36.4	21 47.7	7 15.9	0	22
	3. 40歳代	57 100.0	15 34.9	16 37.2	12 27.9	0	14
	4. 50歳代	72 100.0	15 34.9	15 34.9	13 30.2	3	26
	5. 60歳代	104 100.0	7 30.4	10 43.5	6 26.1	2	79
	6. 70歳以上	67 100.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0	2	60

		全体	オ) 女性は研修・出張の機会が少ない				
			1 ある	2 ない	3 わからない	不明	非該当
合計		396 100.0	41 23.7	86 49.7	46 26.6	8	215
性別	1. 男性	151 100.0	21 28.8	32 43.8	20 27.4	5	73
	2. 女性	244 100.0	20 20.0	54 54.0	26 26.0	3	141
年齢	1. 20歳代	29 100.0	4 25.0	9 56.3	3 18.8	0	13
	2. 30歳代	66 100.0	10 22.7	23 52.3	11 25.0	0	22
	3. 40歳代	57 100.0	8 19.0	23 54.8	11 26.2	1	14
	4. 50歳代	72 100.0	11 25.6	19 44.2	13 30.2	3	26
	5. 60歳代	104 100.0	6 26.1	10 43.5	7 30.4	2	79
	6. 70歳以上	67 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	2	60

		全体	カ) 女性はお茶くみなどの雑用が多い				
			1	2	3		
			ある	ない	わからない	不明	非該当
合計		396 100.0	66 37.7	77 44.0	32 18.3	6	215
性別	1. 男性	151 100.0	27 36.0	29 38.7	19 25.3	3	73
	2. 女性	244 100.0	39 39.0	48 48.0	13 13.0	3	141
年齢	1. 20歳代	29 100.0	6 37.5	6 37.5	4 25.0	0	13
	2. 30歳代	66 100.0	24 54.5	15 34.1	5 11.4	0	22
	3. 40歳代	57 100.0	20 46.5	17 39.5	6 14.0	0	14
	4. 50歳代	72 100.0	10 23.3	23 53.5	10 23.3	3	26
	5. 60歳代	104 100.0	5 20.8	12 50.0	7 29.2	1	79
	6. 70歳以上	67 100.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0	2	60

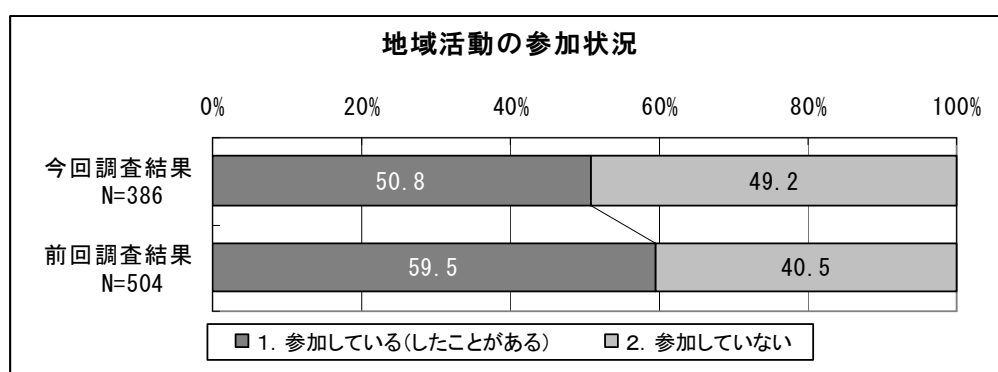
6. 地域活動について

6-1. 地域活動の参加状況【SA】

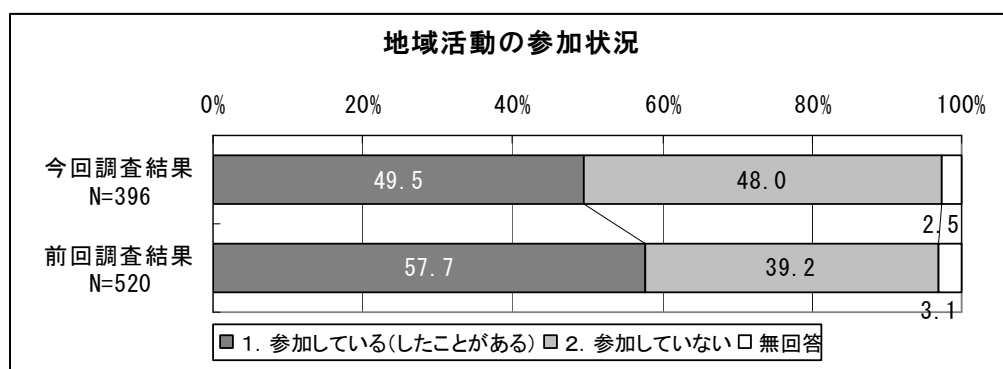
■「参加している（したことがある）」「参加していない」は、ほぼ同数

○地域活動に「1. 参加している（したことがある）」が 50.8%、「2. 参加していない」が 49.2%と、若干ながら「1. 参加している」が上回っている。
○前回調査結果と比べ、「1. 参加している」が約9ポイント低くなっている。

問 18 あなたは、地域活動に参加していますか。（または、参加したことがありますか。）
[1つに○印]



◆ 前回調査結果・目標値との比較（無回答を含む）



● 地域活動に参加したことがない人の割合

前回調査結果：48.0%、今回調査結果：39.2%、【目標（H28）：約35%】

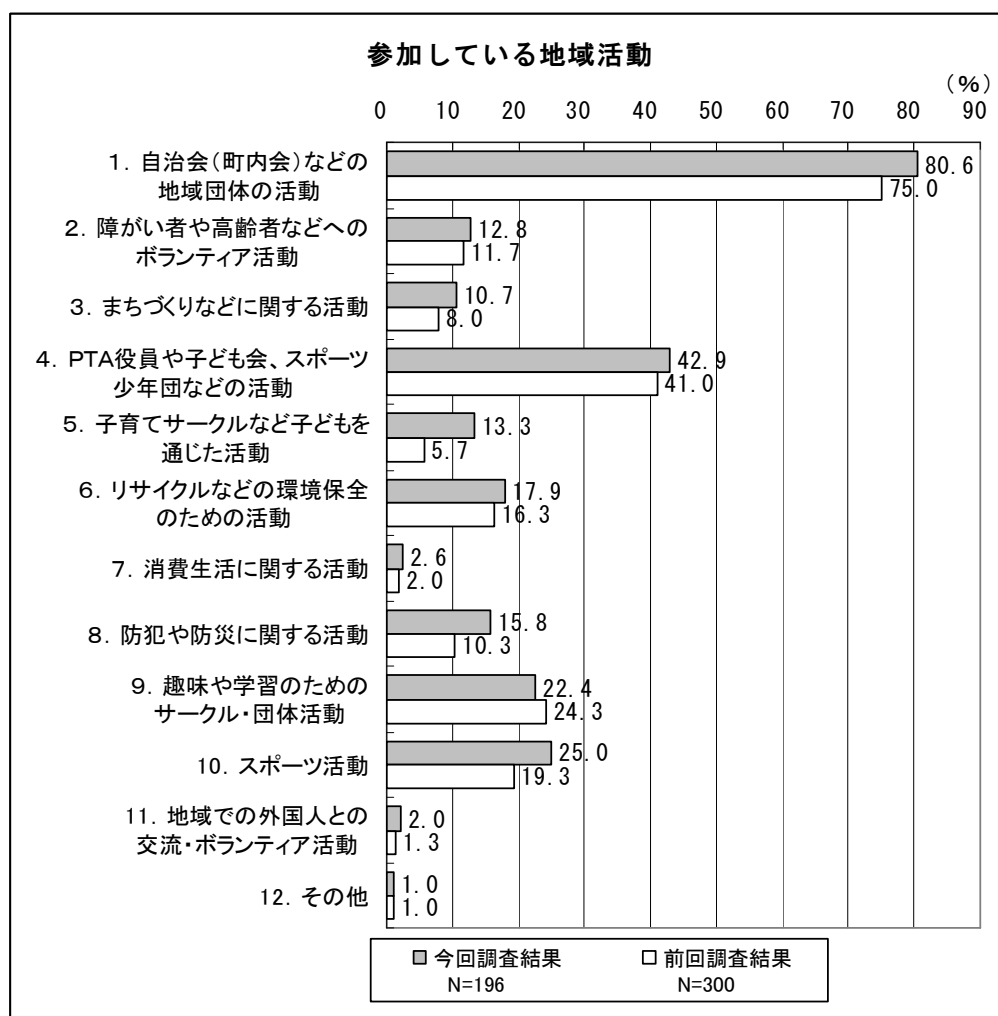
		全体	地域活動の参加状況		
			1 参加している (したことがある)	2 参加していない	不明
合計		396 100.0	196 50.8	190 49.2	10
性別	1. 男性	151 100.0	78 53.4	68 46.6	5
	2. 女性	244 100.0	118 49.2	122 50.8	4
年齢	1. 20歳代	29 100.0	5 17.9	23 82.1	1
	2. 30歳代	66 100.0	21 33.9	41 66.1	4
	3. 40歳代	57 100.0	37 66.1	19 33.9	1
	4. 50歳代	72 100.0	31 43.7	40 56.3	1
	5. 60歳代	104 100.0	60 58.3	43 41.7	1
	6. 70歳以上	67 100.0	42 63.6	24 36.4	1

6-2. 参加している地域活動 [MA]

■「自治会（町内会）などの地域団体の活動」が最も高く全体の約8割

○最も高いのは「1. 自治会（町内会）などの地域団体の活動」で80.6%、次いで「4. PTA役員や子ども会、スポーツ少年団などの活動」が42.9%、「10. スポーツ活動」が25.0%となっている。
○前回調査結果と比べ、若干の差異はあるが比較的同様の傾向となっている。

問 18-1 どのような地域活動に参加していますか(参加していましたか)。
[あてはまるものすべてに○印]



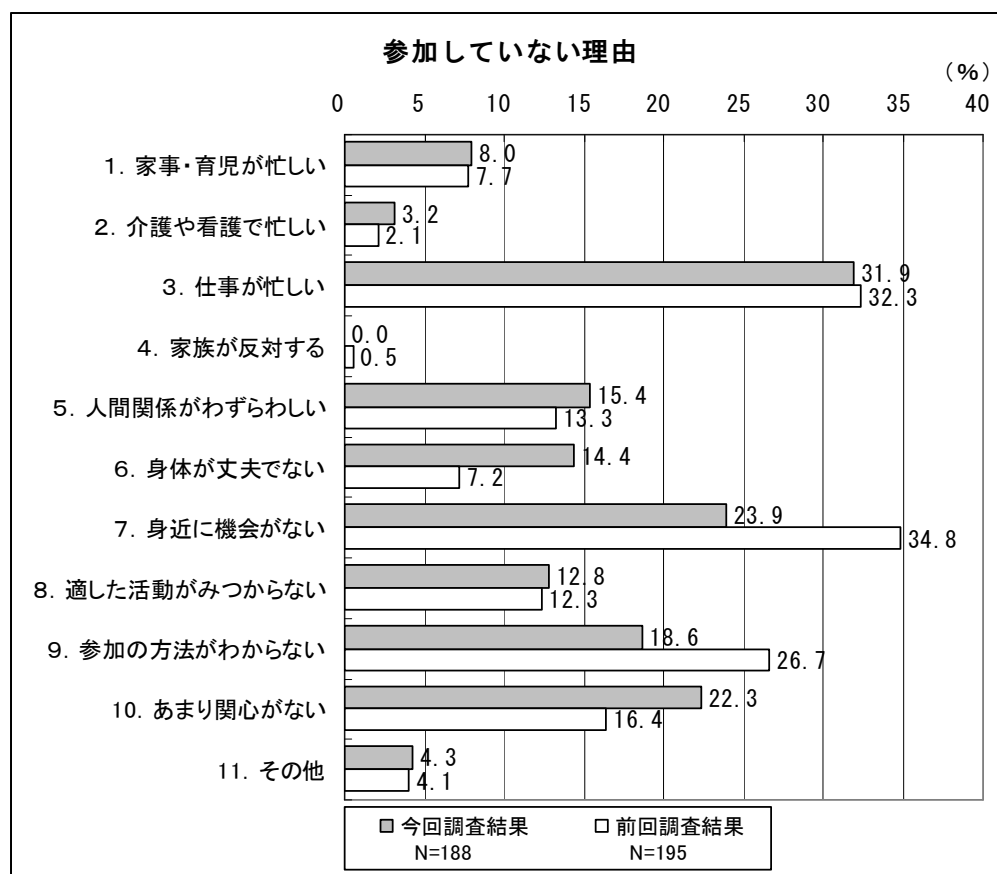
		全体	参加している地域活動													
			1 自治会(町内会)などの地域団体の活動	2 障がい者や高齢者などへのボランティア活動	3 まちづくりなどに関する活動	4 PTA役員や子ども会、スポーツ少年団などの活動	5 子育てサークルなど子どもを通じた活動	6 リサイクルなどの環境保全のための活動	7 消費生活に関する活動	8 防犯や防災に関する活動	9 趣味や学習のためのサークル・団体活動	10 スポーツ活動	11 地域での外国人との交流・ボランティア活動	12 その他	不明	非該当
合計		396 100.0	158 80.6	25 12.8	21 10.7	84 42.9	26 13.3	35 17.9	5 2.6	31 15.8	44 22.4	49 25.0	4 2.0	2 1.0	1	199
性別	1. 男性	151 100.0	66 84.6	7 9.0	10 12.8	27 34.6	6 7.7	16 20.5	1 1.3	21 26.9	10 12.8	29 37.2	1 1.3	0 0.0	1	72
	2. 女性	244 100.0	92 78.0	18 15.3	11 9.3	57 48.3	20 16.9	19 16.1	4 3.4	10 8.5	34 28.8	20 16.9	3 2.5	2 1.7	0	126
年齢	1. 20歳代	29 100.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0	24
	2. 30歳代	66 100.0	13 61.9	0 0.0	2 9.5	12 57.1	4 19.0	4 19.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	6 28.6	0 0.0	0 0.0	1	44
	3. 40歳代	57 100.0	30 81.1	3 8.1	2 5.4	23 62.2	6 16.2	4 10.8	0 0.0	6 16.2	9 24.3	6 16.2	1 2.7	1 2.7	0	20
	4. 50歳代	72 100.0	26 83.9	1 3.2	3 9.7	20 64.5	2 6.5	7 22.6	0 0.0	3 9.7	3 9.7	5 16.1	0 0.0	1 3.2	0	41
	5. 60歳代	104 100.0	48 80.0	12 20.0	8 13.3	16 26.7	8 13.3	12 20.0	2 3.3	11 18.3	18 30.0	22 36.7	1 1.7	0 0.0	0	44
	6. 70歳以上	67 100.0	38 90.5	9 21.4	6 14.3	12 28.6	5 11.9	8 19.0	3 7.1	10 23.8	13 31.0	8 19.0	2 4.8	0 0.0	0	25

6-3. 参加していない理由 [MA]

■「仕事が忙しい」「身近に機会がない」「あまり関心がない」などが比較的高い

○最も高いのは、「3. 仕事が忙しい」で 31.9%となっている。次いで「7. 身近に機会がない」が 23.9%、「10. あまり関心がない」が 22.3%となっている。
○前回調査結果と比べ「7. 身近に機会がない」「9. 参加の方法がわからない」が低くなっている。一方、「6. 身体が丈夫でない」「10. あまり関心がない」が高くなっている。

問 18-2 あなたが地域活動に参加しないのはどのような理由からです。[2つ以内で○]



		全体	参加していない理由												
			1 家事・ 育児 が忙し い	2 介護 や看 護で忙 しい	3 仕事 が忙し い	4 家族 が反 対する	5 人間 関係 がわ ずらわ しい	6 身体 が丈 夫でな い	7 身近 に機 会が ない	8 自分 に適 した 活動 がみつ からな い	9 どの よう に参 加して よいの かわ からな い	10 あまり 関心 がない	11 その他	不明	非該 当
合計		396 100.0	15 8.0	6 3.2	60 31.9	0 0.0	29 15.4	27 14.4	45 23.9	24 12.8	35 18.6	42 22.3	8 4.3	2	206
性別	1. 男性	151 100.0	1 1.5	2 3.0	32 48.5	0 0.0	8 12.1	7 10.6	18 27.3	7 10.6	10 15.2	13 19.7	5 7.6	2	83
	2. 女性	244 100.0	14 11.5	4 3.3	28 23.0	0 0.0	21 17.2	20 16.4	27 22.1	17 13.9	25 20.5	29 23.8	3 2.5	0	122
年齢	1. 20歳代	29 100.0	0 0.0	0 0.0	10 43.5	0 0.0	2 8.7	0 0.0	9 39.1	1 4.3	9 39.1	7 30.4	0 0.0	0	6
	2. 30歳代	66 100.0	7 17.1	0 0.0	13 31.7	0 0.0	9 22.0	3 7.3	12 29.3	4 9.8	7 17.1	10 24.4	2 4.9	0	25
	3. 40歳代	57 100.0	4 22.2	0 0.0	8 44.4	0 0.0	1 5.6	0 0.0	4 22.2	0 0.0	4 22.2	6 33.3	1 5.6	1	38
	4. 50歳代	72 100.0	1 2.5	3 7.5	13 32.5	0 0.0	4 10.0	7 17.5	11 27.5	5 12.5	10 25.0	7 17.5	1 2.5	0	32
	5. 60歳代	104 100.0	3 7.1	3 7.1	12 28.6	0 0.0	9 21.4	7 16.7	6 14.3	8 19.0	5 11.9	8 19.0	2 4.8	1	61
	6. 70歳以上	67 100.0	0 0.0	0 0.0	4 16.7	0 0.0	4 16.7	10 41.7	3 12.5	6 25.0	0 0.0	4 16.7	2 8.3	0	43

6-4. 今後参加したい地域活動 [MA]

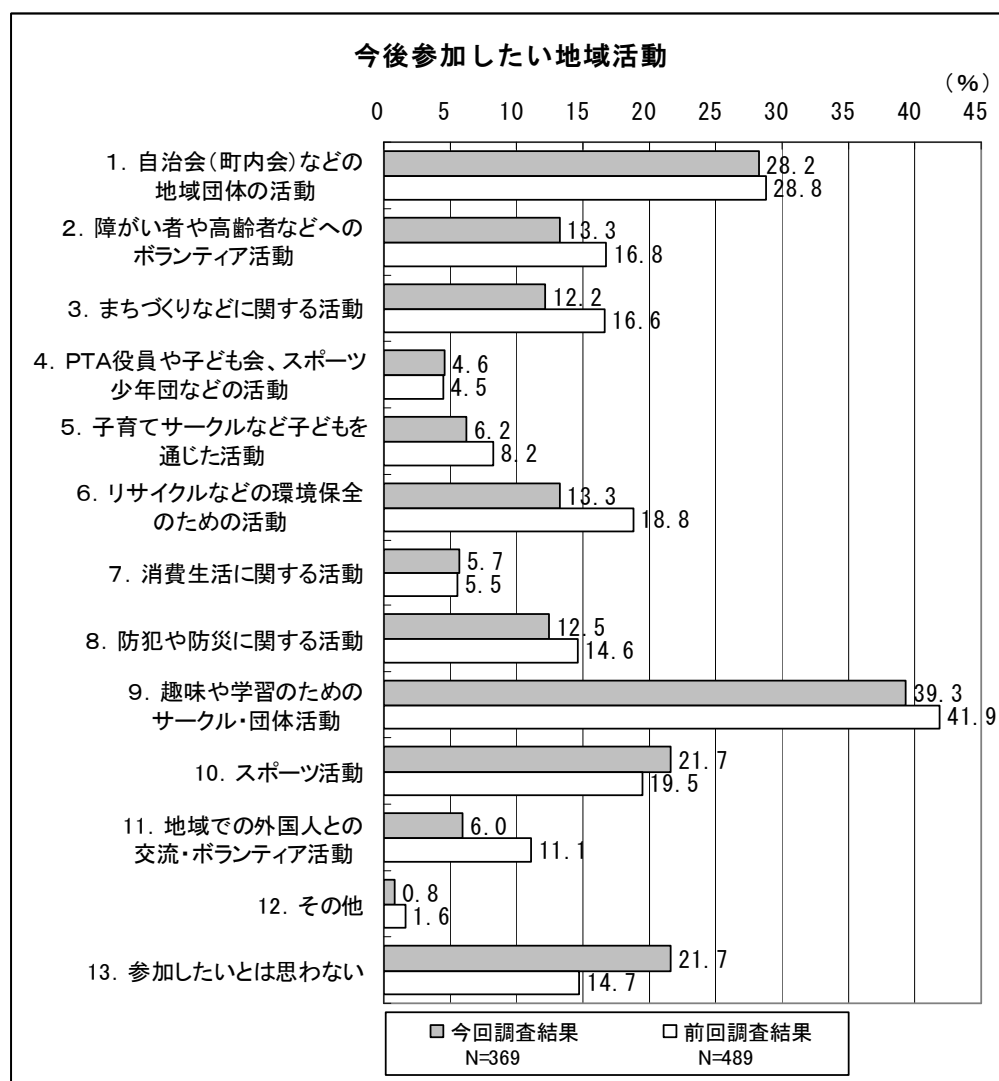
■「趣味や学習のためのサークル・団体活動」が最も高く4割近くを占める

○「9. 趣味や学習のためのサークル・団体活動」が最も高く39.3%となっており、次いで「1. 自治会（町内会）などの地域団体の活動」が28.2%、「10. スポーツ活動」が21.7%となっている。また、「13. 参加したいとは思わない」も21.7%と比較的高い。

○前回調査結果と比べ、項目ごとに若干の差異はあるが、概ね同様の傾向を示している。

問19 あなたは、今後新たにどのような地域活動に参加したいと思いますか。

[あてはまるものすべてに○印]



		全体	今後参加したい地域活動													
			1 自治会(町内会)などの地域団体の活動	2 障害者や高齢者などへのボランティア活動	3 まちづくりなどに関する活動	4 PTA役員や子ども会、スポーツ少年団などの活動	5 子育てサークルなど子どもを通じた活動	6 リサイクルなどの環境保全のための活動	7 消費生活に関する活動	8 防犯や防災に関する活動	9 趣味や学習のためのサークル・団体活動	10 スポーツ活動	11 地域での外国人との交流・ボランティア活動	12 その他	13 参加したいとは思わない	
合計		396 100.0	104 28.2	49 13.3	45 12.2	17 4.6	23 6.2	49 13.3	21 5.7	46 12.5	145 39.3	80 21.7	22 6.0	3 0.8	80 21.7	27
性別	1. 男性	151 100.0	50 34.2	14 9.6	26 17.8	8 5.5	8 5.5	21 14.4	6 4.1	28 19.2	53 36.3	41 28.1	8 5.5	1 0.7	26 17.8	5
	2. 女性	244 100.0	54 24.2	35 15.7	19 8.5	9 4.0	15 6.7	28 12.6	15 6.7	18 8.1	92 41.3	39 17.5	14 6.3	2 0.9	54 24.2	21
年齢	1. 20歳代	29 100.0	1 3.4	4 13.8	2 6.9	4 13.8	3 10.3	2 6.9	1 3.4	4 13.8	12 41.4	12 41.4	3 10.3	1 3.4	8 27.6	0
	2. 30歳代	66 100.0	10 15.6	5 7.8	2 3.1	6 9.4	7 10.9	7 10.9	2 3.1	5 7.8	20 31.3	15 23.4	6 9.4	0 0.0	23 35.9	2
	3. 40歳代	57 100.0	18 34.6	4 7.7	8 15.4	4 7.7	4 7.7	8 15.4	1 1.9	5 9.6	20 38.5	18 34.6	2 3.8	1 1.9	7 13.5	5
	4. 50歳代	72 100.0	19 28.8	7 10.6	8 12.1	2 3.0	2 3.0	10 15.2	1 1.5	9 13.6	26 39.4	10 15.2	4 6.1	0 0.0	14 21.2	6
	5. 60歳代	104 100.0	35 35.7	18 18.4	13 13.3	1 1.0	5 5.1	16 16.3	12 12.2	12 12.2	46 46.9	20 20.4	5 5.1	0 0.0	14 14.3	6
	6. 70歳以上	67 100.0	21 35.0	11 18.3	12 20.0	0 0.0	2 3.3	6 10.0	4 6.7	11 18.3	21 35.0	5 8.3	2 3.3	1 1.7	14 23.3	7

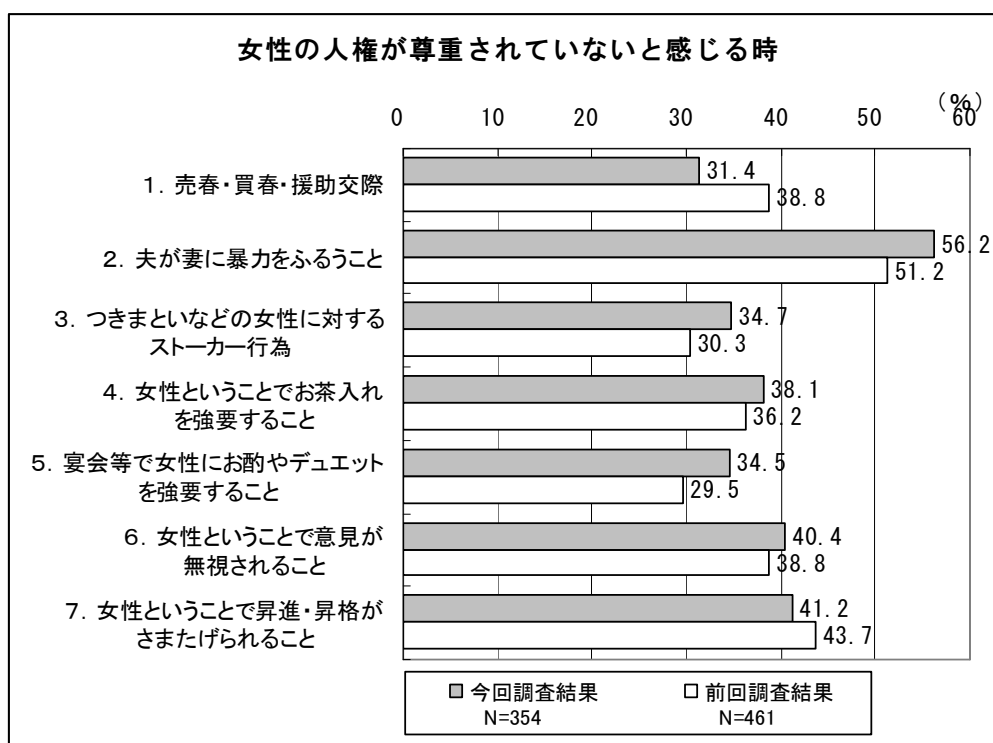
7. 人権について

7-1. 女性の人権が尊重されていないと感じる時 [MA]

■ 「夫が妻に暴力をふるうこと」が最も高く全体の半数以上

○最も高いのは「2. 夫が妻に暴力をふるうこと」で 56.2%となっており、次いで「7. 女性ということで昇進・昇格がさまたげられること」が 41.2%、「6. 女性ということで意見が無視されること」が 40.4%となっている。
○前回調査結果と比べて、概ね同様の傾向となっている。

問 20 あなたは、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。[あてはまるものすべてに○印]



		全体	女性の人権が尊重されていないと感じる時							不明
			1 売春・ 買春・ 援助 交際	2 夫が 妻に暴 力をふ るうこ と(酒 に酔っ て殴 る、精 神的な 苦痛を 与える など)	3 つま まとい な どの女 性に対 するス トー カー行 為	4 女性と いうこ とでお 茶入 れを強 要する こと	5 宴会 等で女 性にお 酌や デュ エット を強要 すること	6 女性と いうこ とで意 見が無 視され ること	7 女性と いうこ とで昇 進・昇 格がさ またげ られる こと	
合計		396 100.0	111 31.4	199 56.2	123 34.7	135 38.1	122 34.5	143 40.4	146 41.2	42
性別	1. 男性	151 100.0	41 29.7	72 52.2	46 33.3	53 38.4	47 34.1	45 32.6	53 38.4	13
	2. 女性	244 100.0	70 32.4	127 58.8	77 35.6	82 38.0	75 34.7	98 45.4	93 43.1	28
年齢	1. 20歳代	29 100.0	9 31.0	17 58.6	11 37.9	14 48.3	10 34.5	13 44.8	15 51.7	0
	2. 30歳代	66 100.0	14 23.7	29 49.2	14 23.7	26 44.1	22 37.3	22 37.3	24 40.7	7
	3. 40歳代	57 100.0	15 28.8	30 57.7	21 40.4	21 40.4	21 40.4	18 34.6	21 40.4	5
	4. 50歳代	72 100.0	17 27.0	32 50.8	20 31.7	22 34.9	21 33.3	27 42.9	21 33.3	9
	5. 60歳代	104 100.0	32 35.6	52 57.8	33 36.7	31 34.4	28 31.1	37 41.1	42 46.7	14
	6. 70歳以上	67 100.0	24 39.3	39 63.9	24 39.3	21 34.4	20 32.8	26 42.6	23 37.7	6

7-2. 女性に対する暴力をなくすために必要なこと [MA]

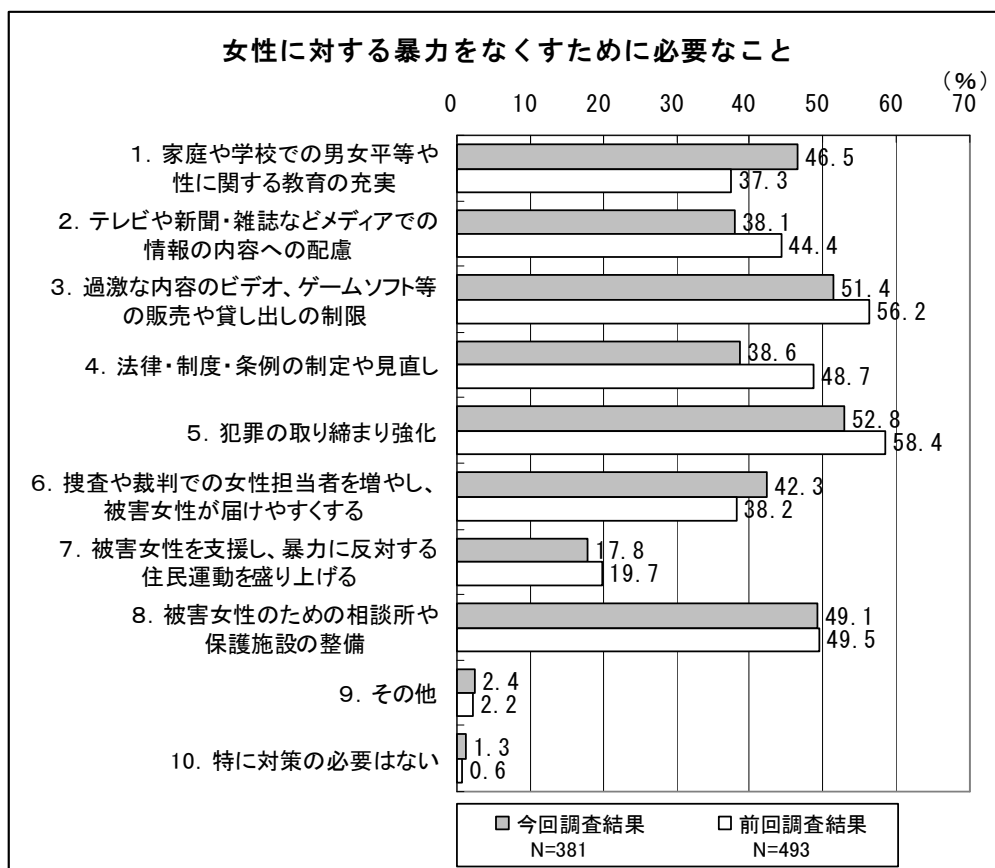
■ 「犯罪の取り締まり強化」「ビデオ等の販売や貸し出しの制限」などが高い

○女性への暴力をなくすために必要なこととして、「5. 犯罪の取り締まり強化」が52.8%と最も高く、次いで「3. 過激な内容のビデオ、ゲームソフト等の販売や貸し出しの制限」が51.4%、「8. 被害女性のための相談所や保護施設の整備」が49.1%となっている。

○前回調査結果と比べて、「1. 家庭や学校での男女平等や性に関する教育の充実」が若干高くなっている一方、「4. 法律・制度・条例の制定や見直し」が若干低くなっている。

問 21 女性に対する暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。

[あてはまるものすべてに○印]



		全体	女性に対する暴力をなくすために必要なこと										
			1 家庭 や学 校にお いて、 男女 平等 や性 につ いて の教 育を 充 実さ せる	2 テレビ や新 聞・雑 誌など のメ ディア が情 報の 内容 に配 慮す る	3 過激な 内容 のビデ オソフト、 ゲーム ソフト 等の 販売 や貸し 出しを 制限す る	4 法律・ 制度・ 条例 の制 定や 見直し を行う	5 犯罪 の取り 締まり を強化 する	6 捜査 や裁 判での 担当 者に女 性を増 やし、 被害 女性 が届 けやす いよう にする	7 被害 女性を 支援し、 暴力に 反対す る住民 運動を 盛り上 げる	8 被害 女性 のため の相談 所や保 護施設 を整 備する	9 その他	10 特に対 策の 必要 はない	不明
合計		396 100.0	177 46.5	145 38.1	196 51.4	147 38.6	201 52.8	161 42.3	68 17.8	187 49.1	9 2.4	5 1.3	15
性別	1. 男性	151 100.0	62 41.9	50 33.8	61 41.2	63 42.6	73 49.3	65 43.9	25 16.9	66 44.6	1 0.7	2 1.4	3
	2. 女性	244 100.0	115 49.4	95 40.8	135 57.9	84 36.1	128 54.9	96 41.2	43 18.5	121 51.9	8 3.4	3 1.3	11
年齢	1. 20歳代	29 100.0	13 46.4	10 35.7	14 50.0	13 46.4	18 64.3	13 46.4	7 25.0	15 53.6	0 0.0	0 0.0	1
	2. 30歳代	66 100.0	25 38.5	22 33.8	24 36.9	29 44.6	36 55.4	38 58.5	7 10.8	39 60.0	3 4.6	1 1.5	1
	3. 40歳代	57 100.0	15 27.8	24 44.4	26 48.1	22 40.7	27 50.0	27 50.0	8 14.8	27 50.0	3 5.6	1 1.9	3
	4. 50歳代	72 100.0	34 47.9	23 32.4	35 49.3	25 35.2	32 45.1	32 45.1	16 22.5	32 45.1	2 2.8	0 0.0	1
	5. 60歳代	104 100.0	55 54.5	40 39.6	57 56.4	38 37.6	57 56.4	32 31.7	16 15.8	46 45.5	1 1.0	1 1.0	3
	6. 70歳以上	67 100.0	35 56.5	26 41.9	40 64.5	20 32.3	31 50.0	19 30.6	14 22.6	28 45.2	0 0.0	2 3.2	5

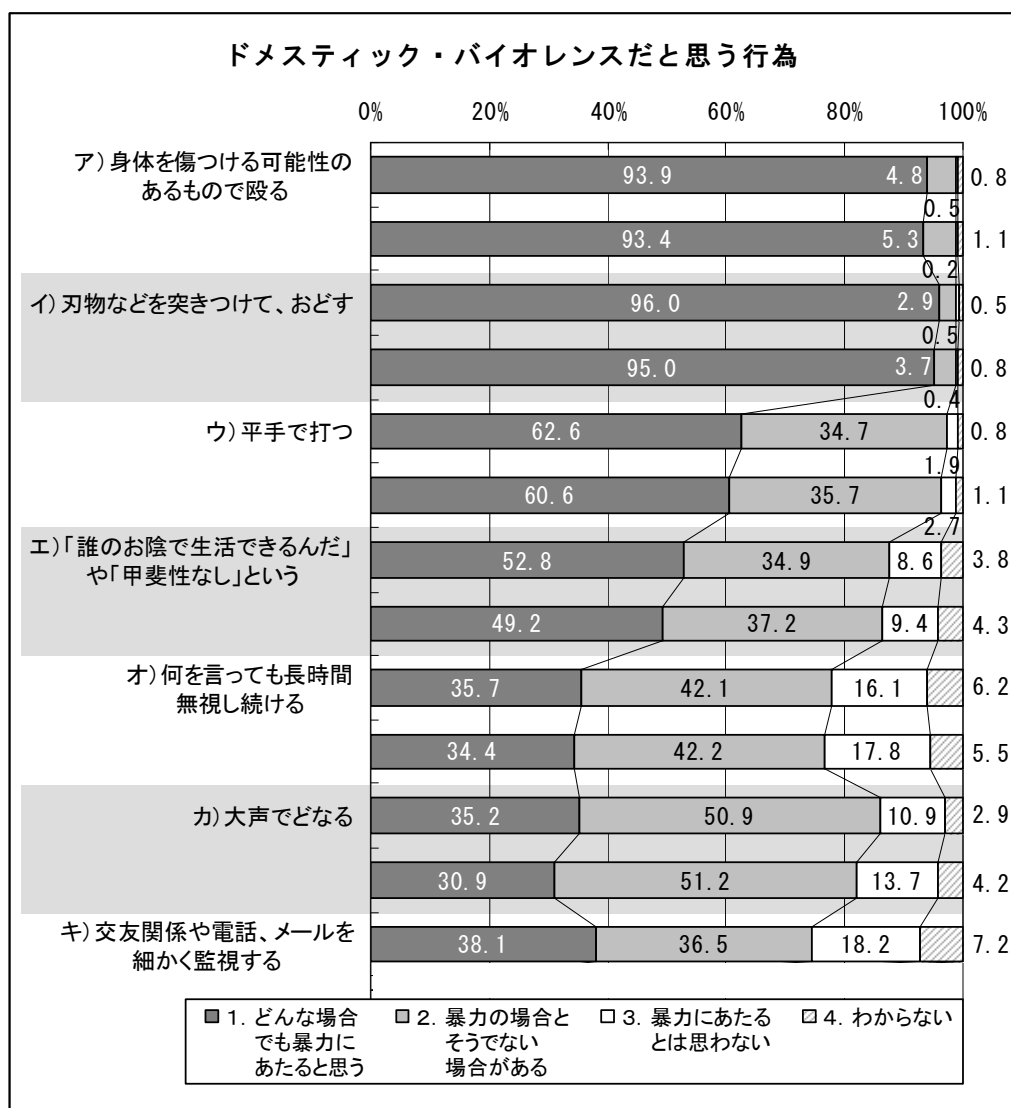
7-3. ドメスティック・バイオレンスだと思う行為 [SA]

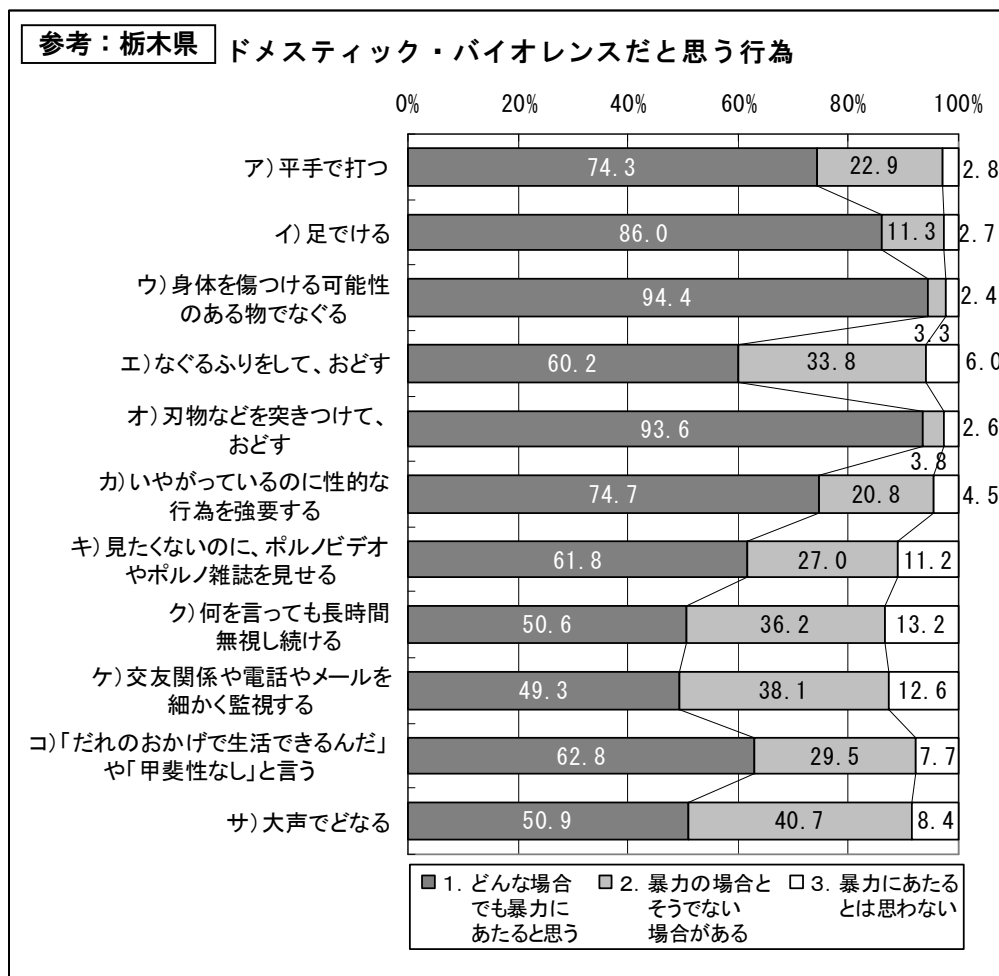
■ [刃物などでおどす] [もので殴る] について、ほとんどの人が暴力にあたると考えている

○どんな場合でも暴力にあたると思う行為は、高い順に [イ) 刃物などを突きつけて、おどす] が 96.0%、[ア) 身体を傷つける可能性のあるもので殴る] が 93.9%となっており、選択肢「1」と「2」を合わせると、ほとんどの人が暴力にあたると考えている。

○前回調査結果と比べ、若干の差はあるが、概ね同様の傾向を示している。

問 22 あなたは、次のア)～キ) のようなことが配偶者等（パートナー、恋人も含みます）の間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。[項目ごとに1つずつ○印]





【平成 21 年度 男女共同参画社会に関する意識調査】

		全体	ア) 身体を傷つける可能性のあるもので殴る				
			1 どんな場合でも暴力にあたると思う	2 暴力の場合とそうでない場合がある	3 暴力にあたるとは思わない	4 わからない	不明
合計		396 100.0	353 93.9	18 4.8	2 0.5	3 0.8	20
性別	1. 男性	151 100.0	138 92.6	9 6.0	1 0.7	1 0.7	2
	2. 女性	244 100.0	215 94.7	9 4.0	1 0.4	2 0.9	17
年齢	1. 20歳代	29 100.0	27 93.1	2 6.9	0 0.0	0 0.0	0
	2. 30歳代	66 100.0	62 95.4	3 4.6	0 0.0	0 0.0	1
	3. 40歳代	57 100.0	52 92.9	1 1.8	1 1.8	2 3.6	1
	4. 50歳代	72 100.0	61 88.4	7 10.1	0 0.0	1 1.4	3
	5. 60歳代	104 100.0	96 98.0	2 2.0	0 0.0	0 0.0	6
	6. 70歳以上	67 100.0	55 93.2	3 5.1	1 1.7	0 0.0	8

		全体	イ) 刃物などを突きつけて、おどす				
			1 どんな場合でも暴力にあたると思う	2 暴力の場合とそうでない場合がある	3 暴力にあたるとは思わない	4 わからない	不明
合計		396 100.0	360 96.0	11 2.9	2 0.5	2 0.5	21
性別	1. 男性	151 100.0	140 95.2	6 4.1	0 0.0	1 0.7	4
	2. 女性	244 100.0	220 96.5	5 2.2	2 0.9	1 0.4	16
年齢	1. 20歳代	29 100.0	29 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	2. 30歳代	66 100.0	65 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1
	3. 40歳代	57 100.0	52 92.9	1 1.8	2 3.6	1 1.8	1
	4. 50歳代	72 100.0	63 92.6	4 5.9	0 0.0	1 1.5	4
	5. 60歳代	104 100.0	96 97.0	3 3.0	0 0.0	0 0.0	5
	6. 70歳以上	67 100.0	55 94.8	3 5.2	0 0.0	0 0.0	9

		全体	ウ) 平手で打つ				
			1 どんな場合でも暴力にあたると思う	2 暴力の場合とそうでない場合がある	3 暴力にあたるとは思わない	4 わからない	不明
合計		396 100.0	233 62.6	129 34.7	7 1.9	3 0.8	24
性別	1. 男性	151 100.0	89 61.0	53 36.3	3 2.1	1 0.7	5
	2. 女性	244 100.0	144 63.7	76 33.6	4 1.8	2 0.9	18
年齢	1. 20歳代	29 100.0	13 44.8	15 51.7	1 3.4	0 0.0	0
	2. 30歳代	66 100.0	39 60.0	25 38.5	0 0.0	1 1.5	1
	3. 40歳代	57 100.0	33 58.9	20 35.7	2 3.6	1 1.8	1
	4. 50歳代	72 100.0	46 68.7	18 26.9	2 3.0	1 1.5	5
	5. 60歳代	104 100.0	71 71.7	27 27.3	1 1.0	0 0.0	5
	6. 70歳以上	67 100.0	31 55.4	24 42.9	1 1.8	0 0.0	11

		全体	エ) 「誰のおかげで生活できるんだ」や「甲斐性なし」という				
			1 どんな場合でも暴力にあたると思う	2 暴力の場合とそうでない場合がある	3 暴力にあたるとは思わない	4 わからない	不明
合計		396 100.0	197 52.8	130 34.9	32 8.6	14 3.8	23
性別	1. 男性	151 100.0	65 44.2	60 40.8	14 9.5	8 5.4	4
	2. 女性	244 100.0	132 58.4	70 31.0	18 8.0	6 2.7	18
年齢	1. 20歳代	29 100.0	19 65.5	8 27.6	2 6.9	0 0.0	0
	2. 30歳代	66 100.0	29 45.3	25 39.1	7 10.9	3 4.7	2
	3. 40歳代	57 100.0	30 53.6	19 33.9	5 8.9	2 3.6	1
	4. 50歳代	72 100.0	35 51.5	27 39.7	3 4.4	3 4.4	4
	5. 60歳代	104 100.0	58 58.6	27 27.3	9 9.1	5 5.1	5
	6. 70歳以上	67 100.0	26 45.6	24 42.1	6 10.5	1 1.8	10

		全体	オ)何を言っても長時間無視し続ける				
			1	2	3	4	不明
			どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	わからない	
合計		396 100.0	133 35.7	157 42.1	60 16.1	23 6.2	23
性別	1. 男性	151 100.0	35 24.0	63 43.2	36 24.7	12 8.2	5
	2. 女性	244 100.0	98 43.2	94 41.4	24 10.6	11 4.8	17
年齢	1. 20歳代	29 100.0	11 37.9	12 41.4	5 17.2	1 3.4	0
	2. 30歳代	66 100.0	25 39.1	26 40.6	11 17.2	2 3.1	2
	3. 40歳代	57 100.0	19 33.9	22 39.3	9 16.1	6 10.7	1
	4. 50歳代	72 100.0	25 36.8	33 48.5	5 7.4	5 7.4	4
	5. 60歳代	104 100.0	35 35.0	42 42.0	16 16.0	7 7.0	4
	6. 70歳以上	67 100.0	18 32.1	22 39.3	14 25.0	2 3.6	11

		全体	カ)大声でどなる				
			1	2	3	4	不明
			どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	わからない	
合計		396 100.0	132 35.2	191 50.9	41 10.9	11 2.9	21
性別	1. 男性	151 100.0	37 25.3	85 58.2	17 11.6	7 4.8	5
	2. 女性	244 100.0	95 41.5	106 46.3	24 10.5	4 1.7	15
年齢	1. 20歳代	29 100.0	10 34.5	14 48.3	5 17.2	0 0.0	0
	2. 30歳代	66 100.0	21 32.3	36 55.4	7 10.8	1 1.5	1
	3. 40歳代	57 100.0	21 37.5	26 46.4	5 8.9	4 7.1	1
	4. 50歳代	72 100.0	27 39.7	36 52.9	2 2.9	3 4.4	4
	5. 60歳代	104 100.0	40 40.0	45 45.0	12 12.0	3 3.0	4
	6. 70歳以上	67 100.0	13 22.8	34 59.6	10 17.5	0 0.0	10

		全体	キ)交友関係や電話、メールを細かく監視する				
			1	2	3	4	
			どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	わからない	不明
合計		396 100.0	142 38.1	136 36.5	68 18.2	27 7.2	23
性別	1. 男性	151 100.0	41 28.1	58 39.7	29 19.9	18 12.3	5
	2. 女性	244 100.0	101 44.5	78 34.4	39 17.2	9 4.0	17
年齢	1. 20歳代	29 100.0	18 62.1	3 10.3	7 24.1	1 3.4	0
	2. 30歳代	66 100.0	22 34.4	29 45.3	10 15.6	3 4.7	2
	3. 40歳代	57 100.0	22 39.3	18 32.1	13 23.2	3 5.4	1
	4. 50歳代	72 100.0	28 41.2	23 33.8	11 16.2	6 8.8	4
	5. 60歳代	104 100.0	41 41.4	34 34.3	15 15.2	9 9.1	5
	6. 70歳以上	67 100.0	11 19.3	29 50.9	12 21.1	5 8.8	10

7-4. ドメスティック・バイオレンスの経験 [SA]

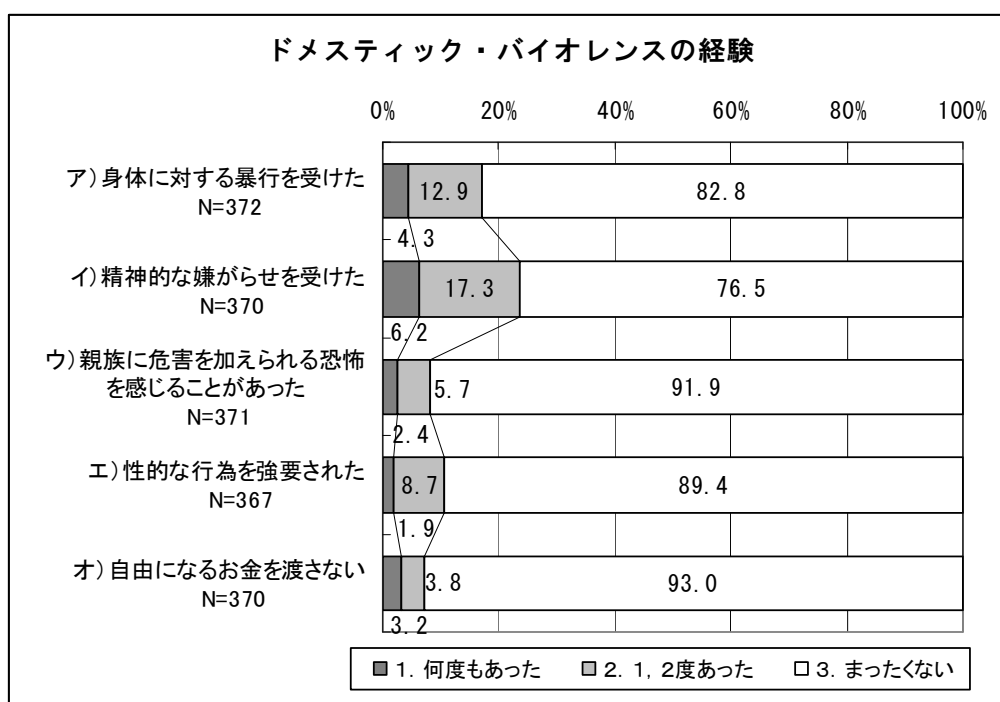
- 「精神的な嫌がらせ」の経験が2割弱
- その他の項目では「まったくない」が8割以上を占める

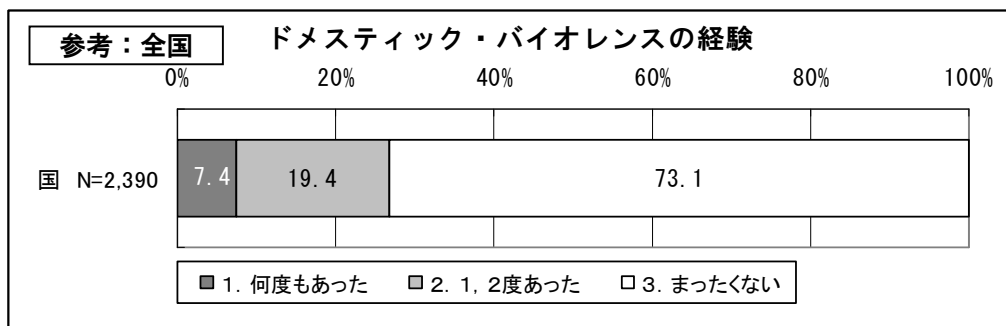
○ [イ) 精神的な嫌がらせを受けた] について「2. 1, 2度あった」が 17.3%、「1. 何度もあった」が 6.2%となっており、これらを合わせた 23.5%がドメスティック・バイオレンスの経験があると回答している。

○ 同様に、[ア) 身体に対する暴行を受けた] について「2. 1, 2度あった」が 12.9%、「1. 何度もあった」が 4.3%となっている。

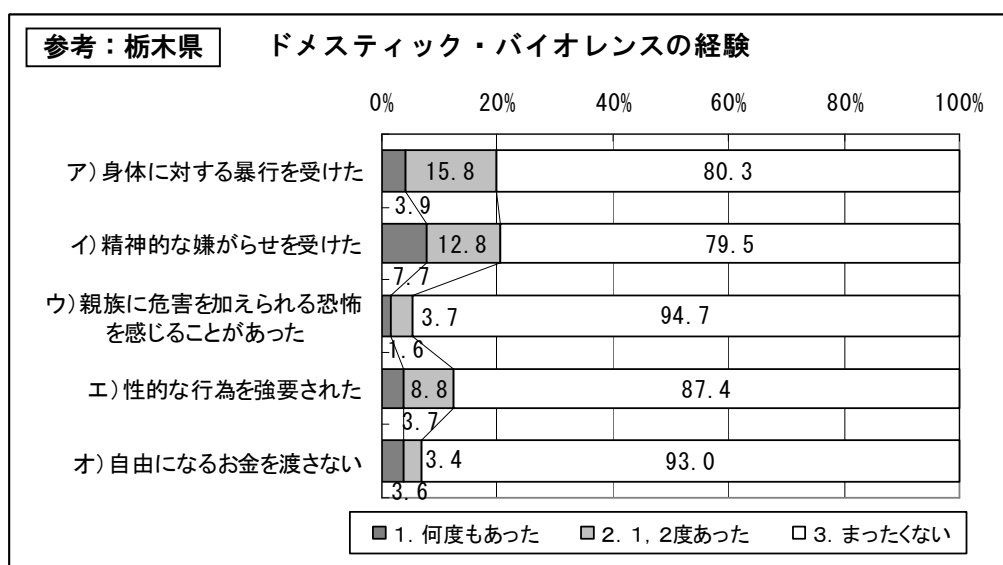
○ その他の項目では「3. まったくない」が最も高く 8割から 9割弱を占める。

問 23 あなたはこれまでに、あなたの配偶者等（パートナー、恋人も含みます）から、次のア）～オ）のようなことをされたことがありますか。[項目ごとに1つつ○印]





【平成 20 年 男女間における暴力に関する調査】



【平成 21 年度 男女共同参画社会に関する意識調査】

		全体	ア)身体に対する暴行を受けた			
			1	2	3	不明
			何度もあった	1, 2度あった	まったくない	
合計		396 100.0	16 4.3	48 12.9	308 82.8	24
性別	1. 男性	151 100.0	4 2.8	19 13.4	119 83.8	9
	2. 女性	244 100.0	12 5.2	29 12.6	189 82.2	14
年齢	1. 20歳代	29 100.0	0 0.0	4 14.8	23 85.2	2
	2. 30歳代	66 100.0	2 3.1	6 9.2	57 87.7	1
	3. 40歳代	57 100.0	4 7.3	4 7.3	47 85.5	2
	4. 50歳代	72 100.0	4 5.8	9 13.0	56 81.2	3
	5. 60歳代	104 100.0	5 5.2	15 15.6	76 79.2	8
	6. 70歳以上	67 100.0	1 1.7	10 16.7	49 81.7	7

		全体	イ)精神的な嫌がらせを受けた			
			1	2	3	不明
			何度もあった	1, 2度あった	まったくない	
合計		396 100.0	23 6.2	64 17.3	283 76.5	26
性別	1. 男性	151 100.0	7 5.0	19 13.5	115 81.6	10
	2. 女性	244 100.0	16 7.0	45 19.7	168 73.4	15
年齢	1. 20歳代	29 100.0	2 7.4	6 22.2	19 70.4	2
	2. 30歳代	66 100.0	6 9.2	12 18.5	47 72.3	1
	3. 40歳代	57 100.0	4 7.3	6 10.9	45 81.8	2
	4. 50歳代	72 100.0	4 5.9	15 22.1	49 72.1	4
	5. 60歳代	104 100.0	5 5.2	17 17.5	75 77.3	7
	6. 70歳以上	67 100.0	2 3.4	8 13.8	48 82.8	9

		全体	ウ)親族に危害を加えられる恐怖を感じるがあった			
			1	2	3	不明
			何度もあった	1, 2度あった	まったくない	
合計		396 100.0	9 2.4	21 5.7	341 91.9	25
性別	1. 男性	151 100.0	4 2.8	7 4.9	131 92.3	9
	2. 女性	244 100.0	5 2.2	14 6.1	210 91.7	15
年齢	1. 20歳代	29 100.0	0 0.0	3 11.1	24 88.9	2
	2. 30歳代	66 100.0	1 1.5	4 6.2	60 92.3	1
	3. 40歳代	57 100.0	3 5.6	3 5.6	48 88.9	3
	4. 50歳代	72 100.0	3 4.4	3 4.4	62 91.2	4
	5. 60歳代	104 100.0	2 2.0	6 6.1	90 91.8	6
	6. 70歳以上	67 100.0	0 0.0	2 3.4	57 96.6	8

		全体	エ)性的な行為を強要された			
			1	2	3	不明
			何度もあった	1, 2度あった	まったくない	
合計		396 100.0	7 1.9	32 8.7	328 89.4	29
性別	1. 男性	151 100.0	2 1.4	7 5.0	132 93.6	10
	2. 女性	244 100.0	5 2.2	25 11.1	196 86.7	18
年齢	1. 20歳代	29 100.0	0 0.0	1 3.7	26 96.3	2
	2. 30歳代	66 100.0	1 1.5	8 12.3	56 86.2	1
	3. 40歳代	57 100.0	3 5.6	4 7.4	47 87.0	3
	4. 50歳代	72 100.0	1 1.5	3 4.4	64 94.1	4
	5. 60歳代	104 100.0	2 2.1	12 12.4	83 85.6	7
	6. 70歳以上	67 100.0	0 0.0	4 7.1	52 92.9	11

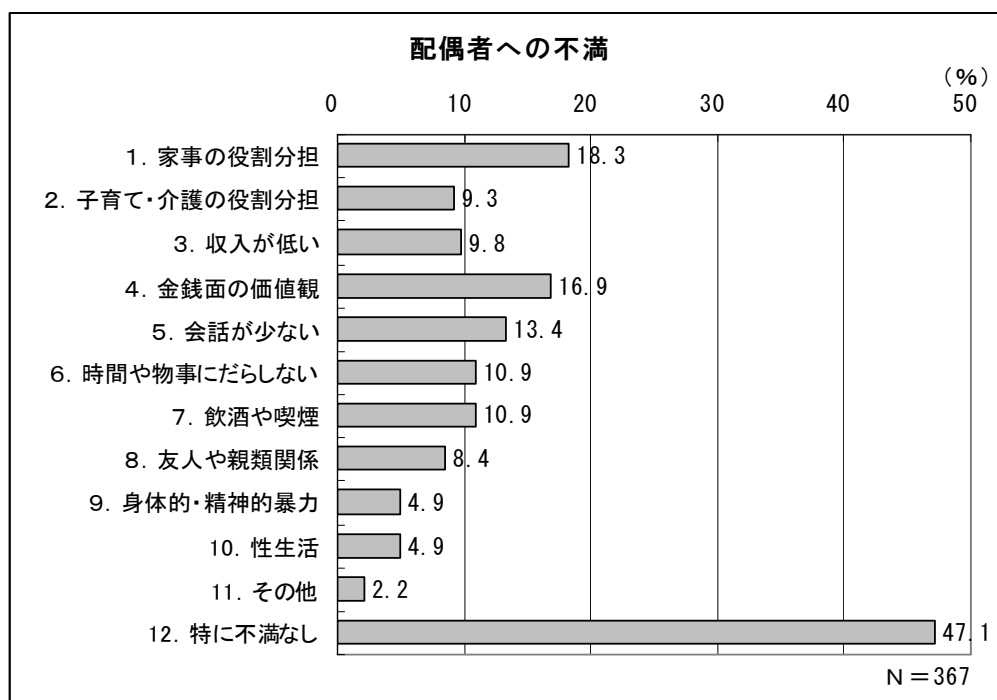
		全体	オ)自由になるお金を渡さない			
			1 何度も あった	2 1, 2 度あつ た	3 まった くない	不明
合計		396 100.0	12 3.2	14 3.8	344 93.0	26
性 別	1. 男性	151 100.0	6 4.3	6 4.3	129 91.5	10
	2. 女性	244 100.0	6 2.6	8 3.5	215 93.9	15
年 齢	1. 20歳代	29 100.0	0 0.0	0 0.0	27 100.0	2
	2. 30歳代	66 100.0	2 3.1	2 3.1	61 93.8	1
	3. 40歳代	57 100.0	3 5.6	0 0.0	51 94.4	3
	4. 50歳代	72 100.0	2 2.9	4 5.9	62 91.2	4
	5. 60歳代	104 100.0	3 3.1	7 7.1	88 89.8	6
	6. 70歳以上	67 100.0	2 3.4	1 1.7	55 94.8	9

7-5. 配偶者への不満 [MA]

- 「特に不満なし」が最も高く半数近くを占める
- 「家事の役割分担」「金銭面の価値観」についての不満が比較的高い

○「12. 特に不満なし」が 47.1%と最も高い。配偶者等を感じる不満で最も高いものは「1. 家事の役割分担」が 18.3%、次いで「4. 金銭面の価値観」が 16.9%、「5. 会話が少ない」が 13.4%となっている。

問 24 あなたが、配偶者等（パートナー、恋人も含みます）に不満を感じるのはどのようなことですか。[あてはまるものすべてに○印]



		全体	配偶者への不満												
			1 家事 の役 割分 担	2 子育 て・介 護の 役割 分担	3 収入 が低い	4 金銭 面の 価値 観	5 会話 が少な い	6 時間 や物 事にだ らしな い	7 飲酒 や喫 煙	8 友人 や親 類関 係	9 身体 的・精 神的 暴力	10 性生 活	11 その他	12 特に不 満なし	不明
合計		396 100.0	67 18.3	34 9.3	36 9.8	62 16.9	49 13.4	40 10.9	40 10.9	31 8.4	18 4.9	18 4.9	8 2.2	173 47.1	29
性別	1. 男性	151 100.0	24 17.1	10 7.1	5 3.6	22 15.7	12 8.6	14 10.0	5 3.6	9 6.4	5 3.6	13 9.3	3 2.1	82 58.6	11
	2. 女性	244 100.0	43 18.9	24 10.6	31 13.7	40 17.6	37 16.3	26 11.5	35 15.4	22 9.7	13 5.7	5 2.2	5 2.2	91 40.1	17
年齢	1. 20歳代	29 100.0	2 7.7	0 0.0	7 26.9	5 19.2	3 11.5	5 19.2	6 23.1	1 3.8	1 3.8	1 3.8	0 0.0	11 42.3	3
	2. 30歳代	66 100.0	13 20.6	10 15.9	7 11.1	17 27.0	4 6.3	12 19.0	5 7.9	5 7.9	5 7.9	3 4.8	2 3.2	23 36.5	3
	3. 40歳代	57 100.0	14 27.5	6 11.8	6 11.8	9 17.6	8 15.7	5 9.8	8 15.7	5 9.8	2 3.9	4 7.8	2 3.9	20 39.2	6
	4. 50歳代	72 100.0	16 22.9	10 14.3	5 7.1	9 12.9	15 21.4	11 15.7	6 8.6	7 10.0	5 7.1	4 5.7	4 5.7	29 41.4	2
	5. 60歳代	104 100.0	14 14.7	3 3.2	6 6.3	14 14.7	13 13.7	5 5.3	12 12.6	8 8.4	3 3.2	4 4.2	0 0.0	50 52.6	9
	6. 70歳以上	67 100.0	8 12.9	5 8.1	5 8.1	8 12.9	6 9.7	2 3.2	3 4.8	5 8.1	2 3.2	2 3.2	0 0.0	40 64.5	5

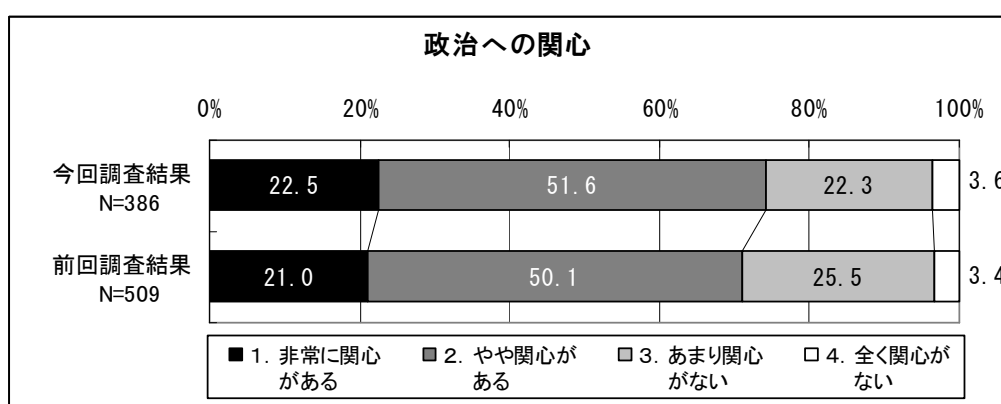
8. 政治や政策への参加について

8-1. 政治への関心 [SA]

■ 7割以上の人々が政治に関心がある

○政治について「2. やや関心がある」が最も高く 51.6%となっており、次いで「1. 非常に関心がある」が 22.5%、「3. あまり関心がない」が 22.3%となっている。
 ○選択肢「1」と「2」を合わせた7割以上の人々が政治に関心を示している。
 ○前回調査結果と比べ、概ね同様の結果となっている。

問 25 あなたは、政治についてどの程度関心を持っていますか。[1つに○印]



		全体	政治への関心				
			1	2	3	4	不明
			非常に 関心 がある	やや 関心 がある	あまり 関心 がない	全く関 心がない	
合計		396 100.0	87 22.5	199 51.6	86 22.3	14 3.6	10
性別	1. 男性	151 100.0	47 31.8	76 51.4	24 16.2	1 0.7	3
	2. 女性	244 100.0	40 16.8	123 51.7	62 26.1	13 5.5	6
年齢	1. 20歳代	29 100.0	0 0.0	16 55.2	9 31.0	4 13.8	0
	2. 30歳代	66 100.0	6 9.5	28 44.4	26 41.3	3 4.8	3
	3. 40歳代	57 100.0	9 16.1	31 55.4	15 26.8	1 1.8	1
	4. 50歳代	72 100.0	19 26.4	37 51.4	13 18.1	3 4.2	0
	5. 60歳代	104 100.0	30 29.7	56 55.4	14 13.9	1 1.0	3
	6. 70歳以上	67 100.0	23 35.4	31 47.7	9 13.8	2 3.1	2

8-2. 町政における女性の意見の反映度【SA】

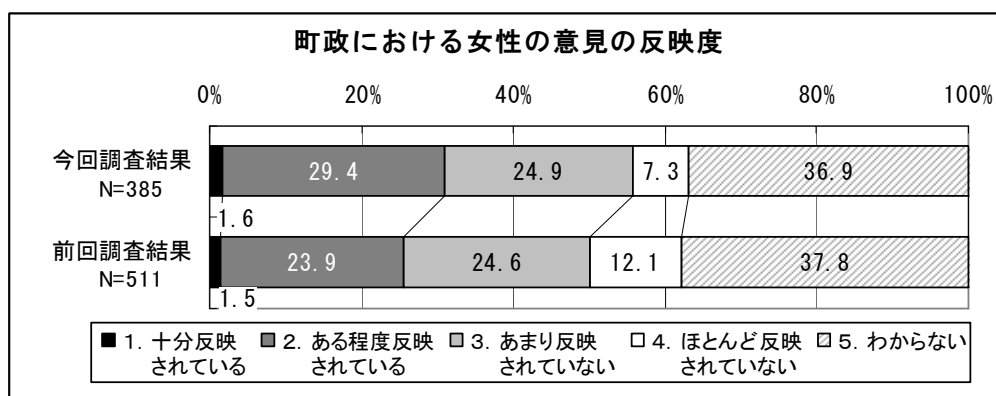
- 「わからない」最も高くが3分の1以上を占める
- 「反映されている」と感じる人は3割程度

○町政における女性の意見の反映度について、「5. わからない」が36.9%と最も高く、次いで「2. ある程度反映されている」が29.4%、「3. あまり反映されていない」が24.9%となっている。

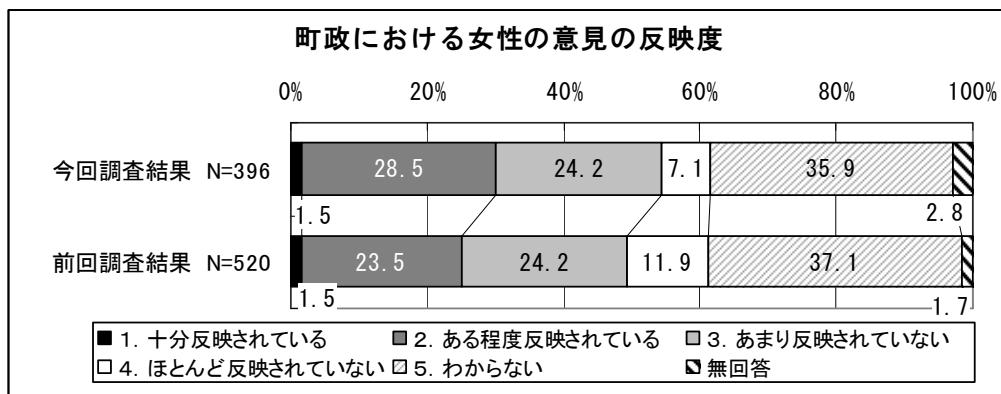
○選択肢「1」と「2」を合わせた約3割の人が「反映されている」と感じている。同様に選択肢「3」と「4」を合わせた約3割の人が「反映されていない」と感じている。

○前回調査結果と比べ、「2. ある程度反映されている」が若干高くなっている一方、「4. ほとんど反映されていない」が若干低くなっている。

問 26 あなたは、町の施策について、女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。[1つに○印]



◆ 前回調査結果・目標値との比較(無回答を含む)



- 女性の意見や考え方が、町の政策に反映していると思う人の割合
(選択肢「1」「2」の合計)

今回調査結果 : 30.0%、前回調査結果 : 25.0%、【目標 (H28) : 約 30%】

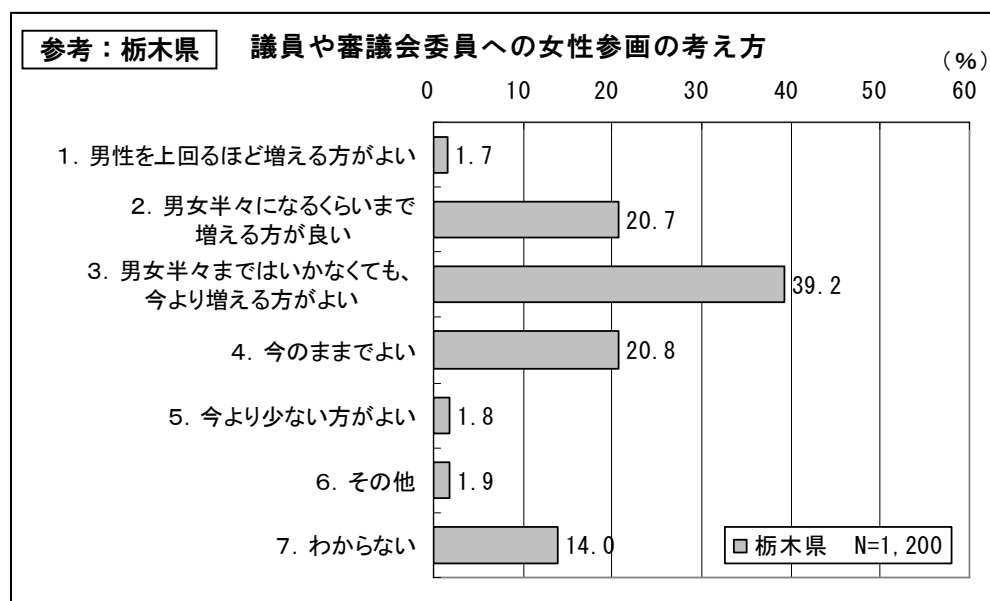
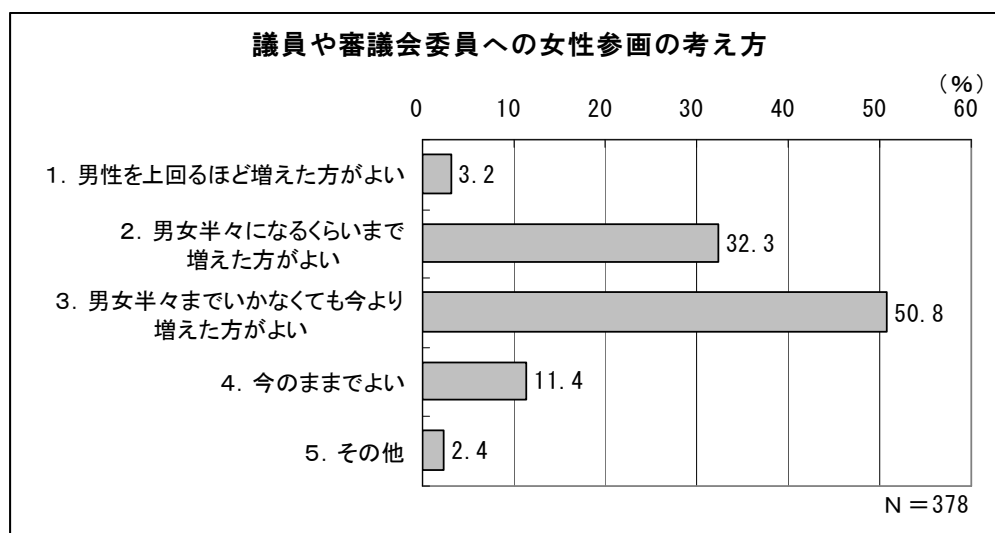
		全体	町政における女性の意見の反映度					
			1 十分 反映さ れている	2 ある程 度反 映され ている	3 あまり 反映さ れてい ない	4 ほとん ど反映 されて いない	5 わから ない	不明
合計		396 100.0	6 1.6	113 29.4	96 24.9	28 7.3	142 36.9	11
性別	1. 男性	151 100.0	3 2.0	61 40.7	40 26.7	9 6.0	37 24.7	1
	2. 女性	244 100.0	3 1.3	52 22.1	56 23.8	19 8.1	105 44.7	9
年齢	1. 20歳代	29 100.0	0 0.0	6 20.7	7 24.1	4 13.8	12 41.4	0
	2. 30歳代	66 100.0	0 0.0	9 13.8	18 27.7	4 6.2	34 52.3	1
	3. 40歳代	57 100.0	2 3.6	10 17.9	15 26.8	5 8.9	24 42.9	1
	4. 50歳代	72 100.0	1 1.4	19 26.4	21 29.2	6 8.3	25 34.7	0
	5. 60歳代	104 100.0	3 3.0	39 39.0	18 18.0	8 8.0	32 32.0	4
	6. 70歳以上	67 100.0	0 0.0	30 47.6	17 27.0	1 1.6	15 23.8	4

8-3. 議員や審議会委員への女性参画の考え方【SA】

■「増えた方がよい」と考えている人が全体の8割強を占める

- 「3. 男女半々までいかなくても今より増えた方がよい」が50.8%と最も高く、全体の半数を占めている。次いで「2. 男女半々になるくらいまで増えた方がよい」が32.3%、「4. 今のままでよい」が11.4%となっている。
- 選択肢「1」から「3」を合わせた8割強が、「増えた方がよい」と考えている。
- 栃木県調査結果では、壬生町の調査結果より「4. 今のままでよい」が少し高い一方、「3. 男女半々までいかなくても今より増えた方がよい」が少し低い結果となっている。

問 27 議員や審議会委員など、施策方針決定の場に女性が参画することについて、あなたは
どう思いますか。[1つに○印]



【平成 21 年度 男女共同参画社会に関する意識調査】

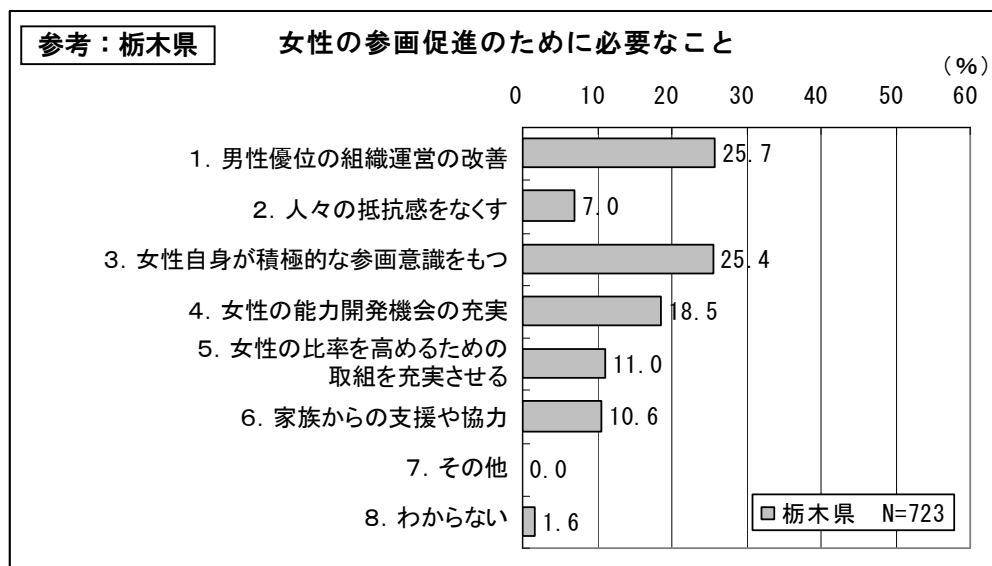
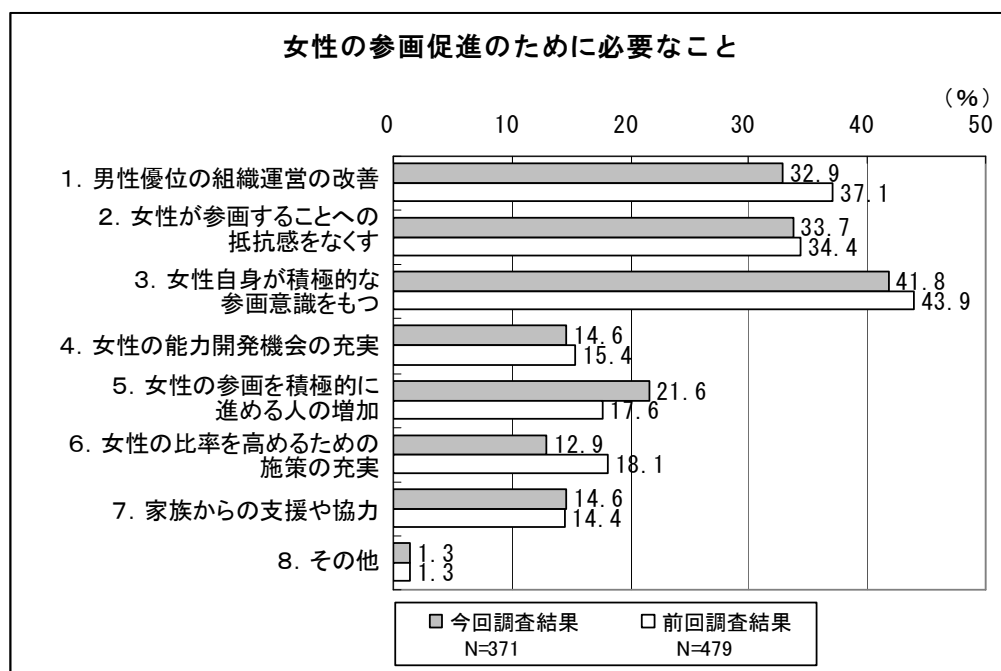
		全体	議員や審議会委員への女性参画の考え方				
			1	2	3	4	5
			男性を上回るほど増えた方がよい	男女半々になるくらいで増えた方がよい	男女半々まですり増えた方がよい	今のままでよい	その他
合計		396 100.0	12 3.2	122 32.3	192 50.8	43 11.4	9 2.4
性別	1. 男性	151 100.0	9 6.1	56 38.1	68 46.3	13 8.8	1 0.7
	2. 女性	244 100.0	3 1.3	66 28.6	124 53.7	30 13.0	8 3.5
年齢	1. 20歳代	29 100.0	2 6.9	12 41.4	13 44.8	2 6.9	0 0.0
	2. 30歳代	66 100.0	1 1.6	25 39.1	30 46.9	4 6.3	4 6.3
	3. 40歳代	57 100.0	1 1.9	23 43.4	21 39.6	7 13.2	1 1.9
	4. 50歳代	72 100.0	4 5.7	22 31.4	36 51.4	5 7.1	3 4.3
	5. 60歳代	104 100.0	2 2.0	28 28.6	55 56.1	12 12.2	1 1.0
	6. 70歳以上	67 100.0	2 3.1	12 18.8	37 57.8	13 20.3	0 0.0

8-4. 女性の参画促進のために必要なこと [MA]

■「女性自身が積極的な参画意識をもつ」が最も高く全体の約4割

- 「3. 女性自身が積極的な参画意識をもつ」が 41.8%と最も高く、次いで「2. 女性が参画することへの抵抗感をなくす」が 33.7%、「1. 男性優位の組織運営の改善」が 32.9%となっている。
- 前回調査結果と比べ、「5. 女性の参画を積極的に進める人の増加」が若干ながら高く、「6. 女性の比率を高めるための施策の充実」が低くなっている。

問 28 議員や審議会委員など、施策決定の場に女性の参画が増えていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。[2つ以内で○印]



【平成 21 年度 男女共同参画社会に関する意識調査】

		女性の参画促進のために必要なこと									
		1	2	3	4	5	6	7	8	不明	
全体		男性優位の組織運営を改善すること	施策決定の場に女性が参画することへの抵抗感をなくすること	女性自身が積極的な参画意識をもつこと	女性の能力開発の機会を充実させること	女性の参画を積極的に進めようとしている人が増えること	施策決定の場に女性の比率を高めるための施策を充実させること	家族からの支援や協力があること	その他		
合計		396 100.0	122 32.9	125 33.7	155 41.8	54 14.6	80 21.6	48 12.9	54 14.6	5 1.3	25
性別	1. 男性	151 100.0	49 33.1	51 34.5	64 43.2	18 12.2	33 22.3	19 12.8	14 9.5	2 1.4	3
	2. 女性	244 100.0	73 32.7	74 33.2	91 40.8	36 16.1	47 21.1	29 13.0	40 17.9	3 1.3	21
年齢	1. 20歳代	29 100.0	15 51.7	11 37.9	8 27.6	4 13.8	3 10.3	3 10.3	3 10.3	0 0.0	0
	2. 30歳代	66 100.0	21 32.8	22 34.4	23 35.9	9 14.1	16 25.0	6 9.4	13 20.3	1 1.6	2
	3. 40歳代	57 100.0	15 28.3	23 43.4	18 34.0	7 13.2	10 18.9	6 11.3	11 20.8	0 0.0	4
	4. 50歳代	72 100.0	20 28.6	24 34.3	28 40.0	10 14.3	19 27.1	15 21.4	8 11.4	4 5.7	2
	5. 60歳代	104 100.0	35 37.6	25 26.9	44 47.3	15 16.1	18 19.4	11 11.8	11 11.8	0 0.0	11
	6. 70歳以上	67 100.0	16 25.8	20 32.3	34 54.8	9 14.5	14 22.6	7 11.3	8 12.9	0 0.0	5

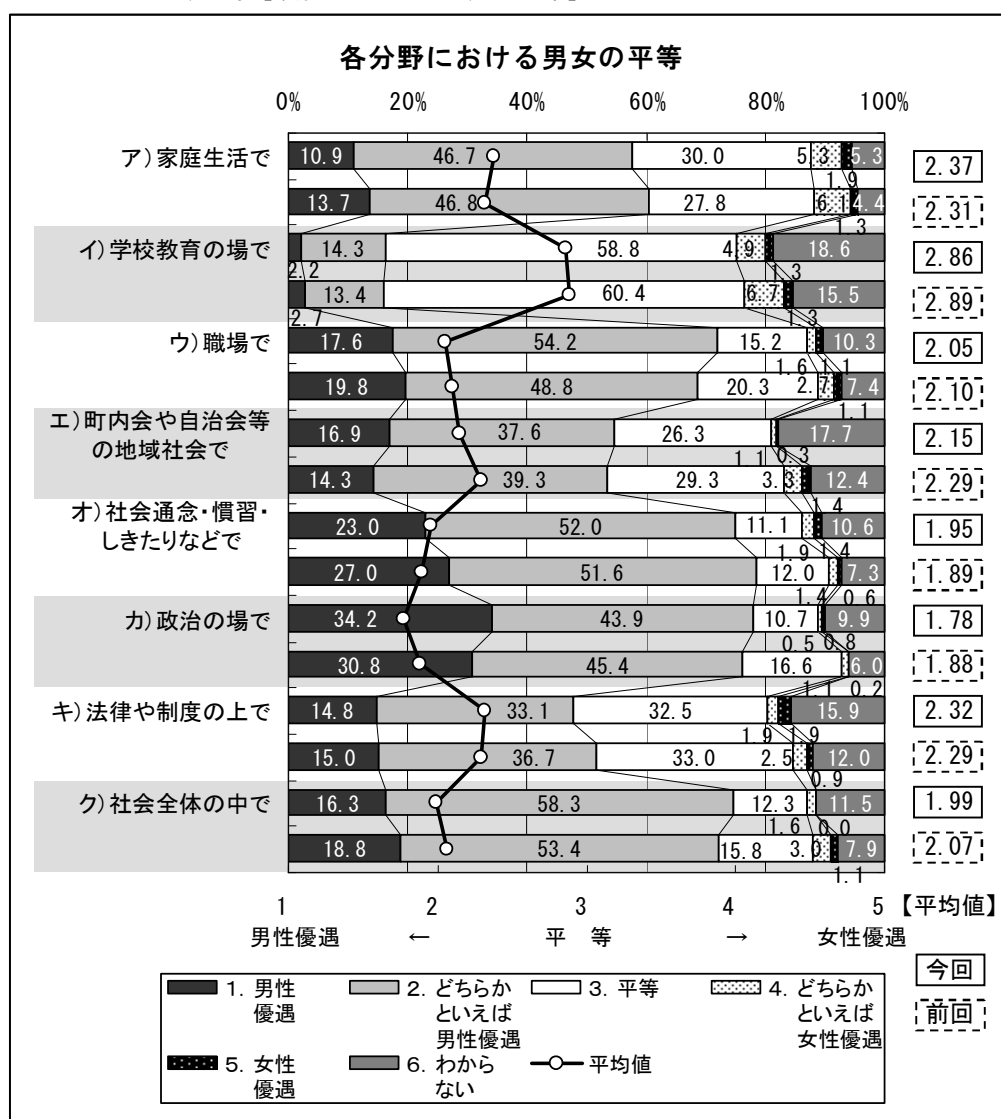
9. 男女の地位の平等について

9-1. 各分野における男女の平等 [SA]

- [政治の場] [社会通念・慣習・しきたりなど] [社会全体の中] では比較的男性優遇と感じている
- [学校教育の場] では平等と感じている人が6割程度

○男性優遇（平均値が高いもの）は順に、[カ] 政治の場で] が 1.78、[オ] 社会通念・慣習・しきたりなど] が 1.95、[ク] 社会全体の中で] が 1.99 となっている。
 ○平等（平均値が3）に近いものは順に、[イ] 学校教育の場で] が 2.86、[ア] 家庭生活で] が 2.37、[キ] 法律や制度の上で] が 2.32 となっている。
 ○前回調査結果と比べて、概ね同様の傾向となっている。

問 29 次のア)～ク) のような分野について、現在、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。[項目ごとに1つずつ○印]



※上段：今回調査結果 下段：前回調査結果

※平均値は、「男性優遇」を1、「どちらかといえば男性優遇」を2、「平等」を3、「どちらかといえば女性優遇」を4、「女性優遇」を5とした場合の加重平均を表す。
 ※数値が小さい方が「男性優遇」、大きい方が「女性優遇」となっている。
 ※ただし、「わからない」を除く。

◆ 前回調査結果・目標値との比較(無回答を含む)

項目	選 択 肢						無回答	全体	
	1	2	3	4	5	6			
	男性 優遇	どちらかとい えば、 男性優遇	平等	どちらかとい えば、 女性優遇	女性 優遇	わから ない			
ア)家庭生活で	10.4%	44.4%	28.5%	5.1%	1.8%	5.1%	4.8%	100.0%	396
	13.1%	44.6%	26.5%	5.8%	1.2%	4.2%	4.6%	100.0%	520
イ)学校教育の場で	2.0%	13.4%	55.1%	4.5%	1.3%	17.4%	6.3%	100.0%	396
	2.5%	12.5%	56.2%	6.2%	1.2%	14.4%	7.1%	100.0%	520
ウ)職場で	16.4%	50.5%	14.1%	1.5%	1.0%	9.6%	6.8%	100.0%	396
	18.5%	45.6%	19.0%	2.5%	1.0%	6.9%	6.5%	100.0%	520
エ)町内会や自治会等の 地域社会で	15.9%	35.4%	24.7%	1.0%	0.3%	16.7%	6.1%	100.0%	396
	13.5%	37.1%	27.7%	3.1%	1.3%	11.7%	5.6%	100.0%	520
オ)社会通念・慣習・ しきたりなどで	21.5%	48.5%	10.4%	1.8%	1.3%	9.8%	6.8%	100.0%	396
	25.4%	48.5%	11.3%	1.3%	0.6%	6.9%	6.0%	100.0%	520
カ)政治の場で	32.3%	41.4%	10.1%	0.5%	0.8%	9.3%	5.6%	100.0%	396
	29.0%	42.7%	15.6%	1.0%	0.2%	5.6%	6.0%	100.0%	520
キ)法律や制度の上で	13.9%	31.1%	30.6%	1.8%	1.8%	14.9%	6.1%	100.0%	396
	14.0%	34.2%	30.8%	2.3%	0.8%	11.2%	6.7%	100.0%	520
ク)社会全体の中で	15.4%	55.1%	11.6%	1.5%	0.0%	10.9%	5.6%	100.0%	396
	17.9%	50.8%	15.0%	2.9%	1.0%	7.5%	5.0%	100.0%	520

※上段：今回調査結果 下段：前回調査結果

※構成比は、不明（無回答）を含むものとして算出。

※太線は目標値として設定されているものを表す。

●家庭生活で平等になっていると思う人の割合

今回調査結果：28.5%、前回調査結果：26.5%、【目標（H28）：約60%】

●職場で平等になっていると思う人の割合

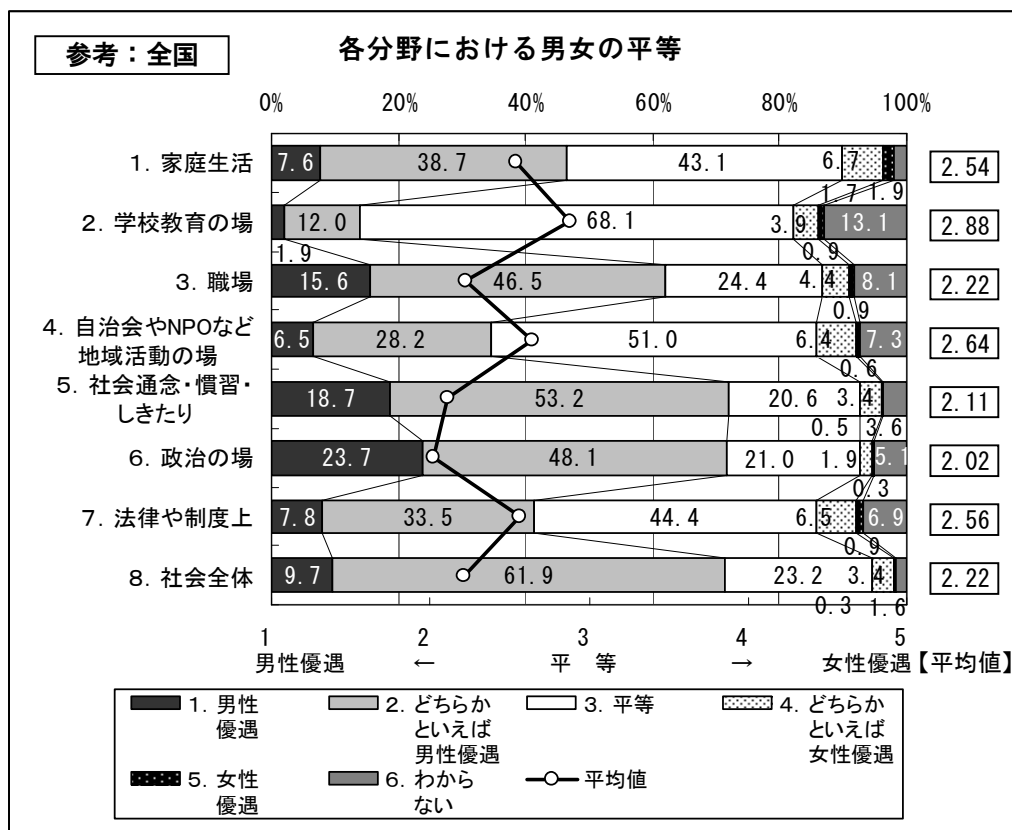
今回調査結果：14.1%、前回調査結果：19.0%、【目標（H28）：約25%】

●社会通念・慣習・しきたりなどで平等になっていると思う人の割合

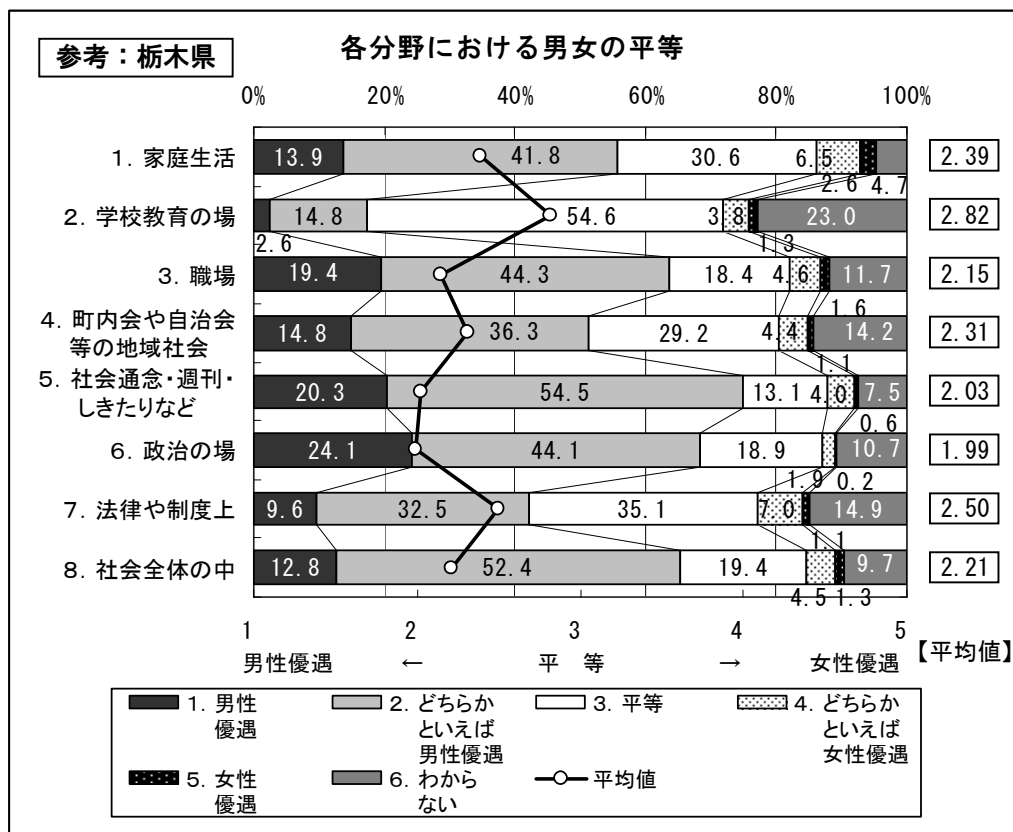
今回調査結果：10.4%、前回調査結果：11.3%、【目標（H28）：約20%】

●社会全体の中で平等になっていると思う人の割合

今回調査結果：11.6%、前回調査結果：15.0%、【目標（H28）：約45%】



【平成21年度 男女共同参画社会に関する世論調査】



【平成21年度 男女共同参画社会に関する意識調査】

		全体	ア) 家庭生活で							
			1	2	3	4	5	6	不明	平均
			男性 の方が優 遇されて いる	どちら かとい えば、 男性の 方が優 遇されて いる	平等に なっ てい る	どちら かとい えば、 女性 の方が 優 遇されて いる	女性 の方が 優 遇されて いる	わから ない		
合計		396 100.0	41 10.9	176 46.7	113 30.0	20 5.3	7 1.9	20 5.3	19	2.37
性別	1. 男性	151 100.0	12 8.2	64 43.5	54 36.7	8 5.4	3 2.0	6 4.1	4	2.48
	2. 女性	244 100.0	29 12.6	112 48.7	59 25.7	12 5.2	4 1.7	14 6.1	14	2.31
年齢	1. 20歳代	29 100.0	3 10.3	11 37.9	6 20.7	2 6.9	1 3.4	6 20.7	0	2.43
	2. 30歳代	66 100.0	8 12.3	35 53.8	14 21.5	4 6.2	3 4.6	1 1.5	1	2.36
	3. 40歳代	57 100.0	6 10.9	19 34.5	17 30.9	6 10.9	1 1.8	6 10.9	2	2.53
	4. 50歳代	72 100.0	7 9.9	34 47.9	21 29.6	3 4.2	1 1.4	5 7.0	1	2.35
	5. 60歳代	104 100.0	10 10.2	50 51.0	33 33.7	4 4.1	0 0.0	1 1.0	6	2.32
	6. 70歳以上	67 100.0	7 11.9	27 45.8	22 37.3	1 1.7	1 1.7	1 1.7	8	2.34

		全体	イ)学校教育の場で							
			1	2	3	4	5	6		
			男性 の方が優 遇されて いる	どちら かとい えば、 男性の 方が優 遇されて いる	平等に なっ て いる	どちら かとい えば、 女性 の方が 優 遇されて いる	女性 の方が 優 遇されて いる	わから ない	不明	平均
合計		396 100.0	8 2.2	53 14.3	218 58.8	18 4.9	5 1.3	69 18.6	25	2.86
性別	1. 男性	151 100.0	2 1.4	23 15.8	86 58.9	8 5.5	3 2.1	24 16.4	5	2.89
	2. 女性	244 100.0	6 2.7	30 13.3	132 58.7	10 4.4	2 0.9	45 20.0	19	2.84
年齢	1. 20歳代	29 100.0	1 3.4	4 13.8	18 62.1	2 6.9	0 0.0	4 13.8	0	2.84
	2. 30歳代	66 100.0	1 1.5	5 7.7	37 56.9	3 4.6	3 4.6	16 24.6	1	3.04
	3. 40歳代	57 100.0	1 1.8	6 10.9	26 47.3	4 7.3	1 1.8	17 30.9	2	2.95
	4. 50歳代	72 100.0	1 1.4	12 17.4	40 58.0	2 2.9	0 0.0	14 20.3	3	2.78
	5. 60歳代	104 100.0	3 3.1	17 17.7	60 62.5	4 4.2	1 1.0	11 11.5	8	2.80
	6. 70歳以上	67 100.0	1 1.8	9 15.8	37 64.9	3 5.3	0 0.0	7 12.3	10	2.84

		全体	ウ)職場で							平均
			1 男性 の方が 優遇され ている	2 どちら かとい えば、 男性の 方が優 遇され ている	3 平等に なっ てい る	4 どちら かとい えば、 女性 の方が 優遇 されて いる	5 女性 の方が 優遇 されて いる	6 わか らな い	不明	
合計		396 100.0	65 17.6	200 54.2	56 15.2	6 1.6	4 1.1	38 10.3	27	2.05
性別	1. 男性	151 100.0	15 10.4	79 54.9	29 20.1	5 3.5	2 1.4	14 9.7	7	2.23
	2. 女性	244 100.0	50 22.2	121 53.8	27 12.0	1 0.4	2 0.9	24 10.7	19	1.93
年齢	1. 20歳代	29 100.0	7 24.1	12 41.4	5 17.2	1 3.4	1 3.4	3 10.3	0	2.12
	2. 30歳代	66 100.0	11 16.9	38 58.5	9 13.8	1 1.5	1 1.5	5 7.7	1	2.05
	3. 40歳代	57 100.0	9 16.4	31 56.4	11 20.0	0 0.0	1 1.8	3 5.5	2	2.10
	4. 50歳代	72 100.0	10 14.5	33 47.8	11 15.9	3 4.3	0 0.0	12 17.4	3	2.12
	5. 60歳代	104 100.0	23 24.0	54 56.3	11 11.5	0 0.0	1 1.0	7 7.3	8	1.90
	6. 70歳以上	67 100.0	5 9.1	32 58.2	9 16.4	1 1.8	0 0.0	8 14.5	12	2.13

		全体	エ)町内会や自治会等の地域社会で							平均
			1 男性 の方が 優遇され ている	2 どちら かとい えば、 男性の 方が優 遇され ている	3 平等に なっ てい る	4 どちら かとい えば、 女性 の方が 優遇 されて いる	5 女性 の方が 優遇 されて いる	6 わか らな い	不明	
合計		396 100.0	63 16.9	140 37.6	98 26.3	4 1.1	1 0.3	66 17.7	24	2.15
性別	1. 男性	151 100.0	15 10.3	55 37.7	51 34.9	3 2.1	1 0.7	21 14.4	5	2.36
	2. 女性	244 100.0	48 21.2	85 37.6	47 20.8	1 0.4	0 0.0	45 19.9	18	2.01
年齢	1. 20歳代	29 100.0	6 22.2	3 11.1	5 18.5	2 7.4	0 0.0	11 40.7	2	2.19
	2. 30歳代	66 100.0	9 13.8	17 26.2	17 26.2	0 0.0	0 0.0	22 33.8	1	2.19
	3. 40歳代	57 100.0	9 16.4	23 41.8	11 20.0	0 0.0	0 0.0	12 21.8	2	2.05
	4. 50歳代	72 100.0	10 14.5	31 44.9	13 18.8	2 2.9	1 1.4	12 17.4	3	2.18
	5. 60歳代	104 100.0	22 22.4	44 44.9	28 28.6	0 0.0	0 0.0	4 4.1	6	2.06
	6. 70歳以上	67 100.0	7 12.1	22 37.9	24 41.4	0 0.0	0 0.0	5 8.6	9	2.32

		全体	オ)社会通念・慣習・しきたりなどで							平均
			1 男性 の方が優 遇されて いる	2 どちら かとい えば、 男性 の方が優 遇されて いる	3 平等に なっ てい る	4 どちら かとい えば、 女性 の方が優 遇されて いる	5 女性 の方が優 遇されて いる	6 わか ら ない	不明	
合計		396 100.0	85 23.0	192 52.0	41 11.1	7 1.9	5 1.4	39 10.6	27	1.95
性 別	1. 男性	151 100.0	23 16.1	77 53.8	28 19.6	4 2.8	1 0.7	10 7.0	8	2.12
	2. 女性	244 100.0	62 27.4	115 50.9	13 5.8	3 1.3	4 1.8	29 12.8	18	1.84
年 齢	1. 20歳代	29 100.0	5 17.2	14 48.3	3 10.3	1 3.4	0 0.0	6 20.7	0	2.00
	2. 30歳代	66 100.0	22 33.8	31 47.7	4 6.2	1 1.5	1 1.5	6 9.2	1	1.78
	3. 40歳代	57 100.0	16 29.1	27 49.1	3 5.5	0 0.0	1 1.8	8 14.5	2	1.79
	4. 50歳代	72 100.0	17 24.3	36 51.4	6 8.6	3 4.3	0 0.0	8 11.4	2	1.92
	5. 60歳代	104 100.0	19 19.6	57 58.8	11 11.3	1 1.0	2 2.1	7 7.2	7	2.00
	6. 70歳以上	67 100.0	6 11.3	27 50.9	14 26.4	1 1.9	1 1.9	4 7.5	14	2.27

		全体	カ)政治の場で							平均
			1 男性 の方が優 遇されて いる	2 どちら かとい えば、 男性 の方が優 遇されて いる	3 平等に なっ てい る	4 どちら かとい えば、 女性 の方が優 遇されて いる	5 女性 の方が優 遇されて いる	6 わか ら ない	不明	
合計		396 100.0	128 34.2	164 43.9	40 10.7	2 0.5	3 0.8	37 9.9	22	1.78
性 別	1. 男性	151 100.0	32 21.9	73 50.0	27 18.5	2 1.4	2 1.4	10 6.8	5	2.04
	2. 女性	244 100.0	96 42.1	91 39.9	13 5.7	0 0.0	1 0.4	27 11.8	16	1.60
年 齢	1. 20歳代	29 100.0	14 48.3	7 24.1	2 6.9	0 0.0	0 0.0	6 20.7	0	1.48
	2. 30歳代	66 100.0	29 44.6	27 41.5	2 3.1	0 0.0	1 1.5	6 9.2	1	1.59
	3. 40歳代	57 100.0	19 34.5	24 43.6	5 9.1	1 1.8	1 1.8	5 9.1	2	1.82
	4. 50歳代	72 100.0	25 35.7	29 41.4	6 8.6	1 1.4	1 1.4	8 11.4	2	1.77
	5. 60歳代	104 100.0	28 28.6	53 54.1	12 12.2	0 0.0	0 0.0	5 5.1	6	1.83
	6. 70歳以上	67 100.0	13 22.8	24 42.1	13 22.8	0 0.0	0 0.0	7 12.3	10	2.00

		全体	キ)法律や制度の上で							平均
			1 男性 の方が 優遇され ている	2 どちら かとい えば、 男性の 方が優 遇され ている	3 平等に なっ ている	4 どちら かとい えば、 女性 の方が 優遇され ている	5 女性 の方が 優遇され ている	6 わから ない	不明	
合計		396 100.0	55 14.8	123 33.1	121 32.5	7 1.9	7 1.9	59 15.9	24	2.32
性別	1. 男性	151 100.0	11 7.6	47 32.4	63 43.4	5 3.4	5 3.4	14 9.7	6	2.59
	2. 女性	244 100.0	44 19.4	76 33.5	58 25.6	2 0.9	2 0.9	45 19.8	17	2.13
年齢	1. 20歳代	29 100.0	4 13.8	11 37.9	5 17.2	1 3.4	2 6.9	6 20.7	0	2.39
	2. 30歳代	66 100.0	11 16.9	19 29.2	16 24.6	1 1.5	3 4.6	15 23.1	1	2.32
	3. 40歳代	57 100.0	9 16.7	18 33.3	13 24.1	1 1.9	1 1.9	12 22.2	3	2.21
	4. 50歳代	72 100.0	14 20.3	20 29.0	17 24.6	4 5.8	1 1.4	13 18.8	3	2.25
	5. 60歳代	104 100.0	11 11.2	39 39.8	41 41.8	0 0.0	0 0.0	7 7.1	6	2.33
	6. 70歳以上	67 100.0	6 10.5	16 28.1	29 50.9	0 0.0	0 0.0	6 10.5	10	2.45

		全体	ク)社会全体の中で							平均
			1 男性 の方が 優遇され ている	2 どちら かとい えば、 男性の 方が優 遇され ている	3 平等に なっ ている	4 どちら かとい えば、 女性 の方が 優遇され ている	5 女性 の方が 優遇され ている	6 わから ない	不明	
合計		396 100.0	61 16.3	218 58.3	46 12.3	6 1.6	0 0.0	43 11.5	22	1.99
性別	1. 男性	151 100.0	15 10.3	85 58.2	30 20.5	4 2.7	0 0.0	12 8.2	5	2.17
	2. 女性	244 100.0	46 20.2	133 58.3	16 7.0	2 0.9	0 0.0	31 13.6	16	1.87
年齢	1. 20歳代	29 100.0	6 20.7	14 48.3	4 13.8	0 0.0	0 0.0	5 17.2	0	1.92
	2. 30歳代	66 100.0	11 16.9	39 60.0	5 7.7	1 1.5	0 0.0	9 13.8	1	1.93
	3. 40歳代	57 100.0	12 21.8	32 58.2	3 5.5	1 1.8	0 0.0	7 12.7	2	1.85
	4. 50歳代	72 100.0	13 18.6	35 50.0	8 11.4	3 4.3	0 0.0	11 15.7	2	2.02
	5. 60歳代	104 100.0	12 12.2	67 68.4	13 13.3	1 1.0	0 0.0	5 5.1	6	2.03
	6. 70歳以上	67 100.0	7 12.3	31 54.4	13 22.8	0 0.0	0 0.0	6 10.5	10	2.12

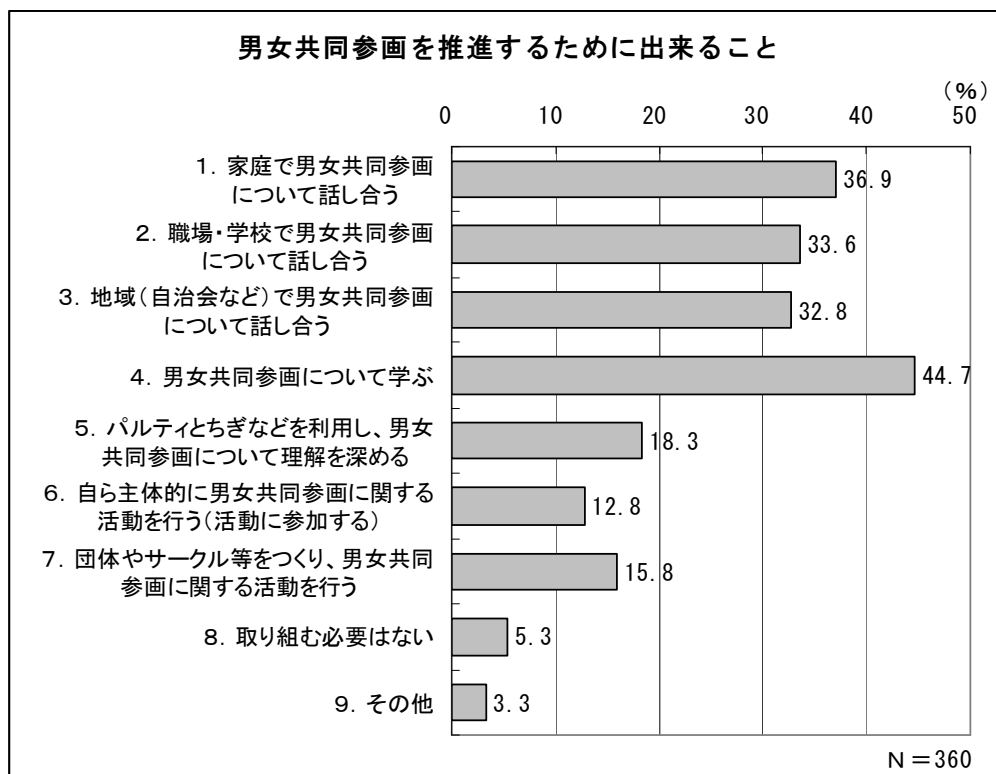
10. 男女共同参画の推進について

10-1. 男女共同参画を推進するために出来ること [MA]

- 「男女共同参画について学ぶ」が最も高く全体の4割以上
- 「家庭で話し合う」「職場・学校で話し合う」も比較的高い

○「4. 男女協働参画について学ぶ」が44.7%と最も高く、次いで「1. 家庭で男女協働参画について話し合う」が36.9%、「2. 職場・学校で男女協働参画について話し合う」が33.6%となっている。

問 30 男女共同参画を推進するために、あなた自身ではどのようなことができますか。[あてはまるものすべてに○印]



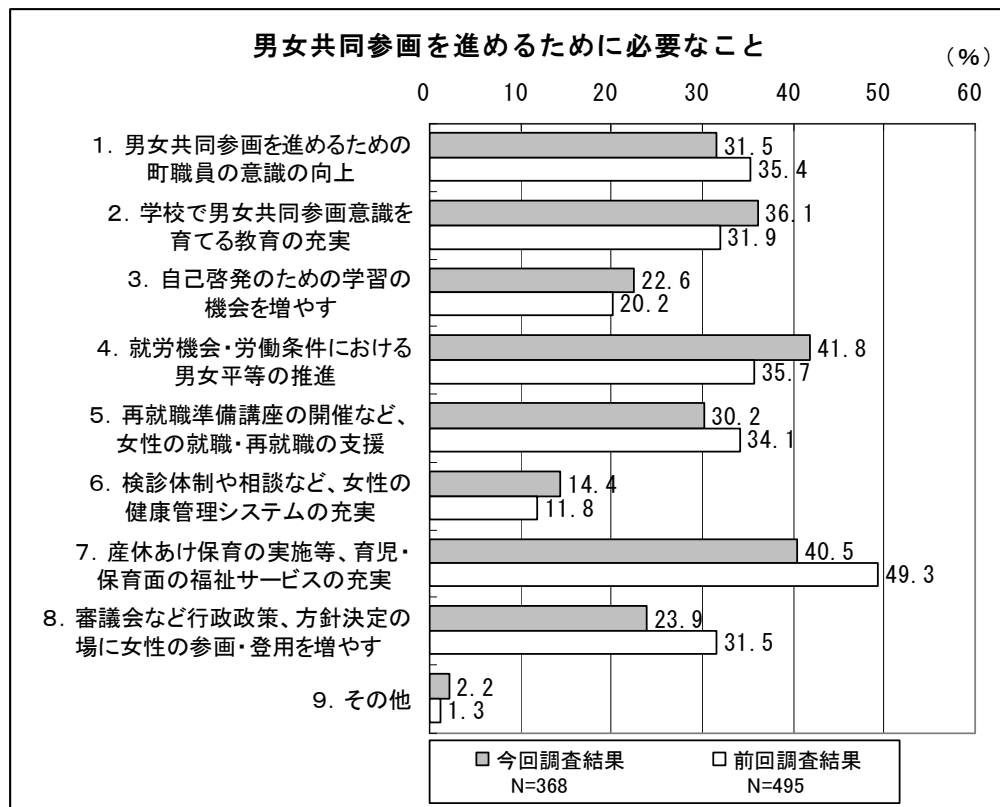
		男女共同参画を推進するために出来ること										
		全体	1 家庭で 男女 共同 参画に ついて 話し合 う	2 職場・ 学校で 男女 共同 参画に ついて 話し合 う	3 地域 (自治 会な ど)で 男女 共同 参画に ついて 話し合 う	4 男女 共同 参画に ついて 学ぶ	5 パル ティと ちぎ男 女共 同参 画セン ターな どを利 用し、 男女 共同 参画に ついて 理解を 深めて みる	6 自ら主 体的に 男女 共同 参画に 関する 活動を行 う(活動 に参加 する)	7 団体 やサー クル等 をつく り、男 女共 同参 画に関 する活 動を行 う	8 取り組 む必 要はな い	9 その他	不明
合計		396 100.0	133 36.9	121 33.6	118 32.8	161 44.7	66 18.3	46 12.8	57 15.8	19 5.3	12 3.3	36
性別	1. 男性	151 100.0	49 33.8	47 32.4	63 43.4	64 44.1	21 14.5	16 11.0	24 16.6	6 4.1	5 3.4	6
	2. 女性	244 100.0	84 39.1	74 34.4	55 25.6	97 45.1	45 20.9	30 14.0	33 15.3	13 6.0	7 3.3	29
年齢	1. 20歳代	29 100.0	8 27.6	11 37.9	3 10.3	13 44.8	4 13.8	4 13.8	5 17.2	2 6.9	1 3.4	0
	2. 30歳代	66 100.0	33 52.4	26 41.3	9 14.3	28 44.4	4 6.3	3 4.8	2 3.2	5 7.9	2 3.2	3
	3. 40歳代	57 100.0	18 36.0	18 36.0	15 30.0	19 38.0	8 16.0	2 4.0	3 6.0	3 6.0	3 6.0	7
	4. 50歳代	72 100.0	23 34.3	19 28.4	21 31.3	34 50.7	12 17.9	9 13.4	10 14.9	4 6.0	4 6.0	5
	5. 60歳代	104 100.0	33 34.7	33 34.7	36 37.9	41 43.2	27 28.4	16 16.8	22 23.2	3 3.2	2 2.1	9
	6. 70歳以上	67 100.0	18 32.1	14 25.0	34 60.7	26 46.4	11 19.6	12 21.4	15 26.8	2 3.6	0 0.0	11

10-2. 男女共同参画を進めるために必要なこと [MA]

- 「就労機会・労働条件の男女平等の推進」「育児・保育面の福祉サービスの充実」「学校で男女共同参画意識を育てる教育の充実」などが高い

- 「4. 就労機会・労働条件における男女平等の推進」が 41.8%と最も高く、次いで「7. 産休あけ保育の実施等、育児・保育面の福祉サービスの充実」が 40.5%、「2. 学校で男女共同参画意識を育てる教育の充実」が 36.1%となっている。
- 前回調査結果と比べ、「2. 学校で男女共同参画意識を育てる教育の充実」、「3. 自己啓発のための学習の機会を増やす」、「4. 就労機会・労働条件における男女平等の推進」などが高くなっている。

問 31 男女共同参画を推進するために、町に力を入れてほしいと思うものは何ですか。
[3つ以内で○印]



		全体	男女共同参画を進めるために必要なこと									
			1 男女 共同 参画を 進める ための 町職員 の意識を 向上させ る	2 学校で 男女 共同 参画 意識を 育てる 教育を 充実させ る	3 自己 啓発 のため の学習 の機会を 増やす	4 就労 機会・ 労働 条件に おける 男女 平等を 進める	5 再就 職準備 講座の 開催な ど、女 性の 就職・ 再就 職を支 援する	6 検診 体制 や相談 など、女 性の 健康 管理シ ステム を充実 させる	7 産休あ け保育 の実 施等、 育児・ 保育 面の 福祉 サービ スを充 実させ る	8 審議会 など 行政 政策、 方針 決定 の場 に女性 の参 画・登 用を増 やす	9 その他	不明
合計		396 100.0	116 31.5	133 36.1	83 22.6	154 41.8	111 30.2	53 14.4	149 40.5	88 23.9	8 2.2	28
性別	1. 男性	151 100.0	58 39.7	53 36.3	39 26.7	60 41.1	39 26.7	14 9.6	44 30.1	42 28.8	3 2.1	5
	2. 女性	244 100.0	58 26.1	80 36.0	44 19.8	94 42.3	72 32.4	39 17.6	105 47.3	46 20.7	5 2.3	22
年齢	1. 20歳代	29 100.0	6 20.7	6 20.7	5 17.2	17 58.6	12 41.4	4 13.8	16 55.2	1 3.4	0 0.0	0
	2. 30歳代	66 100.0	14 21.5	23 35.4	8 12.3	26 40.0	22 33.8	10 15.4	35 53.8	11 16.9	1 1.5	1
	3. 40歳代	57 100.0	7 13.0	16 29.6	15 27.8	21 38.9	19 35.2	15 27.8	28 51.9	5 9.3	2 3.7	3
	4. 50歳代	72 100.0	30 44.8	23 34.3	11 16.4	27 40.3	23 34.3	5 7.5	28 41.8	17 25.4	5 7.5	5
	5. 60歳代	104 100.0	29 30.5	41 43.2	27 28.4	39 41.1	26 27.4	11 11.6	28 29.5	29 30.5	0 0.0	9
	6. 70歳以上	67 100.0	30 51.7	24 41.4	17 29.3	24 41.4	9 15.5	8 13.8	14 24.1	25 43.1	0 0.0	9

11. 自由回答

自由回答への記入は全 47 票、意見数は全 58 個だった。

※意見数は、1 票に複数の意見が記入されている場合、それぞれの意見についてカウントした数。

■ 意見概要

男女共同参画社会の実現に向けて	
・	できることから実現してほしい。
・	男女雇用均等法などが制定されて久しいが、未だに総論賛成、各論反対の感がある。 大変だが、男女が協力し、支えあう社会、まちづくりを目指してほしい。
・	他事例を参考に、実現に向けて努力する必要があると思う。
・	子育てや介護など女性の負担は大きく、男女共同参画の実現は難しいと思うが、がんばってほしい。
・	性別にとらわれず、その人の能力や性質に合った生き方のできる社会を望む。
・	女性の立場を理解して、住みよい社会をつくり、すべての人が満足できるように支援してもらいたい。
・	男女関係なく優秀な人材の参画が必要。
・	男女の役割分担が重要なので、男女共同、平等がすべてとは思わない。
・	男女それぞれの役割があると思う。
・	夫婦間の協調が一番で、その上で女性の社会進出は歓迎する。
・	援助交際には女性にも罰を与えるべき。女性だけを考えず、男女平等にすべき。
・	まず個々に浸透しなければならない課題だと思う。
・	社会全体でみると、依然として女性の能力が埋没しているように感じる。
・	日本は他国に比べて男尊女卑が色濃いと思う。
・	町行政の意図も大事だが、女性自身の考えがもっとも大事だとおもう。
・	参画するにあたっての女性の学習が足りない。
・	男女がお互いの意見を聞くことが大切
・	男女にとらわれず、それぞれが生活に満足できればいいと思う。
・	今まで無関心だったので、これから勉強して趣旨を理解する。
・	今の社会の男女関係では、男性にとってもプレッシャーが大きく大変だと思う。

■ 意見概要

男女共同参画プランについて	
	・このような計画が推進され、壬生町が住み良い町になることを祈る。
	・男女共同参画を推進するにあたっての方向性を、町民に知らせてほしい。
	・柔軟性をもった男女共同参画の計画を作してほしい。
	・なぜ現在、男女共同になっていないのかを掘り下げて計画を作るべき。
	・現行プランの具体的な施策内容がわからない。
	・男女にできることを多く企画する必要がある。
	・各々の課題について、長期的な計画を立て、取り組む必要があると思う。
	・子供から大人までが参加できる仕組みを考える必要があると思う。
	・どのようなことで女性が望まれているのか整理することが大切ではないかと思う
	・女性の社会的地位向上より、家庭内のDV被害者を救う策を緊急に進めるべき。
就労について	
	・企業や組織が有能な女性を積極的に登用することで意識改革が進むと思う。
	・労働条件を男女平等にすることによって、今までなかった工場などの女子の夜間勤務などが増え、かえって女子の負担が増えるのはよくないと思う。子育てに負担のない短時間労働など、多様な労働条件の充実をお願いしたい。
	・子供が犠牲となるような共働きは望ましくないと思うので、働いている親の賃金をあげてほしい。
	・女性の雇用を促進してほしい。
子育てについて	
	・親の子育てに対する関心が希薄になっている。親の意識改革を目的とした支援が必要。
	・両親共働きでも良いが、子供が犠牲にならないように、親としての責任を各自持った上で社会に出てほしい。
	・若い人達は、税金や物価が高く子供を育てられない。ひとりひとりが安心して暮らせる社会になってほしい。
慣習・しきたりについて	
	・職場でのお茶くみなどのしきたりをなくしてほしい（公務員）。
	・これまでの慣習もあり、男女共同参画社会を実現することは難しいと思う。
アンケートについて	
	・アンケート結果と、今後この結果をどう活かすか公表してほしい。
	・もう少し簡単にしてほしい。

■ 意見概要

地域活動について	・ 地域でのサークル活動など、役員が毎年同じで、他の人が入るすきがない。誰もが気軽に参加できるような地域活動を望む。 ・ 特定の人のみではなく、老若男女が気軽に参加できる自治会単位の集まりがあればいいと思う。 ・ 越してきたばかりなので、地域の活動に参加するための情報がほしい。 ・ 定年をむかえる男性が、地域自治会などで男女のあり方を話し合う機会があるといいと思う。
その他	・ 本当に困ったとき、どこに相談したらよいのかわからない。役所の一角によろず相談所を設けてほしい。 ・ 男女共同参画社会の前に、一人一人が安心安全に生活できる社会をつくってほしい。 ・ 親との同居に関する社会的通年をかえてほしい（長男より娘との同居が好ましいと思う）。 ・ 土木工事が適切かどうか現場に出向いて実態調査してほしい。 ・ 災害に備えて、井戸のある家は自治会長に届け出るなど協力してもらいたい。 ・ 高齢者の避難場所への移動が大変だと思うので、自宅付近での生活も考えるべきだと思う。 ・ 公園の遊具も必要だが、木陰も高齢者の散歩のためにほしい。 ・ 蘭学通り祭の回数を増やし、内容も検討してほしい。 ・ 町の税金の無駄使いをなくしてほしい。 ・ 以前、まちづくり委員会に参加して、町に要望書を提出したが、返答がない。非常に残念。 ・ 足銀の前の石畳の道をふつうのアスファルトにもどしてほしい。 ・ 花火（ふるさと祭）は黒川でやってほしい。 ・ 増加する高齢者の参画方法も考慮すべき。

Ⅲ 結果概要

(1) 男女（夫婦）の役割分担について

■ 男女の役割に対する考え方 【問1】

- ・「男女ともに仕事を持ち、家庭でも責任を分担する」が49.4%、「男女の役割を固定しない」も25.6%。

■ 実際の夫婦の役割分担 【問2】

- ・「役割分担せず、仕事・家庭とも状況により対応している」が30.7%と前回から増加、一方、「夫婦ともに仕事、家庭でも役割分担している」が12.3%と減少。

■ 育児の役割分担【問4】

- ・「男性は時間の許す範囲内で育児に参加すればよい」が55.9%、「男性と女性が育児を分担して、積極的に参加するのがよい」が34.1%。

■ 男性の家庭参加に必要なこと【問5】

- ・「夫婦間で家事などの分担について十分話し合い、協力しあう」が67.4%。

○ 「男は仕事、女は家庭」、「夫婦ともに仕事、家庭のことは妻が主体」がある一方、男女で役割分担を決めるという観点よりも、状況に応じて互いに役割を担うという考え方に変化してきている。

○ 男性が育児により参加すべきという考え方が一般化してきていると考えられる。

(2) 仕事と生活の調和について

■ 「仕事と生活の調和」の認知度【問6】

- ・「仕事と生活の調和（ワークライフバランス）」について、「名前も内容も知らなかった」が62.9%、一方、「名前も内容も知っていた」が11.7%と、同様の全国調査に比べて認知度が低い。

■ 仕事と生活の優先度【問7】

- ・『希望』では、「家庭生活とプライベート」が24.7%、「仕事と家庭生活とプライベート」が23.4%と、「家庭生活」と「プライベート」に重点をおいている。
- ・『現実』では、「仕事」が26.5%、「仕事と家庭生活」が25.4%と、「仕事」の比重が大きい。

（３）子育てについて

■ 子どもの育て方【問12】

- ・「どちらかといえば男らしく、女らしく」が41.3%、「どちらかといえば性別にとらわれず」が31.5%と、男女の性差を踏まえながら、個性を大事にする考え方に変わってきている。

■ 学校教育において力を入れてほしいこと【問13】

- ・「男女とも暮らしに必要な知識や実技を学ぶ」、「働き方について学ぶ職業教育」のほか、「男女ともに豊かな人間関係を育てる」、「男女共同参画意識を身につける」という意向が高くなっている。

（４）就労について

■ 女性が職業を持つこと【問14】

- ・「出産後は仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい」、「結婚後や出産後も仕事は続けるが、負担を軽くする方がよい」、「結婚や出産後も、ずっと仕事を続ける方がよい」の意向が高い。

■ 女性が仕事を続ける上での障害【問15】

- ・「家事や育児、介護との両立がむずかしい」が73.4%、「育児や介護について、職場の理解や協力が得られない」、「育児・介護休暇などが取りにくい」など、仕事や職場との関係が影響している。

■ 女性の再就職支援に必要なこと【問16】

- ・「出産などで退職しても同一企業に復帰できるようにする」、「保育時間の拡大など保育サービスの充実」、「多様な職種や年齢制限の緩和など働く場を多くする」の意向が高い。

○ 夫婦共稼ぎ世帯の増加（核家族化や社会経済の変化）を背景に、ライフステージに応じた女性の就業機会や働き方が求められており、保育サービスの充実のほか、企業における育児等支援や多様な働き方を採り入れるなどの取り組みが求められている。

（５）地域活動について

■ 地域活動の参加状況【問18】

- ・「参加している（したことがある）」が50.8%、「参加していない」が49.2%で、前回に比べて「参加している」が低くなっている。

■ 参加していない理由【問18-2】

- ・「仕事が忙しい」が最も高いが、「あまり関心がない」、「人間関係がわずらわしい」、「身体が丈夫でない」が増加している。

（６）ドメスティック・バイオレンスについて

■ ドメスティック・バイオレンスの経験【問23】

- ・「精神的な嫌がらせ」について、「１，２度あった」が17.3%、「何度もあった」が6.2%と、4分の1近くがドメスティック・バイオレンスの経験がある。

（７）女性の参画について

■ 町政における女性の意見の反映度【問26】

- ・「反映されている」が31.0%を占め、前回から増加している。

■ 議員や審議会委員への女性参画の考え方【問27】

- ・「男女半々までいかなくても今より増えた方がよい」が50.8%、「男女半々になるくらいまで増えた方がよい」が32.3%と、8割強が「女性の参画が増えた方がよい」と考えている。

■ 女性の参画促進のために必要なこと【問28】

- ・「女性自身が積極的な参画意識をもつ」、「女性が参画することへの抵抗感をなくす」のほか、「女性の参画を積極的に進める人の増加」の意向が前回よりも高く、女性の参画促進を能動的に進めていくことが求められている。

■ 各分野における男女の平等【問29】

- ・前回と同様、男性優遇（平均値が高いものは「政治の場で」が1.78、「社会通念・慣習・しきたりなど」が1.95、「社会全体の中で」が1.99となっている。一方、平等（平均値が3）に近いものは、「学校教育の場で」が2.86、「家庭生活で」が2.37となっている。

○ 社会全体を通して、依然として男女の地位や機会等の不平等、性的役割分担意識を感じている。

（８）男女共同参画の推進について

■ 男女共同参画を推進するために出来ること【問30】

- ・「男女協働参画について学ぶ」、家庭や職場・学校、地域で「男女協働参画について話し合う」ことのほか、「パルティとちぎなどを利用し、男女共同参画について理解を深める」、「団体やサークル等をつくり、男女共同参画に関する活動を行う」という意向もある。

■ 男女共同参画を進めるために必要なこと【問31】

- ・「就労機会・労働条件における男女平等の推進」、「産休あけ保育の実施等、育児・保育面の福祉サービスの充実」、「学校で男女協働参画意識を育てる教育の充実」の意向が高い。

○ 仕事と生活（子育て）の調和を目指した社会全体の環境づくりとともに、学校教育や地域における男女共同参画意識の普及啓発が求められている。

IV 調査票

あなたの声をおきかせください

男女共同参画に関する住民意識調査

日頃から、町政にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

町では、21世紀のよりよいまちづくりを進めるため、平成19年に「壬生町男女共同参画プラン※」を策定し、女性と男性が共にいきいきと暮らせる社会、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる“男女共同参画社会”の実現に向けた取り組みを進めています。

※「男女共同参画プラン」については、裏面をご参照ください。

今年度は、本プラン策定から5年が経過し、目標年次である平成28年度の中間にあたることから、近年の状況や課題等を踏まえた計画の見直しを行うことになりました。その基礎資料とするため、住民の皆様にご意見をいただきたく、意識調査を行います。

この調査にあたっては、住民の皆様から20歳以上の男女1,000名を無作為に選ばせていただきました。なお、調査は無記名であり、調査結果は統計的に処理するため、お答えくださった皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のおり誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成23年7月

壬生町長 小 菅 一 弥

ご記入にあたってのお願い

- (1) 必ずあて名のご本人がお答えください。
- (2) ご記入は、黒のボールペン、または濃い鉛筆でお願いします。
- (3) 設問によって、回答数が「1つ」「2つ以内」「あてはまるものすべて」などがありますので、設問の内容に従い、あてはまる番号に○をつけてください。
- (4) 最初から1問ずつ、該当する全部の設問にお答えください。
- (5) 回答にあたって、お答えになりたくない項目については、無理にお答えくださる必要はありません。
- (6) 各設問において「その他」を選ばれた場合は、項目の右の（ ）内にその内容を具体的に記入してください。
- (7) 記入が終わりましたら、この調査票を同封の返信用封筒に入れて、**8月12日（金）までに**投函してください。（※切手を貼る必要はありません）
- (8) 住所・氏名はお書きにならないで結構です。この調査は無記名であり、個人が特定されることはありません。
- (9) ご不明な点などありましたら、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

壬生町教育委員会 生涯学習課 社会教育係 電話 81-1873（直通）

壬生町男女共同参画プランについて

壬生町男女共同参画プランは、「**男女共同参画社会基本法**※」の理念に基づき、あらゆる場面で、男女が共に協力し支え合いながら、家庭生活とその他の生活を両立できるような社会づくりを推進するため、平成19年度～28年度を計画期間として平成19年3月に策定しました。

本プランでは、壬生町における男女共同参画社会の実現に向けて、“男女が共に協力しあう基盤づくり”と“男女が共に輝く社会づくり”の2つを基本目標として掲げています。

基本目標1 男女が共に協力しあう基盤づくり

男女が生まれながらに持っているお互いの違いを認めあいながら、一人の人間として、家庭や地域、職場や教育の場などにおいて、共に協力しあうことが大切です。そのため、協力しあう基盤づくりを進めます。

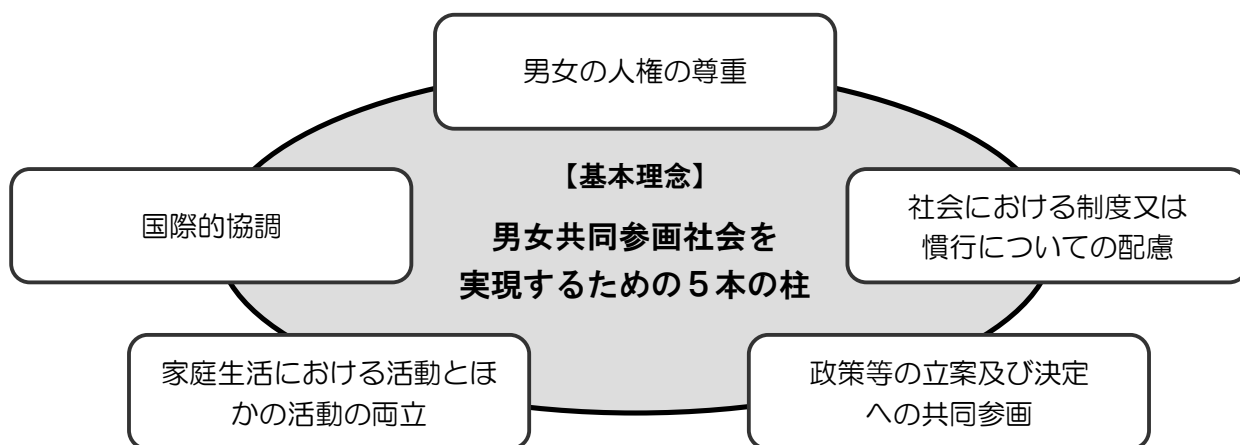
基本目標2 男女が共に輝く社会づくり

男女が共に一人の人間として、それぞれの性格や能力にあった、家庭や地域、職場や教育の場など社会の様々な場面において輝けることが大切です。そのため、共に輝ける社会環境づくりを進めます。

● 男女共同参画社会とは・・・

男女共同参画社会とは、「**男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会**」のことです。

※**男女共同参画社会基本法**（平成11年6月23日公布・施行）では、男女の人権が尊重され、男女が平等に、豊かで活力ある社会を実現するために、男女共同参画社会づくりの基本理念を定め、国、地方公共団体及び国民がなすべきことを明らかにしています。



壬生町男女共同参画に関する住民意識調査 調査票

◎各設問の指示にしたがって、あてはまる番号に○印を付けてください。

まず、あなたご自身のことについてうかがいます。

※恐縮ですが、調査結果を整理するのに必要となりますのでご回答にご協力ください。

(1) あなたの性別

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) あなたの年齢

- | | |
|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 4. 50歳代 |
| 2. 30歳代 | 5. 60歳代 |
| 3. 40歳代 | 6. 70歳以上 |

(3) 結婚の状況

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 未婚 | 3. 既婚（夫婦別居・離別・死別を含む） |
| 2. 既婚（夫婦同居） | |

(4) 就労の状況

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 夫婦とも働いている | 4. 夫婦とも働いていない |
| 2. 夫だけ働いている | 5. 未婚、または配偶者はいない |
| 3. 妻だけ働いている | |

はじめに、家庭生活など（仕事と生活の調和）についておうかがいします。

問1 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方がありますが、あなたの考えに最も近いものを選んでください。[1つに○印]

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 男性は仕事をもち、女性は家庭のことをするのがよい | |
| 2. 男女ともに仕事をもち、家庭のことは女性が責任をもつのがよい | |
| 3. 男女ともに仕事をもち、家庭でも責任を分担するのがよい | |
| 4. 男女の役割は固定せずに、男女どちらが仕事をしても家庭にいてもよい | |
| 5. その他（ | ） |
| 6. わからない | |

【問2と問3は、配偶者のいらっしゃる方におうかがいします。それ以外の方は、問4へお進みください。】

配偶者のいる方のみ回答

問2 あなたの家庭において、夫婦の役割分担はどのようになっていますか。最も近いものを選んでください。[1つに○印]

1. 夫は仕事をもち、妻は家庭のことをしている
2. 夫婦ともに仕事をもち、家庭のことは妻が主体となっている
3. 夫婦ともに仕事をもち、家庭でも役割を分担している
4. 夫と妻の役割分担は決めずに、仕事・家庭とも状況に応じて対応している
5. その他（ ）

配偶者のいる方のみ回答

問3 問2のようなご夫婦の役割分担について満足されていますか。[1つに○印]

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 満足 | 4. 不満 |
| 2. どちらかという満足 | 5. わからない |
| 3. どちらかという不満 | |

問4 男性（父親）と女性（母親）の育児の役割分担についてどのように思いますか。[1つに○印]

1. 男性が女性以上に育児に参加するのがよい
2. 男性と女性が育児を分担して、積極的に参加するのがよい
3. 男性は時間の許す範囲内で育児に参加すればよい
4. 男性は外で働き、女性が育児に専念するのがよい
5. その他（ ）

問5 男性が家事や子育て、介護などの家庭内のことに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。[2つ以内で○印]

1. 夫婦の間で家事などの分担について、十分話し合い、協力しあうこと
2. 男女の役割分担意識についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
3. 労働時間短縮や休暇制度を普及させること
4. 家事、子育てや介護に必要な知識を学べる機会を充実すること
5. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
6. 女性（妻）が、男性（夫）に経済力や出世を求めないこと
7. 男性の参加は必要ない
8. その他（ ）

問6 国では、「一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、家庭や地域生活などにおいても、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」に向けて、『ワークライフバランス（仕事と生活の調和）』を推進していますが、あなたは、この『ワークライフバランス』という言葉をもの程度知っていますか。[1つに○印]

1. 名前も内容も知っていた
2. 名前は聞いたことがあるが、内容までは知らなかった
3. 名前も内容も知らなかった

問7 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「プライベート（仕事・家庭以外の自分の時間）」の優先度についておうかがいします。あなたはどちらを優先したいですか。希望に最も近いもの『a. 希望』と、実際、あなたの現実に最も近いもの『b. 現実』を、それぞれ選んでください。[各1つに○印]

【a. 希望の優先度】

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 「仕事」 | 5. 「仕事」と「プライベート」 |
| 2. 「家庭生活」 | 6. 「家庭生活」と「プライベート」 |
| 3. 「プライベート」 | 7. 「仕事」と「家庭生活」と「プライベート」 |
| 4. 「仕事」と「家庭生活」 | |

【b. 現実の優先度】

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 「仕事」 | 5. 「仕事」と「プライベート」 |
| 2. 「家庭生活」 | 6. 「家庭生活」と「プライベート」 |
| 3. 「プライベート」 | 7. 「仕事」と「家庭生活」と「プライベート」 |
| 4. 「仕事」と「家庭生活」 | |

問8 あなたは、日常生活の中で、次のア)～オ)について、満足する時間がとれていますか。
[項目ごとに1つつ○印]

項 目	十分 取れて いる	まあ 取れて いる	あまり 取れて いない	まったく 取れて いない
ア) 家庭生活のための時間	1	2	3	4
イ) 仕事のための時間	1	2	3	4
ウ) 地域活動に参加する時間	1	2	3	4
エ) 学習・趣味・スポーツなどのための時間	1	2	3	4
オ) 休養のための時間	1	2	3	4

介護や老後のことなどについておうかがいします。

問9 あなたは、ご家族を介護したことがありますか（または、現在していますか）。[1つに○印]

1. 自分が中心となって介護したことがある（している）
2. 自分が補助的に介護したことがある（している）
3. 介護したことはない

問10 病人や高齢者などの介護は、女性（母、妻、息子の妻、娘など）が主な担い手となっているケースが多いのが現状です。あなたはこれについてどう思いますか。[1つに○印]

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 当然だと思う | 3. 男性も担うべきだと思う |
| 2. 問題はあるが、現実的にはやむを得ないと思う | 4. わからない |

子育てや教育などについておうかがいします。

問11 子どもを育てるときに、「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という考え方がありますが、あなた自身はどう育てられましたか。最も近いものを選んでください。[1つに○印]

1. 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに
2. どちらかといえば「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに
3. どちらかといえば、性別にとらわれずに
4. 全く性別にとらわれずに
5. わからない

問12 それでは、あなたは、自分の子どもをどう育てたいと思いますか。最も近いものを選んでください。（子どもがいない場合には、“子どもがいる”と仮定してお考えください。）[1つに○印]

1. 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに
2. どちらかといえば「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに
3. どちらかといえば、性別にとらわれずに
4. 全く性別にとらわれずに
5. わからない

問13 男女が互いにその人権を尊重しつつ、ともに責任をもち、協力しあって暮らす社会をつくるために、学校教育の中で特に力を入れてほしいと思うものは何ですか。[2つ以内で○印]

1. 技術・家庭科などを通じて、男女ともに、暮らしに必要な知識や実技を学ぶこと
2. 性教育などを通じて、心と体を大切にする男女の性のあり方について学ぶこと
3. 働くことの意味や働き方などについて学ぶ職業教育をすること
4. クラブ活動などを通じて、男女ともに豊かな人間関係を育てる教育をすること
5. 歴史や文学などを通じて男女の関係のあり方を学ぶこと
6. 男女の性別役割分担を是正するために教科書等を見直すこと
7. クラス委員や係活動など日常の学校生活を通じて男女共同参画意識を身につけること
8. その他（ ）

就労についておうかがいします。

問14 あなたは、女性が仕事を持つことについて、どのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。[1つに○印]

1. 結婚や出産後も、ずっと仕事を続ける方がよい
2. 結婚後や出産後も仕事は続けるが、パートタイムに切り替えるなど、負担を軽くする方がよい
3. 子どもが生まれたら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい
4. 子どもが生まれたら仕事をやめた方がよい
5. 結婚したら仕事をやめた方がよい
6. 女性は仕事を持つことにこだわらなくてよい
7. 女性は仕事を持たない方がよい

問15 女性が仕事を続けていくうえで、障害になっていることは何だと思いますか。[2つ以内で○印]

1. 家事や育児、介護との両立がむずかしいこと
2. 家族の理解や協力が得られないこと
3. 育児や介護について、職場の理解や協力が得られないこと
4. 職場に、結婚・出産時は退職するという慣習があること
5. 育児・介護休暇などが取りにくいこと
6. 昇給、昇格に男女格差があること
7. 補助的な仕事しか与えられないなど仕事内容に魅力がないこと
8. 長く勤めると、同僚や上司から圧力がかかること
9. 女性自身の就業に対する自覚が不足していること
10. その他（ ）
11. 障害となっていることはない

問 16 退職後、再び就職しようとしている女性に対して、どのような援助や対策が必要だと思いますか。[2つ以内で○印]

1. 出産・育児・介護などで退職しても同一企業に復帰できるようにする
2. 就職に関する相談体制を充実する
3. 求人情報を入手しやすくする
4. 多様な職種や年齢制限の緩和など働く場を多くする
5. パート・アルバイト等の労働条件を向上させる
6. 労働時間の短縮化やフレックスタイム制の導入、休暇制度を充実する
7. 技術や技能の学習、資格取得の機会を多くする
8. 起業・創業のための情報サービスや経営支援を充実する
9. 保育時間の拡大や0歳児からの受け入れなど保育サービス・学童保育を充実する
10. 介護・看護の支援体制を充実する
11. 特にない
12. その他（ ）

問17 あなたは現在、会社や団体等に勤務していますか。[1つに○印]

1. 勤務している

2. 勤務していない ⇒ 問18へお進みください

問17-1 【問17で「1」を選んだ方におうかがいします。】

あなたが勤務している事業所で次のようなことはありますか。[項目ごとに1つずつ○印]

項 目	あ る	な い	わからない
ア) 女性は募集・採用で不利なことがある	1	2	3
イ) 女性は配置されない部署がある	1	2	3
ウ) 女性は昇進・昇格が遅い（望めない）	1	2	3
エ) 女性は同期や同年齢の男性より賃金が低い	1	2	3
オ) 女性は研修・出張の機会が少ない	1	2	3
カ) 女性はお茶くみなどの雑用が多い	1	2	3

地域活動についておうかがいします。

問18 あなたは、地域活動に参加していますか。（または、参加したことがありますか。）[1つに○印]

- 1. 参加している（したことがある）
 - 2. 参加していない

→ 問18-1 【問18で「1」を選んだ方におうかがいします。】

どのような地域活動に参加していますか（参加していましたか）。

「あてはまるものすべてに○印」

1. 自治会（町内会）などの地域団体の活動
2. 障がい者や高齢者などへのボランティア活動
3. まちづくりなどに関する活動
4. ＰＴＡ役員や子ども会、スポーツ少年団などの活動
5. 子育てサークルなど子どもを通じた活動
6. リサイクルなどの環境保全のための活動
7. 消費生活に関する活動
8. 防犯や防災に関する活動
9. 趣味や学習のためのサークル・団体活動
10. スポーツ活動
11. 地域での外国人との交流・ボランティア活動
12. その他（

→問18-2 【問18で「2」を選んだ方におうかがいします。】

あなたが地域活動に参加しないのはどのような理由からですか。〔2つ以内で○〕

1. 家事・育児が忙しい
2. 介護や看護で忙しい
3. 仕事が忙しい
4. 家族が反対する
5. 人間関係がわずらわしい
6. 身体が丈夫でない
7. 身近に機会がない
8. 自分に適した活動が見つからない
9. どのように参加してよいのかわからない
10. あまり関心がない
11. その他（ ）

問22 夫婦や恋人間における暴力に対する関心が高まっています。あなたは、次のア)～キ)のようなことが配偶者等（パートナー、恋人も含みます）の間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。
[項目ごとに1つずつ○印]

項 目	暴力にあたると思う どんな場合でも	そうでない場合がある 暴力の場合と	暴力にあたるとは思 わない	わからない
ア) 身体を傷つける可能性のあるもので殴る	1	2	3	4
イ) 刃物などを突きつけて、おどす	1	2	3	4
ウ) 平手で打つ	1	2	3	4
エ) 「誰のおかげで生活できるんだ」とか 「かいしょうなし」という	1	2	3	4
オ) 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3	4
カ) 大声でどなる	1	2	3	4
キ) 交友関係や電話、メールを細かく監視する	1	2	3	4

問23 あなたはこれまでに、あなたの配偶者等（パートナー、恋人も含みます）から、次のア)～オ)のようなことをされたことがありますか。[項目ごとに1つずつ○印]

項 目	何度もあった	1、2度あった	まったくない
ア) なぐったり、けったりするなど身体に対する暴行を受けた	1	2	3
イ) 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視する などの精神的な嫌がらせを受けた	1	2	3
ウ) あなたの親族に危害が加えられるのではないかと恐怖を 感じるようなことがあった	1	2	3
エ) いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3
オ) あなたの自由になるお金を渡さない	1	2	3

問28 議員や審議会委員など、施策決定の場に女性の参画が増えていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。[2つ以内で○印]

1. 男性優位の組織運営を改善すること
2. 施策決定の場に女性が参画することへの抵抗感をなくすこと
3. 女性自身が積極的な参画意識をもつこと
4. 女性の能力開発の機会を充実させること
5. 女性の参画を積極的に進めようとしている人が増えること
6. 施策決定の場に女性の比率を高めるための施策を充実させること
7. 家族からの支援や協力があること
8. その他（ ）

男女の地位の平等感についておうかがいします。

問29 次のア)～ク)のような分野について、現在、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。[項目ごとに1つずつ○印]

項 目	男性の方が優遇されている	男性の方が優遇されている どちらかといえば、	平等になっている	女性の方が優遇されている どちらかといえば、	女性の方が優遇されている	わからない
ア) 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
イ) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
ウ) 職場で	1	2	3	4	5	6
エ) 町内会や自治会等の地域社会で	1	2	3	4	5	6
オ) 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
カ) 政治の場で	1	2	3	4	5	6
キ) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
ク) 社会全体の中で	1	2	3	4	5	6

男女共同参画の推進についておうかがいします。

問30 男女共同参画を推進するために、あなた自身ではどのようなことができると思いますか。

[あてはまるものすべてに○印]

1. 家庭で男女共同参画について話し合う
2. 職場・学校で男女共同参画について話し合う
3. 地域（自治会など）で男女共同参画について話し合う
4. 男女共同参画について学ぶ
5. パルティとちぎ男女共同参画センターなどを利用し、男女共同参画について理解を深めてみる
6. 自ら主体的に男女共同参画に関する活動を行う（活動に参加する）
7. 団体やサークル等をつくり、男女共同参画に関する活動を行う
8. 取り組む必要はない
9. その他（ ）

問31 男女共同参画を推進するために、町に力を入れてほしいと思うものは何ですか。[3つ以内で○印]

1. 男女共同参画を進めるための町職員の意識を向上させる
2. 学校で男女共同参画意識を育てる教育を充実させる
3. 自己啓発のための学習の機会を増やす
4. 就労機会・労働条件における男女平等を進める
5. 再就職準備講座の開催など、女性の就職・再就職を支援する
6. 検診体制や相談など、女性の健康管理システムを充実させる
7. 産休あけ保育の実施等、育児・保育面の福祉サービスを充実させる
8. 審議会など行政政策、方針決定の場に女性の参画・登用を増やす
9. その他（ ）

■ 質問については以上です。その他、男女共同参画について、ご意見、ご要望、まちづくりのアイデアなどがありましたら、自由にご記入ください。

たくさんの質問にお答えくださり、ありがとうございました。

ご記入くださった調査票は、同封の返信用封筒に入れて、8月12日（金）までにご投函ください。

男女共同参画に関する住民意識調査結果報告書

平成24年3月

編集・発行 壬生町教育委員会事務局 生涯学習課

〒321-0292

栃木県下都賀郡壬生町通町 12 番 22 号

電 話 0282-81-1873

FAX 0282-82-0935

E-mail kyoiku@town.mibu.tochigi.jp

URL <http://www.town.mibu.tochigi.jp>